SONY

2-149-505-**05** (1)

VHSビデオ一体型 DVDレコーダー

RDR-VH80

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

操作の前に別冊の「接続と準備」をご覧ください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「接続と準備」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SONY
VHSビデオ一体型DVDレコーダー RDR-VH80

必ずお読みください

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。
- 取扱説明書（本書）で使われている画面イラストと実際に表示される画面は異なることがあります。
- 取扱説明書（本書）でのDVDについての説明は、本機で録画したDVDを対象としています。他機で録画したDVDを本機で再生しても、説明があてはまらないことがあります。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW（VRモード）は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。
DVD-RW（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、VHSテープまたはDVD-RW（VRモード）で必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 本機の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合や、不具合・修理など何らかの原因で記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

本機の起動と終了について

- 本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。その間は、HDDランプとDVDランプが点灯しています。
- 電源が切れてから（表示窓に時計が表示されてから）、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が切れる前に電源コードを抜くと、故障の原因になります。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画や、すばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善などの確認のために、必ず必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますので、ご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

VHSビデオ一体型DVDレコーダーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときはコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

目次

録画・予約

HDD/DVDの再生

VHSの再生

HDD/DVD編集

ダビング

設定と調整

その他

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
HDD	ハードディスクで使える機能
DVD-VIDEO	DVDビデオや、DVD+RW/DVD+Rで使える機能
DVD-RW	DVD-RWで使える機能
DVD-RW(VR)	DVD-RWのVRモードで使える機能
DVD-RW(VIDEO)	DVD-RWのビデオモードで使える機能
DVD-R	DVD-Rで使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能
CD	音楽用CDで使える機能
VHS	VHSで使える機能
DATA CD	CD-RW/CD-RのJPEG画像で使える機能

主な特長

本機は、ハードディスクを内蔵したVHSビデオ一体型DVDレコーダーです。
ハードディスクへの長時間録画と、DVD-RW、DVD-R、VHSテープへの録画が可能です。また、ディスクやVHSテープの再生や編集を楽しむこともできます。

HDD（ハードディスク）ならではの追いかけ再生・同時録画再生

追いかけ再生（☞53ページ）

録画中の番組を最初から見ることができます。

同時録画再生（☞53ページ）

HDDに録画中でも、すでにHDDに録画した番組やDVDまたはVHSの再生を楽しめます。

録画

HDDまたはDVDとVHSに同時録画（☞22ページ） HDD DVD-RW DVD-R VHS

本機では、放送時間の重なる地上波放送の2番組を、HDDまたはDVDと、VHSにそれぞれ同時に録画できます。また、地上波とBS（HDD/DVDのみ）、地上波と別売りのチューナーからの同時録画も可能です。

タイマー予約録画（☞28、36ページ）

HDD DVD-RW DVD-R VHS

予約画面で日時やチャンネルを設定する予約の他に、新聞などのテレビ番組欄に記載されている番号を入力するGコード予約もできます。HDDやDVDは1年先までの32番組を予約できます。VHSは1年先までの8番組を予約できます。
HDDまたはDVDと、VHSのそれぞれで独立して予約することができます。

クイックタイマー（☞23ページ）

HDD DVD-RW DVD-R VHS

録画中に録画終了時刻を設定して録画できます。
急用で出かけるときや眠くなったとき、スポーツ中継の延長で開始が遅れた番組の予約録画を延長するときに便利です。

快速予約（☞24ページ）

HDD DVD-RW DVD-R

画面に表示されるチャンネルと時刻の表を見ながら、録画開始時刻と終了時刻を設定するだけで、簡単に予約できます。

ジャスト録画（☞112、113ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

DVDやVHSテープの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りないときに、自動的に調整して番組を最後まで録画できるようにします。
お買い上げ時の設定は「しない」になっています。

シンクロ録画（☞33ページ）

HDD

番組予約機能がある機器*と連動して、予約録画できます。チューナーの予約設定にしたがって、自動的に録画を開始・終了します。

* 地上デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなど

HDDやDVDの再生

かんたん再生（☞45ページ）

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

HDDやDVDはVHSテープのように巻戻しの必要がないため、見たい場面をすぐに頭出しできます。見たい場面の検索機能も充実しています。

画像付タイトルリスト（☞48ページ）

HDD DVD-RW DVD-R

画像付タイトルリストを使えば、録画した映像（タイトル）もすぐに探し出せます。タイトルの映像の一部が一覧表示されるので、再生したいタイトルも一目で見つけて、再生できます。

HDDやDVDの編集

大切な映像はそのままで（☞76ページ）

HDD DVD-RW(VR)

実際に録画したオリジナルの映像（タイトル）には手を加えずに編集することができます。
オリジナルから編集用のタイトル（プレイリスト）を作成し、編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク（☞21、50ページ）

HDD DVD-RW(VR)

録画中、再生中にお気に入りの場面でチャプターを区切れば、チャプターサーチ機能で見たい場面をすぐに探せます。

シーンの消去や追加、タイトルの移動（☞82、87、89ページ）

HDD DVD-RW(VR)

範囲を指定して場面を消去したり、オリジナルの場面をプレイリストに追加などして好みのプレイリストを作成できます。

ダビング

HDD、DVD、VHSテープの間で簡単にダビング（☞94ページ）

HDD DVD-RW DVD-R VHS

本機一台でVHSテープからHDDやDVDに、HDDやDVDからVHSテープに、お好みに合わせてダビングができます。
＊コピー防止信号が含まれているDVDやVHSテープを再生、録画した場合、コピー防止機能の働きにより正常な録画ができません。

互換性

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生可能（☞8ページ）

DVD-RW(VIDEO) DVD-R

ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズを行うと他のDVDプレーヤーでも再生できます。
＊一部には再生できないプレーヤーもあります。

録画・再生できるDVDについて

録画できるディスクについて

本機では、録画用としてDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。DVD-RW、DVD-Rディスクはホコリや指紋、特に傷などがつかないように、取り扱いには充分に注意し、大切に保管してください。傷などがつくと録画できなくなる場合があります。
本機では以下のディスクで録画できます。また、ディスクの種類ごとに可能な記録フォーマットは以下のとおりです。

ディスクの種類		録画方式（モード）	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVD-RW[*1]	Ver.1.0	VRモード	音声＋映像（動画）	12cm盤 片面/両面1層
	Ver.1.1 (CPRM対応)[*3] Ver.1.1/2× (CPRM対応)[*3] Ver.1.1	VRモード ビデオモード	音声＋映像（動画）	
DVD-R[*2]	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	ビデオモード	音声＋映像（動画）	12cm盤 片面/両面1層

[*1,2] DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。
[*3] CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。
BSデジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を録画することができます。詳しくは「コピー制御信号について」☞16ページをご覧ください。

ご注意

- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証するものではありません。再生できないプレーヤーもあります。
  一部のプレーヤーでは、DVD-RまたはDVD-RW（ビデオモード）を再生しようとしたとき、以下のような動作を起こすことがあります。
  – ディスクを受けつけない
  – 再生画面にマクロブロック（モザイク状の画像）が多く発生する
  – 音声・映像がとぎれる
  – 再生が途中で停止する
- 8cm盤は録画できません。

次のページにつづく

DVDの記録フォーマットについて（VRモードとビデオモード）

本機で録画するときに使うディスクの記録フォーマットには、以下の2種類があります。
録画モードなどについて詳しくは、☞18ページをご覧ください。

VRモード

DVD-RWの基本的な録画方式で、本機のいろいろな編集機能が楽しめる録画方式です。

- 繰り返し録画・消去ができます。消去することで、録画できる時間も増えます。
- 「1回だけ録画可能」（☞16ページ）の番組を録画できます。
- 録画したディスクはDVD-RW対応DVDプレーヤーでのみ再生ができます。

ちょっと一言

- 他のDVDプレーヤーでの再生には、ファイナライズが必要な場合があります。
- DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。

ビデオモード

市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブと互換性のある録画方式です。

- 繰り返し録画や上書き録画はできません。（ファイナライズをする前に初期化やタイトルの全消去を行えば繰り返し録画は可能です。）
- ファイナライズをするまでは本機でのみ再生、追加録画、編集ができます。（編集機能は制限されます。）
- 録画後にファイナライズをすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
- 「1回だけ録画可能」の番組は録画できません。
- 二カ国語放送を録画するときは、主音声/副音声のいずれか選択した音声のみの記録となります。
- DVD-RW/Rへのビデオモードによる録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによっては再生できないことがあります。

本機では、DVD-RW（Ver.1.1）の記録フォーマットを変更できます。ただし、記録フォーマットを変えるにはディスクの初期化を行うため（☞109ページ）、変更時にそれまで録画した内容はすべて消去されます。

タイトルとチャプター

DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにそれをチャプターという単位に分けています。1枚のディスクに、タイトルは99まで、チャプターは999まで記録できます。
タイトルは通常映画1作品やアルバム1枚分にあたり、チャプターはタイトル中の映像や曲の区切りになります。

- ビデオモードで録画したとき
  お好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマークを入れる）ことはできません。
- VRモードで録画したDVD-RWのとき
  録画の途中で一時停止したり、編集操作でシーンを消去したりすると、自動的にチャプターが区切られます。また、お好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマークを入れる）こともできます。

ご注意

- ビデオモードでは、タイトル消去、タイトル名変更以外の編集はできません。
- Ver 1.0のDVD-RWはビデオモードでの録画ができません。

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクや再生できないディスクがあります。お手持ちのディスクを使用する前に必ずお読みください。
本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類		録画方式（モード）	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオ	リージョン番号	ビデオモード	音声＋映像（動画）	12cm盤 8cm盤
DVD-RW	Ver.1.0 Ver.1.1（CPRM対応） Ver.1.1/2×（CPRM対応） Ver.1.1	ビデオモード（ファイナライズ済みのディスク） VRモード	音声＋映像（動画）	12cm盤 片面/両面1層 8cm盤 片面 1層
DVD-R	Ver. 2.0 Ver. 2.0/4× Ver. 2.0/8×	ビデオモード（ファイナライズ済みのディスク）	音声＋映像（動画）	12cm盤 片面/両面1層 8cm盤 片面 1層
DVD+R/DVD+RW		（ファイナライズ済みのディスク）	音声＋映像（動画）	12cm盤 片面 1層
ビデオCD		ビデオCDモード	音声＋映像（動画）	12cm盤 8cm盤
音楽用CD		音楽用CDモード	音声	12cm盤 8cm盤
CD-R/CD-RW		音楽用CDモード	音声	12cm盤 8cm盤
		ビデオCDモード	音声＋映像（動画）	
		JPEG	静止画（JPEGファイル）	

地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号（☞134ページ）が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

本機で再生できる静止画（JPEG画像）について

「静止画（JPEG画像）を再生する」（☞56ページ）をご覧ください。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。
- CD-ROM（フォトCDを含む）
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- DVD+R DL（2層ディスク）
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ（☞134ページ）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

ご注意
- CD-R/CD-RWドライブまたは他のDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWレコーダーで記録されたディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機の特性などが原因で再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できないことがあります。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVDビデオ、ビデオCD再生操作について

DVDビデオ、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクの説明書も必ずご覧ください。

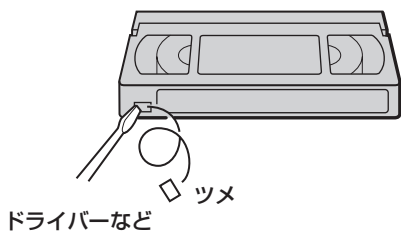
録画・再生できるVHSテープについて

本機はVHS方式です。

録画について

本機はVHS方式で録画します。

ちょっと一言

- 録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。

ご注意

- 本機では、S-VHS方式で録画することはできません。
- 本機のEP（3倍）モードで録画したテープは、標準モード専用のVHSデッキでは再生できません。
- 3倍モード付きのVHSデッキでも、他機では再生時にノイズが出ることがあります。

再生について

録画済みテープの記録方式と録画モード、SP（標準）またはEP（3倍）を自動判別して再生します。

ご注意

- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL, SECAM）の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープを再生すると画像が乱れることがあります。

他機でのDVD再生について（ファイナライズ）

本機で録画したDVD-RWやDVD-Rにファイナライズを行うと、本機以外のDVDプレーヤーで再生できるようになります。
ファイナライズの方法について詳しくは、「ディスクに関する設定（初期化/DVDファイナライズ）」の「ファイナライズ実行」および「ファイナライズ解除」をご覧ください（☞110ページ）。

ビデオモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。ビデオモードのディスクをファイナライズすると、以降の録画や編集ができなくなります。
ファイナライズを行うと、DVDプレーヤーのトップメニューボタンで働くメニューが自動的に作成されます。
一般的なDVDプレーヤーで再生できます。

VRモードで録画したディスクのとき

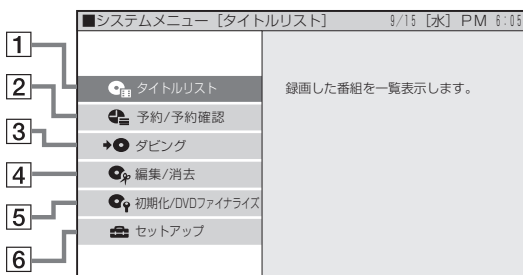
本機以外のDVDレコーダーやDVD-RW（VRモード）対応プレーヤーで再生できない場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画や編集ができます。
DVD-RWのVRモード対応のDVDプレーヤーで再生できます。

ご注意

- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVDプレーヤーでのピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。

システムメニューの使いかた

本機では、録画や編集、各種設定などの機能をシステムメニューから行います。システムメニューは、HDDやDVDモードでのみ操作できます。

システムメニューボタンを押すと、システムメニュー画面が出ます。予約録画や再生、編集、設定など、本機で行うさまざまな操作の入り口となる画面です。
リモコンの↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押すと、以下のような操作ができます。

1 **「タイトルリスト」** ⇨録画済みの番組が一覧表示されます。見たい番組を選んで再生できます（☞48ページ）。サムネイルリスト（画像付タイトルリスト）、タイトル名リスト、チャプター単位でリストは切り換えられます。

2 **「予約/予約確認」** ⇨HDD/DVDの予約録画と、予約の確認ができます。予約録画は「快速予約」（☞24ページ）と「日時指定予約」が選べます（☞28ページ）。

3 **「ダビング」** ⇨HDD、DVD、VHSテープの間で、画面の指示にしたがいながらダビングの操作ができます（☞96、99、101ページ）。

4 **「編集/消去」** ⇨HDD/DVDに録画した映像（タイトル）を選んで編集や消去ができます（☞79ページ）。

5 **「初期化/DVDファイナラズ」** ⇨HDD/DVDの初期化や、DVDのファイナライズ処理を行います（☞109、110ページ）。

6 **「セットアップ」** ⇨本機をより活用していただくための、いろいろな設定ができます（☞111ページ）。目的に合わせた録画のしかたや、本機に接続した外部機器に合わせて映像や音声の設定ができます。放送を受信するためのチャンネル設定も、この「セットアップ」で行います。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

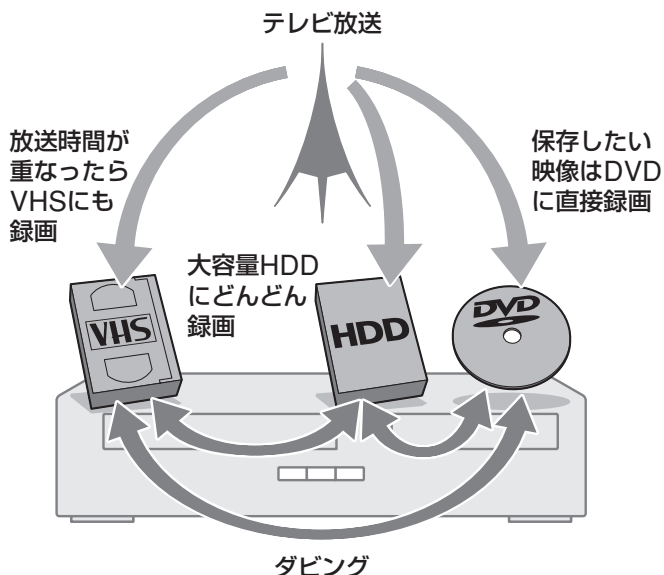
ちょっと一言

- 何も操作をしないと、約1分後にシステムメニュー画面は消えます。
- 再生やチャンネル切り換えなどの操作は、システムメニューを閉じてから行ってください。

ご注意

- HDDやDVDの操作実行中は、システムメニューの操作ができない場合があります。
- テレビのズーム機能を使っている場合や、本機にレターボックスサイズの映像を入力している場合、システムメニューが画面からはみ出すことがあります。

VHSビデオ一体型DVDレコーダーとは

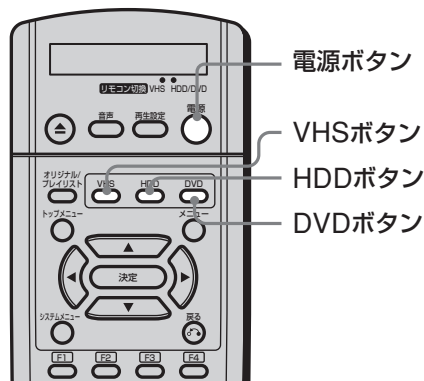
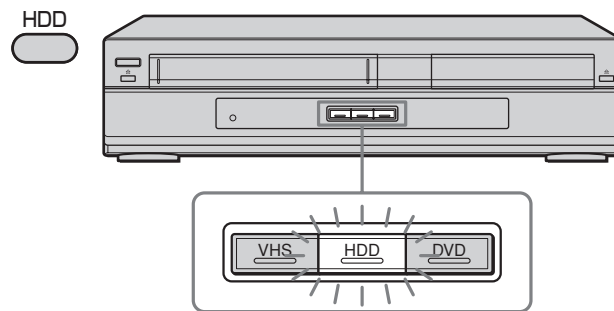
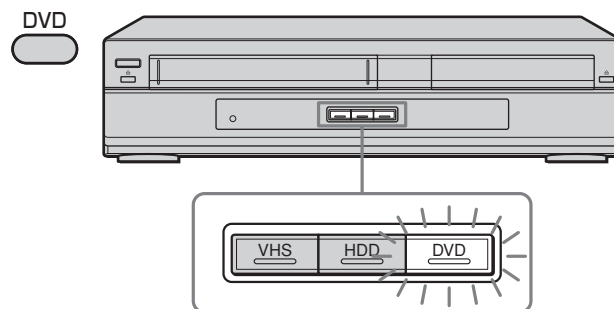
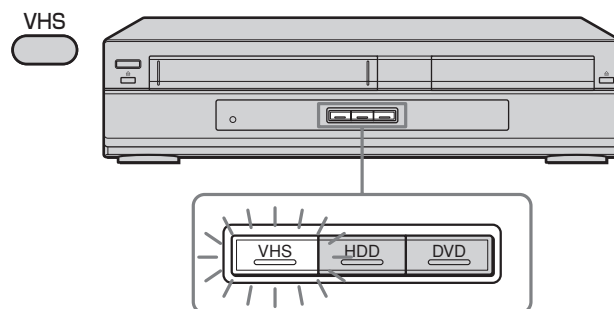
本機は、ハードディスク付きDVDレコーダーとビデオカセットレコーダーが1つになった商品です。1台でビデオ、ハードディスク、DVDを楽しむことができます。

操作条件早見表

本機では、再生や録画を同時にできます。例えば、VHSで再生中もDVDで録画できます。下表を参考にしてお使いください。同一段で○がついている操作を同時に行えます。

VHS		HDD		DVD	
再生	録画	再生	録画	再生	録画
○	×	○*1	○	×	×
○	×	○*2	×	×	○*2
○	×	×	○*2	○*2	×
○	×	○*2	○*2,*3	×	○*2,*3
○	×	×	×	○	×
×	○	○*2	○*2	×	×
×	○	○*1	○	×	×
×	○	○*2	×	×	○*2
×	○	×	○	○	×
×	○	○*2	○*2,*3	×	○*2,*3
×	○	×	×	○	×

*1 追いかけ再生（☞53ページ）
*2 先に録画を始めた場合のみ、できます。
*3 どちらか一方ができます。

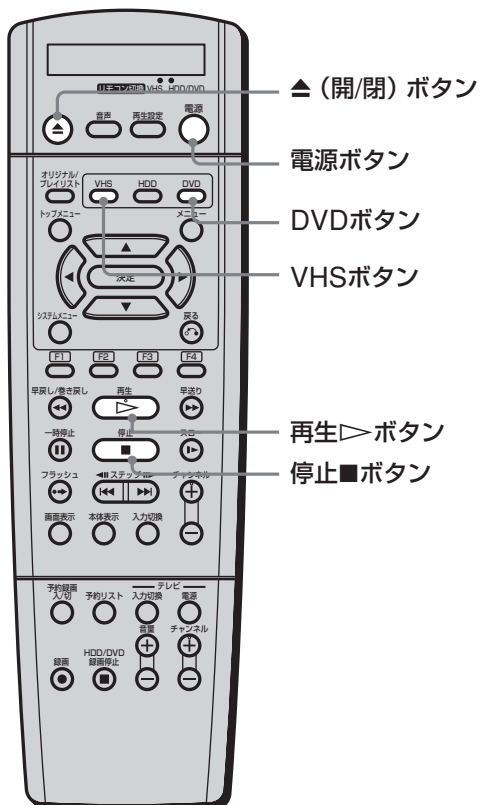
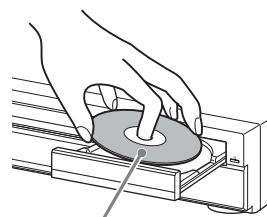
使ってみよう

電源ボタンを押して電源を入れてから、リモコンのVHS、DVD、HDDのボタンを押して、使いたい機能を選んで操作します。

HDDを使う

DVDを使う

VHSを使う

DVDやビデオを見る

DVDやビデオを再生してみましょう。

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。

2 電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。

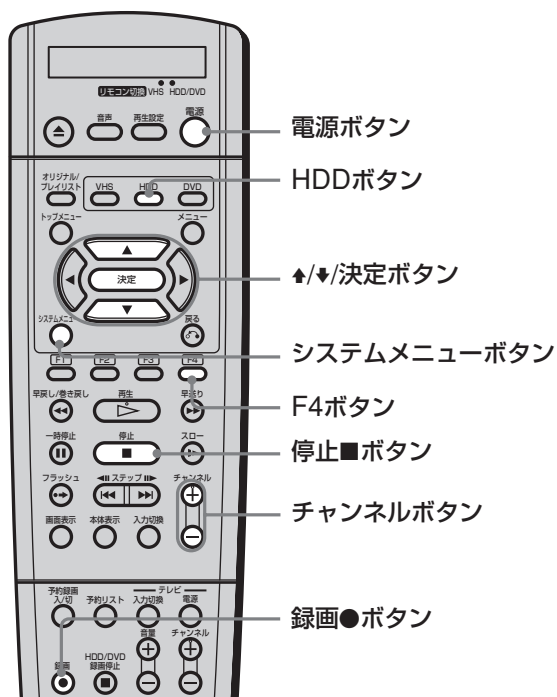
3 DVDボタンを押す。
ビデオを見るときは、VHSボタンを押す。

4 ≜ボタンを押して、DVDを入れる。
ビデオを見るときは、VHSテープを入れる。

5 再生▷ボタンを押す。

6 再生を止めるには、停止■ボタンを押す。

7 ≜ボタンを押して、DVDを取り出す。

次のページにつづく

HDD（ハードディスク）に番組を録画する

番組をHDDに録画して、再生してみましょう。

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。

2 電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。

3 HDDボタンを押す。

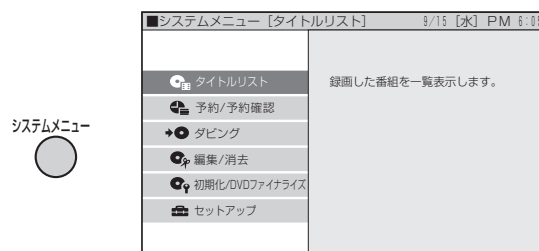
4 チャンネル+/−ボタンを押して、録画したいチャンネルを選ぶ。

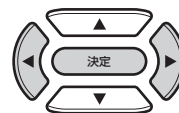
5 録画●ボタンを押す。
録画が始まります。

6 録画が終わったら、停止■ボタンを押す。

VHSに録画するときは、手順**3**でVHSボタンを押す。

録画した番組を見る

1 システムメニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「タイトルリスト」を選び、決定ボタンを押す。

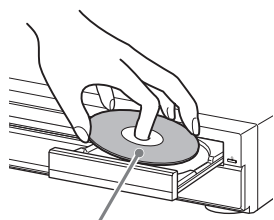
3 ←/→でタイトルを選び、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

4 再生を止めるには、停止■ボタンを押す。

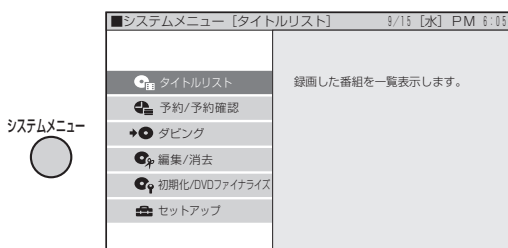
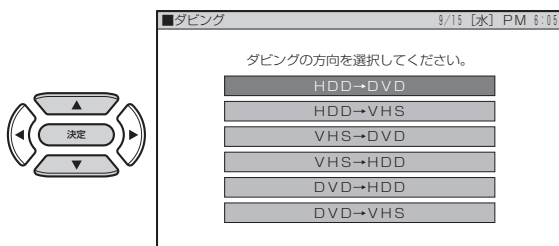
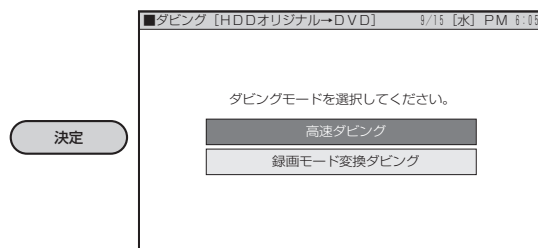
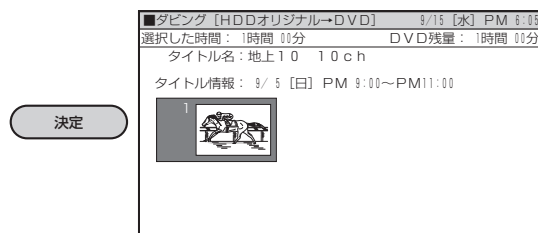
HDD（ハードディスク）に録画した番組をDVDにダビングする

HDDに録画した映像をDVDにダビングしてみましょう。例として、DVD-RW（VRモード）を使ってダビングします。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **⏏ボタンを押して、録画できるディスクを入れる。**
ディスクの種類については、☛17ページをご覧ください。

録画したい面を下に

4 **システムメニューボタンを押す。**

5 **▲/▼で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **HDD→DVDを選ぶ。**
決定ボタンを押すと選ばれます。

7 **決定ボタンを押す。**
高速ダビングします。ダビングモードについては、☛101ページをご覧ください。

8 **決定ボタンを押す。**

9 **F4ボタンを押す。**
「ダビングを開始します。」が表示されます。

10 **決定ボタンを押す。**
ダビングが始まります。
高速ダビング中は画像は見えません。

ダビングが終わると、自動的に止まります。

途中で止めるには、停止■ボタンを押す。

録画・予約

HDDまたはDVDと、VHSに別の番組を同時に録画できます。また、同じ時間帯の録画予約も可能です。

HDD/DVDへの録画・予約録画
☞16～34ページ
VHSへの録画・予約録画
☞35～41ページ

HDD、DVD、VHSによって使える録画機能が異なります

録画	HDD	DVD	VHS
日時指定予約	○	○	○
Gコード予約	○	○	○
クイックタイマー	○	○	○
快速予約	○	○	×
アナログBSから	○	○	×
シンクロ録画	○	×	×

HDD/DVDに録画・予約する前に必ずお読みください

本機ではHDDやDVDにいろいろなモードで録画できます。DVDの場合は、ディスクの種類によって、録画の操作やディスクを入れたときの動作が異なります。DVD-RWディスクのVRモードとビデオモード、DVD-Rディスクについては下記をご覧ください。
地上デジタルやBSデジタル、デジタルCSチューナーとはS映像/映像・音声端子で接続します。本機は、チューナーから525i（480i）の標準テレビ放送信号で出力された映像を録画します。

ちょっと一言

- 予約録画待機中/実行中に他の機能を使うために電源ボタンを押しても、予約録画は取り消されたり中断されたりすることなく、実行されます。
- ディスクがいっぱいになって録画が自動的に停止したあと、電源を切るかディスクを一度取り出すとディスク残量が再計算されます。そのため、ディスクに再度録画できることがあります。

コピー制御信号について

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像は、1回しか録画できません（BSデジタル放送、CS放送など）。HDDに録画した「1回だけ録画可能」の映像はDVDにダビングすることができますが、その場合は移動（ムーブ）となります。したがって、HDDの録画内容は消去されます（☞95ページ）。
「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することはできません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど）。
録画中の映像の途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画が一時停止されます。「録画禁止」信号がなくなると再び録画を開始します（「録画禁止」信号が入っている部分の映像は録画されません）。
このような場合は画面上に「録画禁止の映像です」または「放送は録画禁止になりました」と出ます。

ちょっと一言

- コピー制御信号には「録画自由」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類が含まれています。本機では著作権保護を目的として、これらのコピー制御信号に対して右記の「本機での録画の可否」のように動作します。
- 本機で「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる映像を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。

本機での録画の可否

	「録画自由」	「1回だけ録画可能」	「録画禁止」
HDD	○	○*	×
DVD-RW Ver.1.0			
VRモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1			
VRモード	○	×	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応			
VRモード	○	○**	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-R Ver.2.0			
ビデオモード	○	×	×

* HDDから「1回だけ録画可能」の映像をDVD-RWへダビングする場合は、移動（ムーブ）します。したがってHDDの録画内容は消去されます。

** 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を含むタイトルを録画したことのあるディスクは、CPRM対応のDVDプレーヤーでのみ再生が可能です。

録画できるタイトル数は

HDDには199タイトルまで録画できます。
1枚のDVDには99タイトルまで録画できます。
チャプターは、HDDもDVDも999まで録画できます。

HDDからDVDへ「高速ダビング」するときは

「高速ダビング」とは、HDDからDVD-RW/Rへダビングするための機能です。
HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rにダビングするときに「高速ダビング」機能を使うには、HDDに録画するときに、「高速設定」を「入」に設定する必要があります。DVD-RW（VRモード）にダビングする場合は、この設定は必要ありません。
システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「切」（お買い上げ時の設定）にしておくと、予約画面の「高速設定」は自動的に「切」に設定されます。予約画面で「入」を選ぶと録画したタイトルを高速ダビングすることができます。
高速ダビングについてくわしくは、☞101ページをご覧ください。

ご注意

- 二重音声放送の番組を録画したときは、「DVD二重音声記録」で選ばれている音声が記録されます。

録画するDVDの種類について

録画に使うディスクには、DVD-RWとDVD-Rがあります。
DVD-RWでは、VRモードまたはビデオモードで録画できます。
DVD-Rでは、ビデオモードのみで録画できます。
VRモードまたはビデオモードの記録方式などについては詳しくは、☞8ページをご覧ください。

ビデオモードで録画するときのご注意

- DVD-RWをビデオモードで録画するときは、Ver 1.1のディスクを使用してください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズを行うまでは、残りの時間で追加録画することができますが、上書きすることはできません。
- DVD-RWをビデオモードで録画するときは、ディスクをあらかじめビデオモードで初期化するように設定してください（☞109ページ）。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、あらかじめ音声の種類を設定してください（☞113ページ）。主音声または副音声のどちらかでしか記録できません。
- 録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最長30秒（LPモードのときは最長60秒）録画が続くことがあります。
- 地上デジタルやBSデジタル放送などのワイド（16：9）映像をビデオモードのLPまたはEPで録画して、4：3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。

DVDの空き時間について

VRモード

- ディスクに空き容量がある限り、追加録画ができます。（ファイナライズを行った後も追加録画ができます。）
- 不要なオリジナルの映像を消去すると、ディスクの空き時間を増やすことができます。（ファイナライズを行った後も消去できます。）

ビデオモード

- ファイナライズを行うまでは、ディスクに空き容量がある限り本機での追加録画ができます。（ファイナライズを行うと追加録画/消去ができません。）
- 空き時間を録画前の状態に戻したり、上書き録画をしたりすることはできません。
- 編集機能の「タイトル消去」は、不要なタイトルを表示させないようにするためのものです。空き容量は増えません。（DVD-RWでは、ファイナライズ前であれば最後のタイトルを消去した場合に限り、空き容量が増えます。）

次のページにつづく

HDD/DVDに録画・予約する前に必ずお読みください（つづき）

録画モードについて

本機での録画には、以下の録画モードがあります。
録画できる画質や時間は以下のとおりです。

録画モード	詳細
FINE	高画質な映像で録画できます。
SP	標準的な映像が楽しめます。
LP	多少画質は劣りますが、より長い時間録画できます。
EP	長時間の録画ができます。
MN（マニュアルモード）	あらかじめ設定した録画モードで録画します。録画時間や画質を32段階設定できます。

録画時間

録画モード	HDD	DVD*
FINE	約30時間	約1時間
SP	約50時間	約2時間
LP	約100時間	約4時間
EP	約150時間	約6時間

* 4.7GBのDVD（片面1層）を使用したとき

録画モードを設定する（マニュアル録画モード）

MN（マニュアル録画モード）では、録画レートレベルで録画時間や画質を、32段階に分けて設定できます。

1 システムメニューボタンを押す。
システムメニュー画面が出ます。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。

3 ←/→で「録画機能設定」を選ぶ。

4 ↑/↓で「マニュアル録画モード」を選び、決定ボタンを押す。

5 ←/→で録画レートを選び、決定ボタンを押す。
録画レートと録画できる時間については、右の表をご覧ください。

マニュアル録画モードの録画時間

数値が大きい程、高画質で録画されます。
数値が小さい程、長時間録画ができます。
HDDとDVD-RW（VRモード）の場合、レベル3と4、11と12、18と19の間で画質が大きく変わります。DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rの場合は、3と4、17と18の間で大きく変わります。
お買い上げ時は「21」に設定されています。

録画レート	HDD	DVD*
レベル1（EP）	150時間	6時間
レベル2	144時間	5時間45分
レベル3	137時間	5時間30分
レベル4	131時間	5時間15分
レベル5	125時間	5時間
レベル6	119時間	4時間45分
レベル7	112時間	4時間30分
レベル8	106時間	4時間15分
レベル9（LP）	100時間	4時間
レベル10	96時間	3時間50分
レベル11	92時間	3時間40分
レベル12	88時間	3時間30分
レベル13	83時間	3時間20分
レベル14	79時間	3時間10分
レベル15	75時間	3時間
レベル16	71時間	2時間50分
レベル17	67時間	2時間40分
レベル18	63時間	2時間30分
レベル19	58時間	2時間20分
レベル20	54時間	2時間10分
レベル21（SP）	50時間	2時間
レベル22	48時間	1時間50分
レベル23	46時間	1時間45分
レベル24	44時間	1時間40分
レベル25	42時間	1時間35分
レベル26	40時間	1時間30分
レベル27	38時間	1時間25分
レベル28	35時間	1時間20分
レベル29	34時間	1時間15分
レベル30	33時間	1時間10分
レベル31	32時間	1時間5分
レベル32（FINE）	30時間	1時間

* 4.7GBのDVD（片面1層）を使用したとき

ご注意

- 連続録画時間は、HDDは12時間まで、DVDは6時間までです。
- 1枚のDVDにVRモードとビデオモードを混在して使用することはできません。DVD-RWでは、初期化することによって記録フォーマットを変えることができますが、初期化するとそれまでに録画された内容はすべて消去されます。
- 一部の録画モードを除き、VBR（可変ビットレート）を使用するため、以下のようなときには画像によって録画時間が異なることがあります。正確な録画時間は、録画終了後にディスク情報をご覧ください（☞57ページ）。
  – 受信状態の悪いテレビ放送など、録画する画質が悪い場合
  – 編集したDVDで録画する場合
  – 静止画などの画像や、音声のみなどを録画し続けた場合
- ビデオモードでは二重音声を記録できないため、「セットアップ」－「録画機能設定」－「DVD二重音声記録」（☞113ページ）で録画する音声を設定します。この音声設定は、DVDが本体に入っていると、記録時のみでなくテレビ映像の受信時の音声にも影響します。

本機で録画して他のDVDプレーヤーで再生したいときは

DVD-RWのとき

DVD-RW（VRモード）に対応していないDVDプレーヤーで再生するときは、ビデオモードで録画します（☞8ページ）。すべての録画が終わったあと、ファイナライズします（☞110ページ）。
DVD-RW（VRモード）に対応しているDVDプレーヤーで再生する場合は、VRモードで録画します。ファイナライズする必要はありません。ただし、録画した時間が短いとファイナライズが必要になることがあります。ファイナライズをしても追加録画や編集をすることができます。

DVD-Rのとき

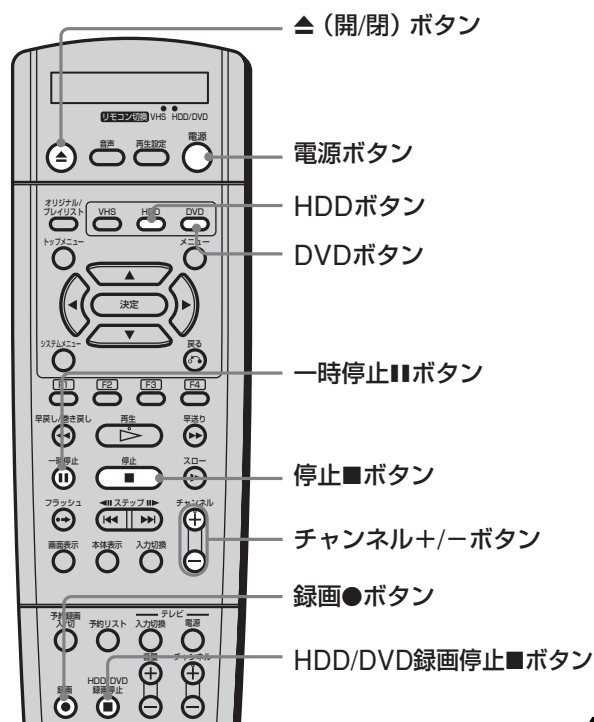
すべての録画が終わったあと、ファイナライズします（☞110ページ）。

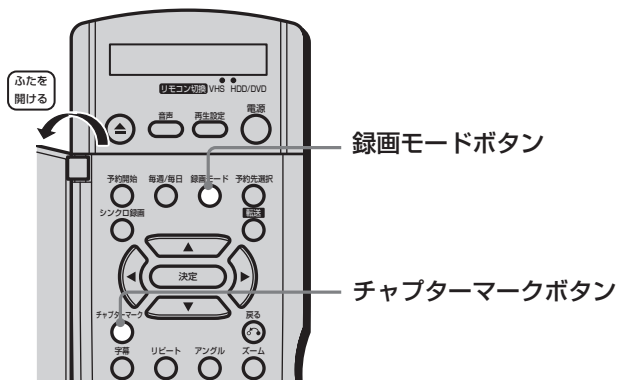
HDDやDVDに録画する

HDD **DVD-RW** **DVD-R**

テレビで見ている番組を録画することができます。
また、HDDまたはDVDとVHSで別々のチャンネルの番組を同時に録画することもできます（☞22ページ）。

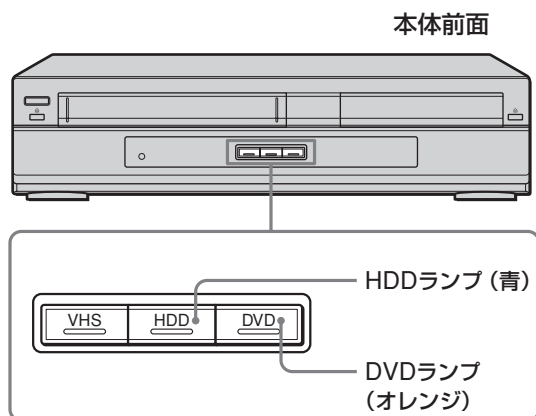
録画を始める前に…

- リモコンと本体のチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞57ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞92ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞109ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞113ページ）。
- 後で、HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速でダビングする場合は、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。

次のページにつづく

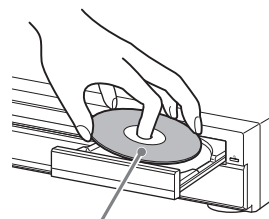
HDDやDVDに録画する（つづき）

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

アンプを使うときはアンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 HDDに録画するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。
⇨手順7へ
DVDに録画するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

4 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

5 **ディスクを置く。**

録画したい面を下にして置きます。

6 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

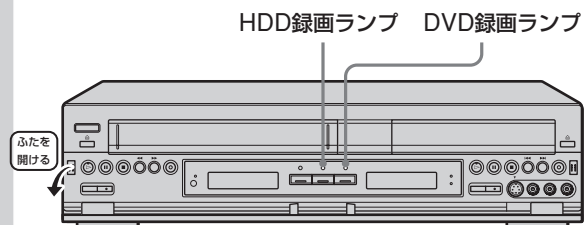
本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

7 **チャンネル＋/－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

8 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP/MN）を選ぶ。**

本体HDD/DVD表示窓に選んだ録画モードが出ます。MNモードでは32段階で設定できます（☞18ページ）。

9 **録画●ボタンを押す。**

テレビ画面に「●」（録画マーク）が表示され、録画が始まります。HDDに録画中はHDD録画ランプが、DVDに録画中はDVD録画ランプが点灯します。

録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。
このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

HDDまたはDVDと、VHSで同時に2つの番組を録画するには

「2つの番組を同時に録画する」（☞22ページ）をご覧ください。

HDDやDVDで録画中にVHSを見るには

VHSボタンを押してVHSランプを点灯させた後、VHSテープを入れてください。

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

録画中にチャプターマークを入れるには

HDDまたはDVD-RWのVRモードに録画中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面でチャプターマークボタンを押します。
ボタンを押すたびに、チャプターマークが付けられます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。

HDDに録画中の番組を見るには

追いかけ再生（☞53ページ）をします。追いかけ再生とは、HDDに録画中の番組を始めから再生して見ることができる機能です。

録画中に再生するには

同時録画再生（☞53ページ）をします。HDDに録画中は、HDDやDVD、VHSに録画済みの映像を再生できます。DVDに録画中は、HDDやVHSに録画済みの映像を再生できます。

ディスクを取り出すには

⏏（開/閉）ボタンを押します。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**7**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「ビデオ機器をつないで見る・ダビングする」（☞106ページ）をご覧ください。
- 録画が終わってすぐに再生▷ボタンを押すと、今録画したタイトルが再生されます。

ご注意

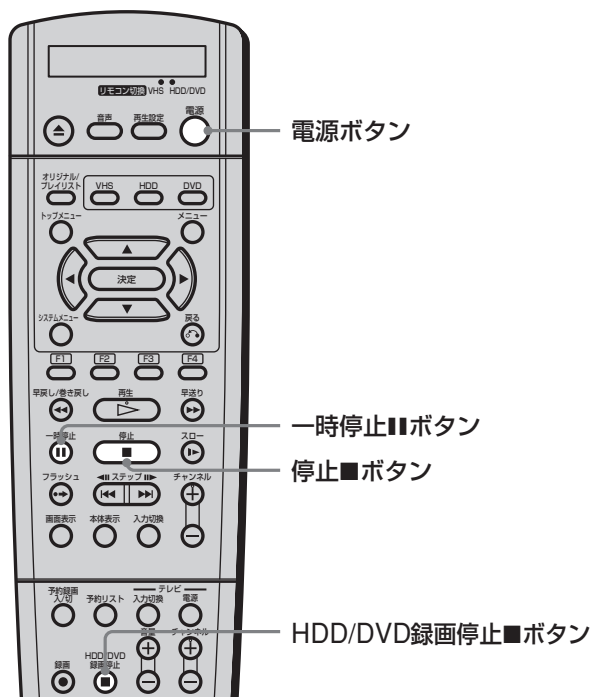
- チャプターマークを追加できないときはメッセージが表示されます。この場合、DVDの録画や編集ができなくなることがあります。
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストを再生したとき、1タイトルが12時間以上ある場合は、そのタイトルは12時間までしか再生できません。

2つの番組を同時に録画する

HDD DVD-RW DVD-R VHS

本機では、放送時間の重なる地上波放送の2番組を、HDDまたはDVDと、VHSにそれぞれ同時に録画・録画予約できます。また、地上波とBS（HDD/DVDのみ）、地上波と別売りの番組予約機能の付いたチューナー*の同時録画も可能です。

* 地上デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなどを指します。

同時録画	
HDDとDVD	できない
HDDとVHS	できる
DVDとVHS	できる

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

アンプを使うときはアンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **「HDDやDVDに録画する」（☞19ページ）の手順3～9を行う。**

4 **「VHSに録画する」（☞35ページ）の手順1～5を行う。**

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

HDDやDVDの録画を止めるには

HDDを止めるときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させ、停止■ボタンを押します。

DVDを止めるときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させ、停止■ボタンを押します。

VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。

VHSの録画を止めるには

VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させ、停止■ボタンを押します。

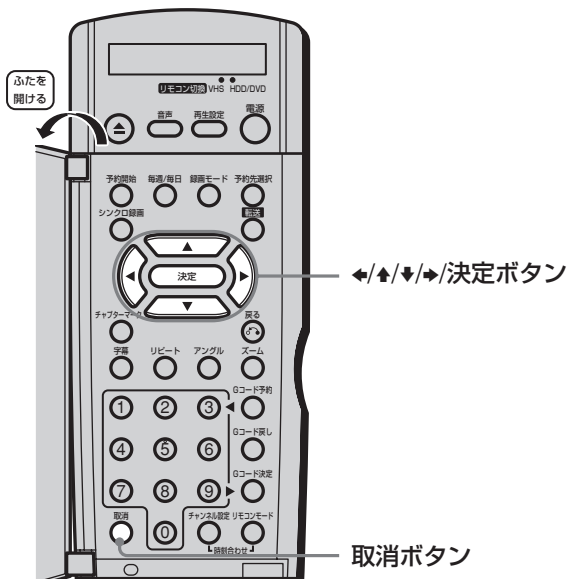
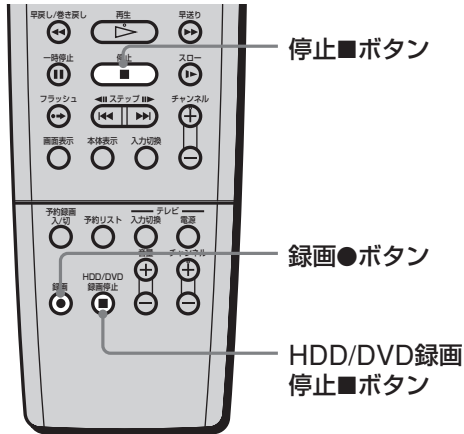
録画を一時停止するには

- HDDを一時停止するには、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させ、一時停止❚❚ボタンを押します。
- DVDを一時停止するには、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させ、一時停止❚❚ボタンを押します。
- VHSを一時停止するには、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させ、一時停止❚❚ボタンを押します。

一時停止を解除するには、もう一度一時停止❚❚ボタンを押します。

決めた時刻まで録画する（クイックタイマー）

HDD DVD-RW DVD-R VHS

HDDやDVD、VHSの録画中に、録画を止める時刻を15分単位で決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

HDD/DVDのとき

録画中に録画●ボタンを押し、↑/↓で録画を止める時刻を選び、決定ボタンを押す。

15分ずつ12時間先まで時間が増えます。
ただし、DVDの連続録画時間は6時間までです。

ご注意

- HDD/DVDのときは、リモコンで操作してください。本体では操作できません。

VHSのとき

録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止める時刻を選ぶ。

15分ずつ12時間先まで時間が増えます。

例）10:00PM → 10:15PM → 10:30PM → ……

終了時刻が設定されると、本体HDD/DVD表示窓またはVHS表示部に ⏲ が出ます。
指定した時刻になると、自動的に録画が止まります。

クイックタイマーを解除するには

リモコンの操作モード（HDD、DVDまたはVHS）を切り換えます。
録画●ボタンを押してから、取消ボタンを押します。本体HDD/DVD表示窓またはVHS表示窓から ⏲ が消えます。

録画を止める時刻を変えるには

リモコンの操作モード（HDD、DVDまたはVHS）を切り換えます。
もう一度録画●ボタンを押して、設定し直します。

途中で録画を止めるには

- HDD/DVD
  停止■ボタンを2回押します。
  VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。
- VHS
  停止■ボタンを押します。

クイックタイマーで録画中に録画終了時刻を確認するには

録画●ボタンを押します。録画終了時刻はしばらくすると画面から消えます。

HDD/DVDに快速予約する

HDD DVD-RW DVD-R

画面に表示されるチャンネルと時刻の表を見ながら、録画開始時刻と終了時刻を設定できます。

- 今すぐの時間から、15分単位（15分、30分、45分、00分）で録画開始時刻と終了時刻を設定できます。
- 番組の予約は、HDDとDVDを合わせて、1年先までの32番組を予約できます。
- 個別チャンネル設定した放送局は、チャンネル番号表示（例：NHK総合の欄が「1ch」など）となる場合があります。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞57ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞92ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞109ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞113ページ）。
- 後で、HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速でダビングする場合は、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。

1 **HDDに録画するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。**
⇨手順4へ
DVDに録画するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

2 **⏏（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

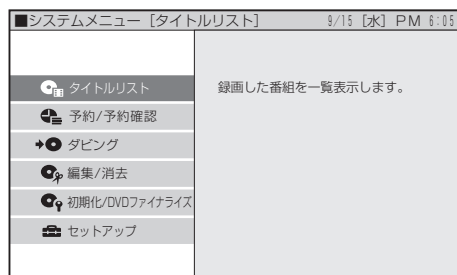
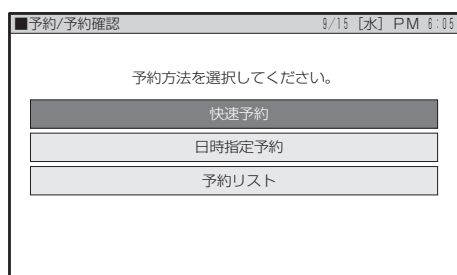
3 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

4 システムメニューボタンを押す。

システムメニュー画面が表示されます。

テレビ画面

5 ↑/↓で「予約/予約確認」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「快速予約」を選び、決定ボタンを押す。

時刻表が表示されます。

F4ボタンを押すと、すでに登録されている予約の確認、変更ができます（☞41ページ）。

当日以外の予約をするときは
（1週間以内の番組が予約できます）

1 **F3ボタンを押す。**

2 **←/→で日付を選ぶ。**
（日付を選んで決定ボタンを押すと、日付だけが設定され、一つ前の画面に戻ります。）

3 **F4を押し、←/→で時刻を選び、決定を押す。**

7 ↑/↓でチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

本機の入力端子につないだ機器を予約するには

「外部入力1」または「外部入力2」を選びます。

■快速予約 9/15 ［水］ PM 6:05

今日	16［木］	17［金］	18［土］	19［日］	20［月］	21［火］	22［水］

放送局	◀ PM9	10	11 ▶
NHH総合 1			
NHH教育 3			
○○テレビ 4			
TV○○○ 5	00		
△△テレビ 6			
□□テレビ 7			
テレビAA 8			
BBBテレビ 9			
BSテレビ			
TV○○			

8 ←/→で開始時刻を選び、決定ボタンを押す。

開始時刻は、15分単位で選べます。ただし、3分前を過ぎた時刻は選べません。

例）9時13分に設定したとき、開始時刻は9：30からとなります。

■快速予約 9/15 ［水］ PM 6:05

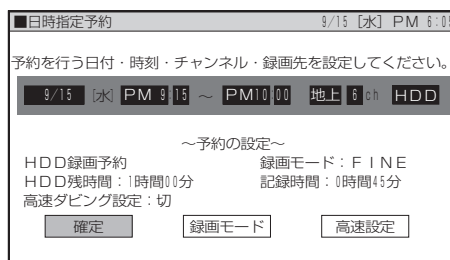
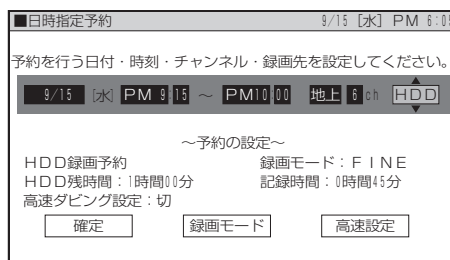
今日	16［木］	17［金］	18［土］	19［日］	20［月］	21［火］	22［水］

放送局	◀ PM9	10	11 ▶
NHH総合 1			
NHH教育 3			
○○テレビ 4			
TV○○○ 5	15		
△△テレビ 6			
□□テレビ 7			
テレビAA 8			
BBBテレビ 9			
BSテレビ			
TV○○			

9 ←/→で終了時刻を選び、決定ボタンを押す。

終了時刻は、HDDは最長12時間先まで、DVDは最長6時間先まで、15分単位で選べます。

日時指定予約画面が表示されます。

HDDに予約する場合

10 ↑/↓で予約先（HDDまたはDVD）を選び、決定ボタンを押す。

予約内容を変更するには

←/→で変更したい項目を選び↑/↓で変更します（☞41ページ）。

録画開始時刻の3分前を切って予約設定が完了したときは、予約開始時刻の欄が選択された状態になります。予約開始時刻を、現在時刻より3分以上時間をあけて設定し直してください。

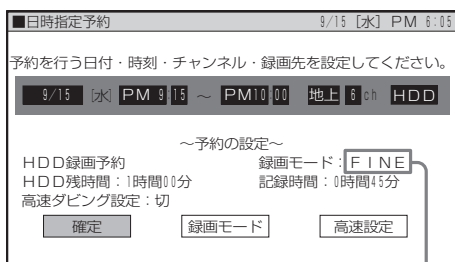
次のページにつづく

HDD/DVDに快速予約する（つづき）

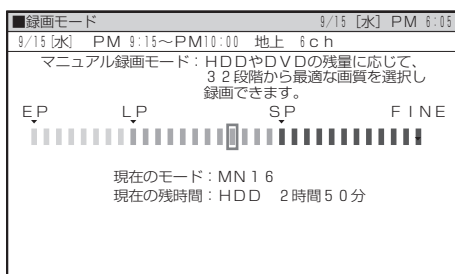
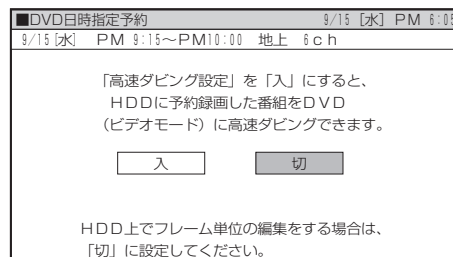
11 **←/→で「録画モード」を選び、決定ボタンを押す。**

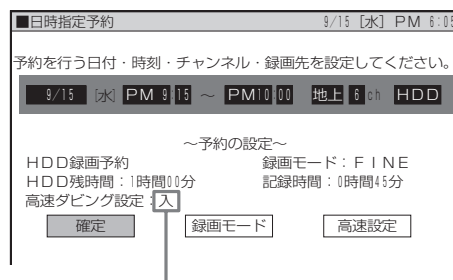
HDDに予約する場合

12 **↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**

空き時間が不足しているときはメッセージが表示されます。録画モードを選び直してください。

選ばれた録画モード

「マニュアルモード（MN）」を選んだときは←/→で画質を設定し、決定ボタンを押します。32段階で設定できます（☞18ページ）。

HDDに予約する場合

13 **←/→で「高速設定」を選び、決定ボタンを押す。**

14 **←/→で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。**

高速ダビングについては、☞101ページをご覧ください。

選ばれた高速ダビングの設定

ご注意

- 「高速ダビング設定」を「入」に設定して二重音声（二カ国語）放送を録画すると、記録される音声は「セットアップ」－「録画機能設定」－「DVD二重音声記録」で選択されている「主音声」または「副音声」になります。

15 **予約内容を確認し、←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

予約リスト画面が表示されます。

16 **予約リスト画面で決定ボタンを押した後、システムメニューボタンを押して快速予約を終了する。**

本体のHDD/DVD録画予約ランプが点灯します。

この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

HDD/DVDとVHSで同時に2つの番組を録画予約するには

HDD/DVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞36ページ）。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを2回押します。
VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。
予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体の録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中または予約録画実行中に本機を使うには

HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させます。
VHSを操作するときは、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させます。
操作したい機能のボタンを押しても画面に何も表示されない場合は、本体の電源ボタンを押して電源を入れ、操作したい機能のボタンを押してください。

予約待機中のメッセージ

予約待機中に番組などを見ていると、以下のメッセージが出ます。

- 「予約開始時刻の5分前です。 予約録画を優先する場合は、3分以内に録画の準備をして下さい。」または「予約開始時刻の5分前です。」
  →ディスクが入っているか、他の番組を録画中ではないかなどを、確認してください。
  →予約録画を取り消したい場合は、予約録画入/切ボタンを押します。他の予約録画を実行するためには、もう一度、予約録画入/切ボタンを押して予約待機状態にします。
- 「これより2分間 操作が制限されます。」
  →予約開始時刻2分前に出るメッセージです。予約録画の準備に入るため、この2分間は操作が制限されます。この間は、メッセージ表示前の状態が継続され、停止■ボタン、電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞41ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 予約録画実行中に予約録画入/切ボタンを押すと、設定した録画終了時刻になっても録画が止まりません。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（DVDジャスト録画）（☞112ページ）。
- 録画後にフレーム単位の編集をしたいときは、高速ダビング設定を解除する必要があります。設定の解除については、☞74ページをご覧ください。一度解除すると元に戻すことはできません。
- 予約録画が始まると、本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯します。本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯しないようにするには、「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「表示窓の設定」－「消灯」に設定します（☞117ページ）。
- 本体HDD/DVD表示窓は、リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押すと消えます。

ご注意

- HDDやDVDの予約録画の入/切をするのには、HDDボタンまたはDVDボタンを押して本体のそれぞれのランプを点灯させておく必要があります。
- 予約録画時間は、2分以上の設定にしてください。
- 予約録画中はHDD/DVDの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるのを待ってから、予約録画入/切ボタンを押してHDD/DVD予約録画ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 停電があってもHDDとDVDの予約は保持されます。本体のHDD/DVD表示窓の時計表示が点滅している場合は、時計を設定し直してください。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。
- ダビング中は録画予約が実行されません。
- 入れた予約と時間が重複している予約があるときは、メッセージが表示されます。
- HDDとDVDですでに32番組の予約があるときは、メッセージが表示されます。「取り消す」を選んで決定ボタンを押してから、不要な予約を取り消してください。
- 予約開始時刻の2分前に予約の準備ができていない場合は、予約録画が実行されません。開始時刻が過ぎた場合も同様です。

HDD/DVDに日時指定して予約する

HDD DVD-RW DVD-R

1年先までの番組や、毎日または毎週の番組を、リモコンの表示窓を見ながら予約できます。快速予約、Gコード予約（31ページ）と合わせ、HDDとDVDで合計32番組まで予約できます。
システムメニューの「予約/予約確認」－「日時指定予約」を選んで設定することもできます。「日時指定予約画面」の操作のしかたは、「HDD/DVDに快速予約する」（24ページ）をご覧ください。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（57ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（92ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（109ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（113ページ）。
- 後で、HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速でダビングする場合は、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。

1 HDDに録画するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。
⇨手順4へ
DVDに録画するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

2 ≜（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。
録画したい面を下にして置きます。

3 ⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

4 予約開始ボタンを押す。

リモコン表示窓（HDDの場合）

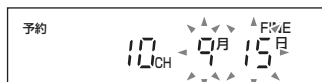
5 ←/↑/↓/→でチャンネルと日時を選ぶ。

1 ↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。

↑を押すたびに以下のように切り換わります。

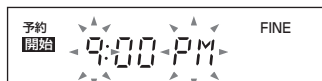
例）VHF/UHFチャンネル→ CATVチャンネル→BSチャンネル→ L1 → L2

本機の入力端子につないだ機器を予約するには

「L1」または「L2」を選びます。

2 ↑/↓で日付を選び、→を押す。

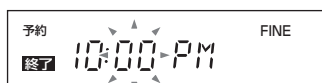
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、毎週/毎日ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

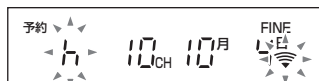
例）9/15（今日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月～日（毎日）→ 月～土 → 月～金 → 9/15（今日）

3 ↑/↓で開始時刻の「時」を選び、→を押す。

4 ↑/↓で開始時刻の「分」を選び、→を押す。

5 ↑/↓で終了時刻の「時」を選び、→を押す。

6 ↑/↓で終了時刻の「分」を選び、→を押す。

- **間違えたときは**
  ←を押して前の項目に戻ります。
- **途中で止めるときは**
  予約開始ボタンを押します。

6 予約先選択ボタンを繰り返し押して、予約先（HDDまたはDVD）を選ぶ。

押すたびに、h（HDD）→ d（DVD）→ u（VHS）と切り換わります。

7 録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP）を選ぶ。

8 リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。

予約情報が本体に転送され、リモコンの表示窓が時計表示に戻ります。

本体HDD/DVD表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。

- **予約操作を終了するときは**
  予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**4**から繰り返します。

本体のHDD/DVD録画予約ランプが点灯します。

この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

HDDまたはDVDと、VHSで同時に2つの番組を録画予約するには

HDDまたはDVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞36ページ）。

HDDとDVDで同じ時間帯に録画予約はできません。

次のページにつづく

HDD/DVDに日時指定して予約する（つづき）

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを2回押します。
VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。
予約録画中に録画を止めると、本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体のHDD/DVD録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中または予約録画実行中に本機を使うには

HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させます。
VHSを操作するときは、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させます。
操作したい機能のボタンを押しても画面に何も表示されない場合は、本体の電源ボタンを押して電源を入れ、操作したい機能のボタンを押してください。
2つの番組をHDDまたはDVDと、VHSにそれぞれ同時に録画するには、☞22ページをご覧ください。

予約待機中のメッセージ

予約待機中に番組などを見ていると、以下のメッセージが出ます。

- 「予約開始時刻の5分前です。 予約録画を優先する場合は、3分以内に録画の準備をして下さい。」または「予約開始時刻の5分前です。」
  → ディスクが入っているか、他の番組を録画中ではないかなどを、確認してください。
  → 予約録画を取り消したい場合は、予約録画入/切ボタンを押します。他の予約録画を実行するためには、もう一度、予約録画入/切ボタンを押して予約待機状態にします。
- 「これより2分間 操作が制限されます。」
  → 予約開始時刻2分前に出るメッセージです。予約録画の準備に入るため、この2分間は操作が制限されます。この間は、メッセージ表示前の状態が継続され、停止■ボタン、電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞41ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 予約録画実行中に予約録画入/切ボタンを押すと、設定した録画終了時刻になっても録画が止まりません。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（DVDジャスト録画）（☞112ページ）。
- 予約録画が始まると、本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯します。本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯しないようにするには、「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「表示窓の設定」－「消灯」に設定します（☞117ページ）。
- 本体HDD/DVD表示窓は、リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押すと消えます。

ご注意

- 予約録画時間は、2分以上の設定にしてください。
- 予約録画中はHDD/DVDの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- 次のような場合、手順**8**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、HDD/DVD録画予約ランプが点滅します。
  －本体の電源が切れている
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体HDD/DVD表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるのを待ってから、予約録画入/切ボタンを押してHDD/DVD録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 停電があってもHDDとDVDの予約は保持されます。本体のHDD/DVD表示窓の時計表示が点滅している場合は、時計を設定し直してください。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。
- 現在時刻から3分以内では、録画予約できません。
- 入れた予約と時間が重複している予約があるときは、メッセージが表示されます。
- HDDとDVDですでに32番組の予約があるときは、メッセージが表示されます。「取り消す」を選んで決定ボタンを押してから、不要な予約を取り消してください。
- 予約開始時刻の2分前に予約の準備ができていない場合は、予約録画が実行されません。開始時刻が過ぎた場合も同様です。

HDD/DVDに Gコード®で予約する

HDD DVD-RW DVD-R

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードシステムを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを、リモコンの表示窓を見ながら簡単に設定できます。
日時などを指定する予約などと合わせて、1年先までの番組を、HDDとDVDで合計32番組まで予約できます。

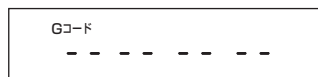
予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞57ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞92ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞109ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞113ページ）。
- 後で、HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速でダビングする場合は、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。

1 HDDに録画するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。
⇨手順4へ
DVDに録画するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

2 ≜（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。
録画したい面を下にして置きます。

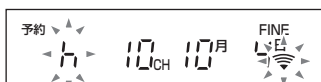
3 ≜（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。
本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

4 Gコード予約ボタンを押す。
リモコン表示窓にGコード入力画面が出ます。

次のページにつづく

HDD/DVDにGコード®で予約する（つづき）

5 **数字ボタンを押して、Gコード番号を入れる。**

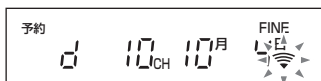
- **間違えたときは**
  Gコード戻しボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。時刻表示に戻ります。

6 **Gコード決定ボタンを押す。**
予約内容が出ます。

予約 h 10CH 10月 FINE

←/→で項目を確認し、↑/↓で修正することができます。

- **チャンネルに「– –」が表示されたときは**
  リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコード予約をするためのチャンネル設定をしてください（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。
- **毎週・毎日予約したいときは**
  毎週/毎日ボタンを繰り返し押して選びます。
  例）10/4（録画日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月〜日（毎日）→ 月〜土 → 月〜金 → 10/4（録画日）
- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  チャンネルに、↑/↓で本機につないだ機器の入力（「L1」または「L2」）を選びます。

7 **予約先選択ボタンを繰り返し押して、予約先（HDDまたはDVD）を選ぶ。**
押すたびに、h（HDD）→ d（DVD）→ u（VHS）と切り換わります。

予約 d 10CH 10月 FINE

8 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP）を選ぶ。**

9 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**
予約情報が本体に転送され、リモコンの表示窓が時計表示に戻ります。

本体HDD/DVD表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。

- **予約操作を終了するときは**
  リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**4**から繰り返します。

本体のHDD/DVD録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

HDDまたはDVDと、VHSで同時に2つの番組を録画予約するには

HDDまたはDVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞36ページ）。
HDDとDVDで同じ時間帯に録画予約はできません。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを2回押します。
VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。
予約録画中に録画を止めると、本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体のHDD/DVD録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中または予約録画実行中に本機を使うには

HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させます。
VHSを操作するときは、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させます。
操作したい機能のボタンを押しても画面に何も表示されない場合は、本体の電源ボタンを押して電源を入れ、操作したい機能のボタンを押してください。
2つの番組をHDDまたはDVDと、VHSにそれぞれ同時に録画するには、☞22ページをご覧ください。

予約待機中のメッセージ

予約待機中に番組などを見ていると、以下のメッセージが出ます。

- 「予約開始時刻の5分前です。 予約録画を優先する場合は、3分以内に録画の準備をして下さい。」または「予約開始時刻の5分前です。」
  →ディスクが入っているか、他の番組を録画中ではないかなどを、確認してください。
  →予約録画を取り消したい場合は、予約録画入/切ボタンを押します。他の予約録画を実行するためには、もう一度、予約録画入/切ボタンを押して予約待機状態にします。
- 「これより2分間 操作が制限されます。」
  →予約開始時刻2分前に出るメッセージです。予約録画の準備に入るため、この2分間は操作が

制限されます。この間は、メッセージ表示前の状態が継続され、停止■ボタン、電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります。

9桁のGコード番号を入力したときは

リモコン表示窓は8桁表示のため、9桁のGコード番号を入力したとき、9桁目の数字は出ますが、1桁目の0の数字が表示窓から消えます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞41ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 予約録画実行中に予約録画入/切ボタンを押すと、設定した録画終了時刻になっても録画が止まりません。
- ディスクの空き時間不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（DVDジャスト録画）（☞112ページ）。
- 予約録画が始まると、本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯します。本体HDD/DVD表示窓とHDDランプが点灯しないようにするには、「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「表示窓の設定」－「消灯」に設定します（☞117ページ）。
- 本体HDD/DVD表示窓は、リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押すと消えます。

ご注意

- 予約録画中はHDD/DVDの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- Gコード入力画面の表示中、ボタン操作が1分以上ない場合、自動的にGコード入力画面は消え、時刻表示に戻ります。
- 次のような場合、手順**9**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、HDD/DVD録画予約ランプが点滅します。
  －本体の電源が切れている
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体HDD/DVD表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから、予約録画入/切ボタンを押してHDD/DVD録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 停電があってもHDDとDVDの予約は保持されます。本体のHDD/DVD表示窓の時計表示が点滅している場合は、時計を設定し直してください。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。
- 入れた予約と時間が重複している予約があるときは、メッセージが表示されます。
- HDDとDVDですでに32番組の予約があるときは、メッセージが表示されます。「取り消す」を選んで決定ボタンを押してから、不要な予約を取り消してください。
- 予約開始時刻の2分前に予約の準備ができていない場合は、予約録画が実行されません。開始時刻が過ぎた場合も同様です。

HDDに別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）

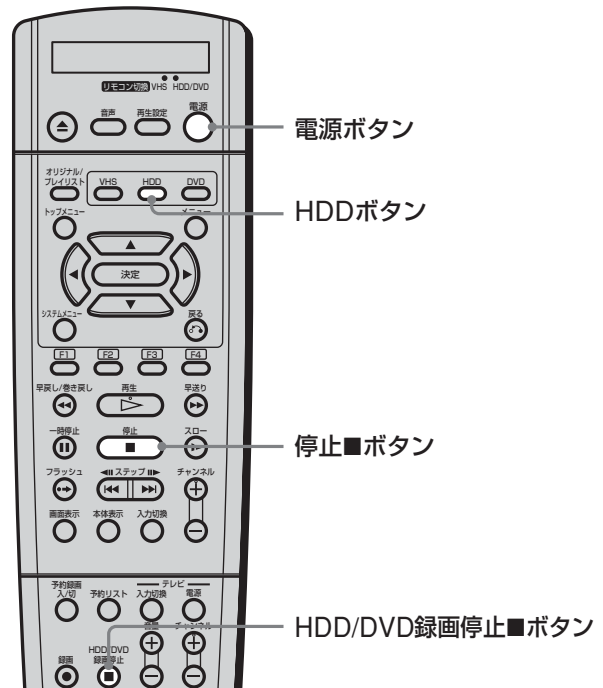
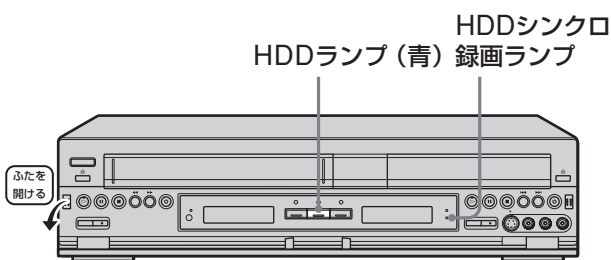
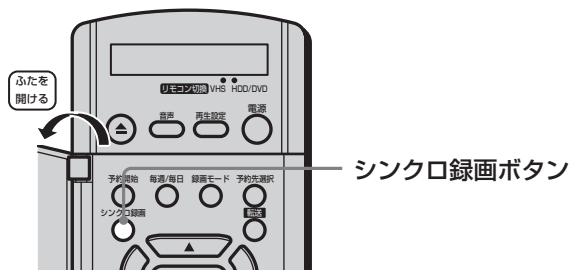
HDD

別売りの番組予約機能の付いたチューナー*をつなぐと、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください（☞別冊「接続と準備」の「別売りのデコーダーやチューナーをつなぐ」）。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。
シンクロ録画中もVHSは使えます。

* 地上デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなど

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」と「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞57ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。
- 後で、HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速でダビングする場合は、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。

次のページにつづく

HDDに別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）（つづき）

1 HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。

2 外部入力の音声を選ぶ。

- **ステレオ放送を録画するときは**
  システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」－「外部音声入力」－「ステレオ」を選びます（☞112ページ）。

3 つないだチューナーで番組予約をする。

4 チューナーの電源を切る。

5 シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。

本体のHDDシンクロ録画ランプが点灯し、本機はシンクロ録画予約待機になります。

この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

チューナーの電源が入ると、録画が自動的に始まり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。

シンクロ録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。

シンクロ録画中にシンクロ録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

シンクロ録画予約待機を解除するには

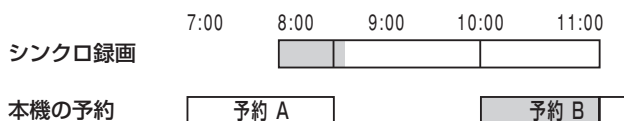
シンクロ録画ボタンを2秒以上押して、本体のHDDシンクロ録画ランプを消します。

再び設定するときは、シンクロ録画ボタンを2秒以上押して、本体のHDDシンクロ録画ランプを点灯させます。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

本機の予約が先に始まったときは、本機の予約が終わってからシンクロ録画が始まります。

シンクロ録画が先に始まったときは、本機の予約はシンクロ録画が終わってから予約録画が始まります。

▒で示した部分は録画しません。

ご注意

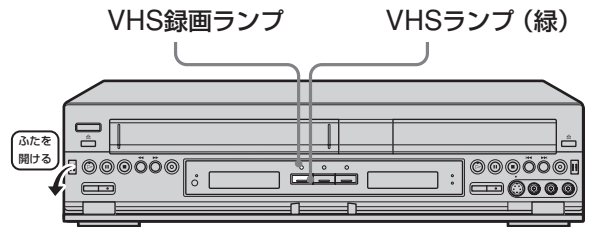
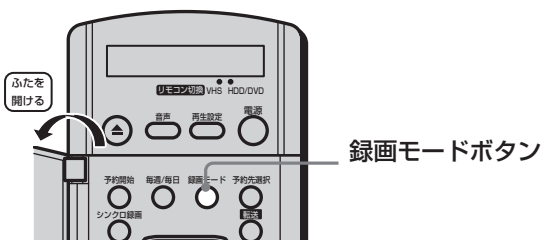
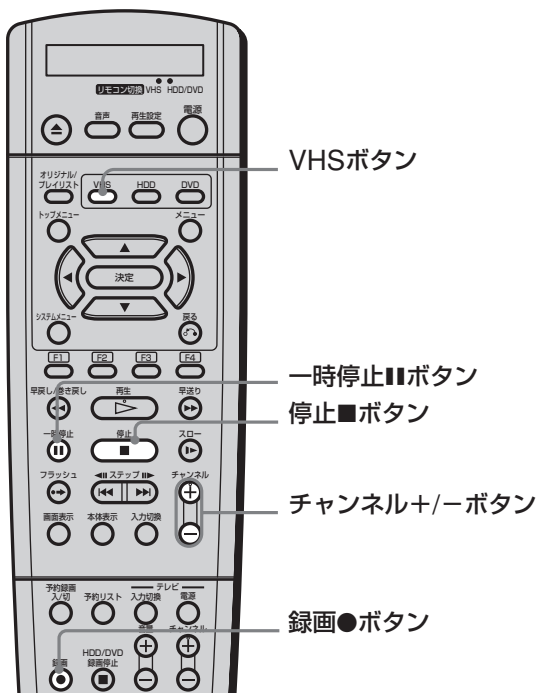
- 録画モードは「FINE」に固定されます。
- シンクロ録画中はHDD/DVDの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- シンクロ録画中は、通常の録画など、他の操作はできません。
- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入り、ディスク情報確認後に録画が開始されるため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている番組をHDDからDVD-RWへダビングする場合は、移動（ムーブ）します。したがってHDDの録画内容は消去されます。
  詳しくは、「コピー制御信号について」（☞16ページ）をご覧ください。
- AVマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、AVマウスを使わないでください。
- 本機のHDDシンクロ録画ランプが点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まります。
  シンクロ録画予約待機中にチューナーを使う場合は、シンクロ録画の設定を解除してください。
- システムメニューの「セットアップ」－「BS設定」－「BSチャンネル」－「BSデコーダー」－「入」になっていると、シンクロ録画は働きません。

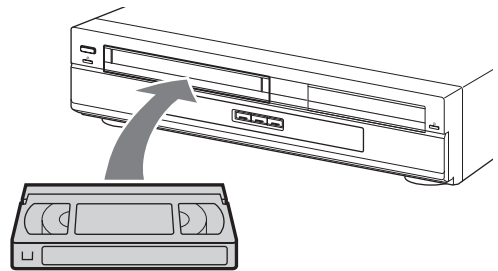
VHSに録画する

VHS

テレビで見ている番組をVHSに録画することができます。
HDDまたはDVDと、VHSで別々のチャンネルの番組を同時に録画することができます（☞22ページ）。

ご注意
- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

録画を始める前に…
- リモコンと本体のチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞72ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

1 VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させる。

2 VHSテープを入れる。

3 チャンネル＋/－ボタンを押してチャンネルを選ぶ。

4 録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。
本体VHS表示窓に選んだ録画モードが出ます。

5 録画●ボタンを押す。
テレビ画面に「●」（録画マーク）が表示され、録画が始まります。録画中はVHS録画ランプが点灯します。

録画を停止するまで、またはテープの残量がなくなるまで録画が続きます。
このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

録画中に終了時刻を設定するには

「決めた時刻まで録画する」（クィックタイマー）をご覧ください（☞23ページ）。

HDDまたはDVDと、VHSで同時に2つの番組を録画するには

「2つの番組を同時に録画する」（☞22ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

VHSで録画中にHDDやDVDのタイトルを見るには

HDDを見るときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させてから操作します。
DVDを見るときは、ディスクを入れ、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させてから操作します。HDD/DVD専用出力端子でテレビをつないでいるときは、テレビの入力を切り換えます。

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

カセットを取り出すには

⏏（VHSテープ取出し）ボタンを押します。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**3**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「ビデオ機器をつないで見る・ダビングする」（☞106ページ）をご覧ください。
- VHSテープの最後まで録画すると、自動的に巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとテープが出てきます。
- チャンネル+/−ボタンで「H/D」を選んだときは、再生中のHDDまたはDVDの映像をビデオ側から出力して見たり、録画したりできます。

- 「H/D」と「VHS」を同時に選んだときは、映像と音声が停止して、黒画面・無音声の状態になります。

VHSに日時指定して予約する

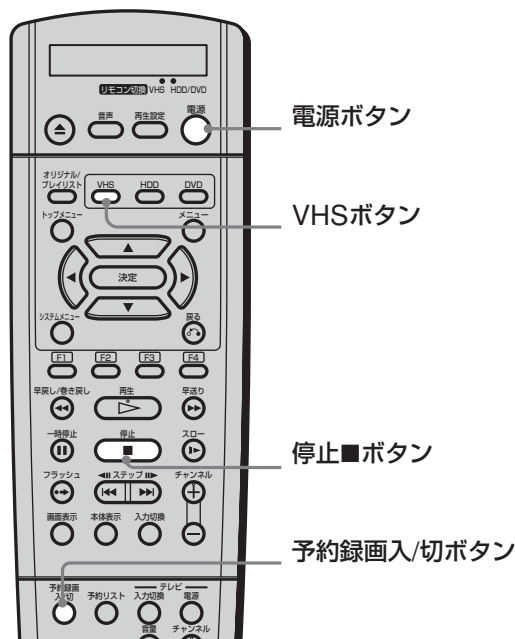
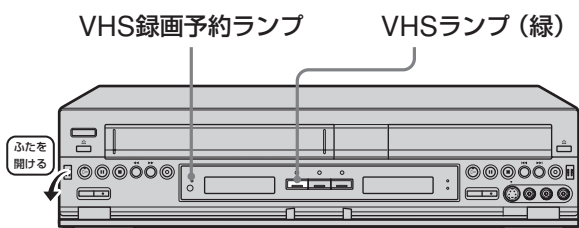
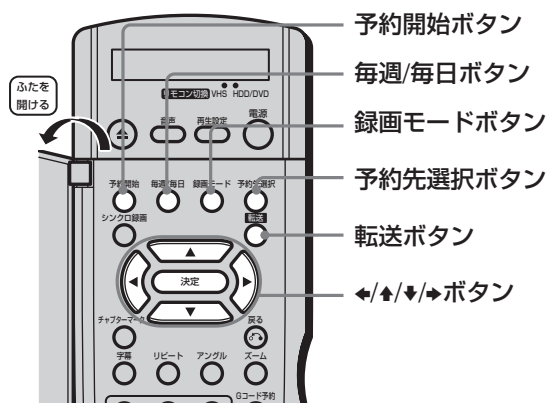
VHS

1年先までの番組や、毎日または毎週の番組を、リモコンの表示窓を見ながら予約できます。Gコード予約（☞39ページ）と合わせ、8番組まで予約できます。
同じ時間帯にHDDまたはDVDでも録画予約することができます。HDDまたはDVD側で予約の操作をしてください（☞24、28、31ページ）。

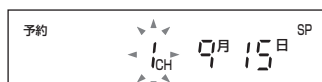
ご注意

- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

予約を始める前に…

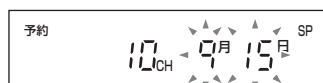
- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞72ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

1 VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させる。

2 VHSテープを入れる。

3 予約開始ボタンを押す。

4 ⇦/⇧/⇩/⇨でチャンネルと日時を選ぶ。

1 ⇧/⇩でチャンネルを選び、⇨を押す。
⇧を押すたびに以下のように切り換わります。なお、**BSのチャンネルは、表示されても録画することはできません。**

例）VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ CATVチャンネル（C1、C3、…）→ L1 → L2

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
「L1」または「L2」を選びます。

2 ⇧/⇩で月日を選び、⇨を押す。
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、毎週/毎日ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

例）9/15（今日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月〜日（毎日）→ 月〜土 → 月〜金 → 9/15（今日）

3 ⇧/⇩で開始時刻の「時」を選び、⇨を押す。
4 ⇧/⇩で開始時刻の「分」を選び、⇨を押す。
5 ⇧/⇩で終了時刻の「時」を選び、⇨を押す。
6 ⇧/⇩で終了時刻の「分」を選び、⇨を押す。

- **間違えたときは**
⇦を押して前の項目に戻ります。
- **途中で止めるときは**
予約開始ボタンを押します。

5 予約先選択ボタンを繰り返し押して、リモコン表示窓にuを点灯させる。
押すたびに、h（HDD）→ d（DVD）→ u（VHS）と切り換わります。

6 録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。

7 リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。
予約情報が本体に転送され、リモコンの表示窓が時計表示に戻ります。
本体VHS表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。
- **予約操作を終了するときは**
予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
手順**3**から繰り返します。

次のページにつづく

VHSに日時指定して予約する（つづき）

8 **予約録画入/切ボタンを押す。**
本体のVHS録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

予約録画中に録画を止めるには

VHSボタンを押して、停止■ボタンを押します。
予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押してVHS録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

画面を使って設定するには

VHS予約確認画面で設定できます。

1 VHSボタンを押す。
2 予約リストボタンを押す。

3 ↑/↓で空欄を選び、決定ボタンを押す。
4 ←/↑/↓/→で録画日から順に設定する。
5 「確定」を選び、決定ボタンを押す。
6 予約録画入/切ボタンを押す。

予約待機中に本機を使うには

予約録画入/切ボタンを押して本体のVHS録画予約ランプを消し、電源を入れてから操作してください。
HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させせます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させせます。
VHSを操作するときは、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させせます。
操作が終わったら、予約録画入/切ボタンを押してVHS録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。本機の電源を切ってください。

予約録画実行中に本機を使うには

VHSの予約録画実行中もHDDまたはDVDを使えます。
HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させせます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させせます。
操作したい機能のボタンを押しても画面に何も表示されない場合は、本体の電源ボタンを押して電源を入れ、操作したい機能のボタンを押してください。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞41ページをご覧ください。

VHSの予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☞43ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- 「SP」モードでは、テープ残量不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えるように設定できます（VHSジャスト録画）（☞113ページ）。
- 予約録画実行中に予約録画入/切ボタンを押すと、設定した録画終了時刻になっても録画は止まりません。
- 予約録画が始まると、本体VHS表示窓が点灯します。本体VHS表示窓が点灯しないようにするには、「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「表示窓の設定」－「消灯」に設定します（☞117ページ）。
- 本体VHS表示窓は、リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押すと消えます。

ご注意

- 予約録画中はVHSの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- カセットが入っていないときや、カセットのツメが折れているときに予約入/切ボタンを押すと、VHS録画予約ランプが点滅します。
- 約10分の停電でVHSの予約は取り消されます。予約を設定し直してください。本体のHDD/DVD表示窓の時計表示が点滅している場合は、時計を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。

VHSにGコード®で予約する

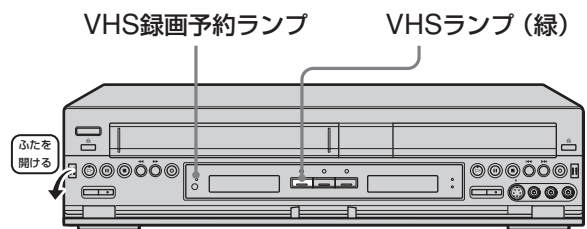
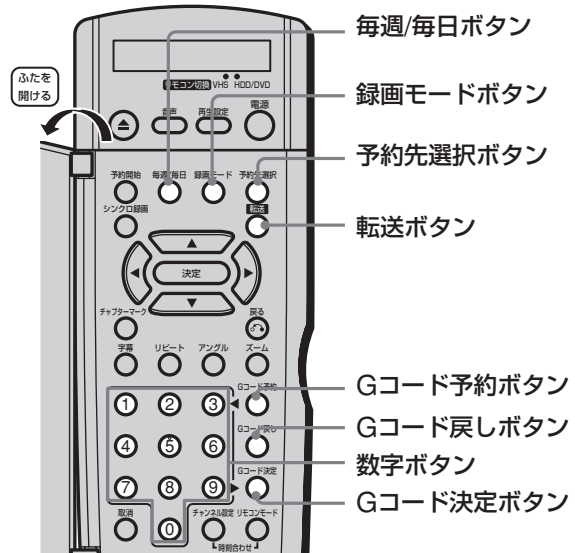
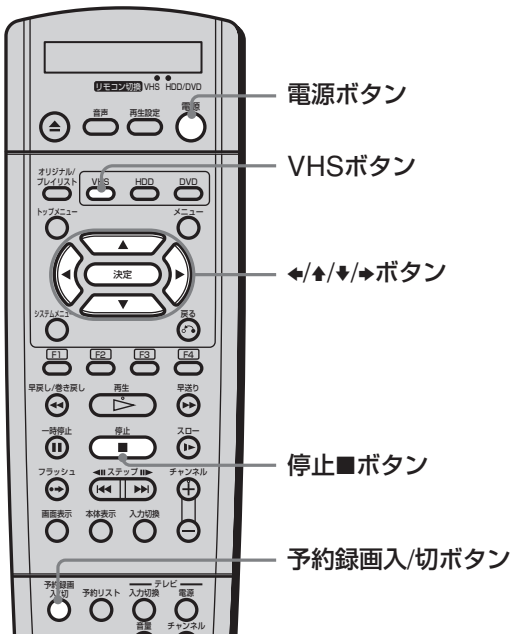
VHS

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードシステムを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを、リモコンの表示窓を見ながら簡単に設定できます。
日時などを指定する予約と合わせて、8番組まで予約できます。
同じ時間帯にHDDやDVDでも録画予約することができます。
HDDやDVD側で予約の操作をしてください。

ご注意

- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞72ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

1 VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させる。

2 VHSテープを入れる。

3 Gコード予約ボタンを押す。

リモコン表示窓にGコード入力画面が出ます。

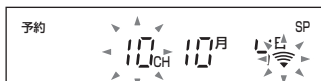
Gコード
-- -- -- --

4 数字ボタンを押して、Gコード番号を入れる。

- **間違えたときは**
  Gコード戻しボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。時刻表示に戻ります。

次のページにつづく

VHSにGコード®で予約する（つづき）

5 **Gコード決定ボタンを押す。**
予約内容が出ます。

←/→で項目を確認し、↑/↓で修正することができます。

- **チャンネルに「– –」が表示されたときは**
  リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコード予約をするためのチャンネル設定をしてください（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。
- **毎週・毎日予約したいときは**
  毎週/毎日ボタンを繰り返し押して選びます。
  例）10/4（録画日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月〜日（毎日）→ 月〜土 → 月〜金 → 10/4（録画日）
- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  チャンネルに、↑/↓で本機につないだ機器の入力（「L1」または「L2」）を選びます。

6 **予約先選択ボタンを繰り返し押して、リモコン表示窓にuを点灯させる。**
押すたびに、h（HDD）→ d（DVD）→ u（VHS）と切り換わります。

7 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。**

8 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**
予約情報が本体に転送され、リモコンの表示窓が時計表示に戻ります。
本体VHS表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。

- **予約操作を終了するときは**
  リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**3**から繰り返します。

9 **予約録画入/切ボタンを押す。**
本体のVHS録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

予約録画中に録画を止めるには

VHSボタンを押して、停止■ボタンを押します。予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

予約録画入/切ボタンを押して本体のVHS録画予約ランプを消し、電源を入れてから操作してください。
HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させます。
VHSを操作するときは、VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させます。
操作が終わったら、予約録画入/切ボタンを押してVHS録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。本機の電源を切ってください。

予約録画実行中に本機を使うには

VHSの予約録画実行中もHDDまたはDVDを使えます。
HDDを操作するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させます。
DVDを操作するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させます。
操作したい機能のボタンを押しても画面に何も表示されない場合は、本体の電源ボタンを押して電源を入れ、操作したい機能のボタンを押してください。

9桁のGコード番号を入力したときは

リモコン表示窓は8桁表示のため、9桁のGコード番号を入力したとき、9桁目の数字は出ますが、1桁目の0の数字が表示窓から消えます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞41ページをご覧ください。

VHSの予約が重なったり、連続したりしたときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☞43ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 「SP」モードでは、テープ残量不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えるように設定できます（VHSジャスト録画）（☞113ページ）。
- 予約録画実行中に予約録画入/切ボタンを押すと、設定した録画終了時刻になっても録画は止まりません。
- 予約録画が始まると、本体VHS表示窓が点灯します。本体VHS表示窓が点灯しないようにするには、「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「表示窓の設定」－「消灯」に設定します（☞117ページ）。
- 本体VHS表示窓は、リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押すと消えます。

ご注意

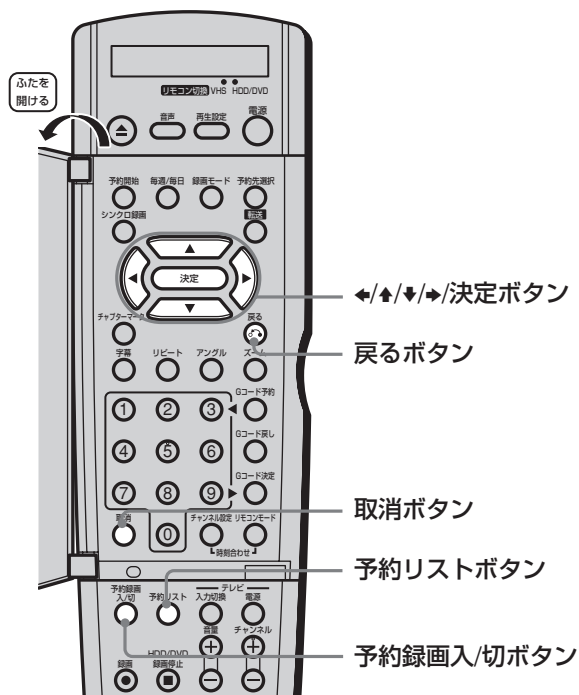
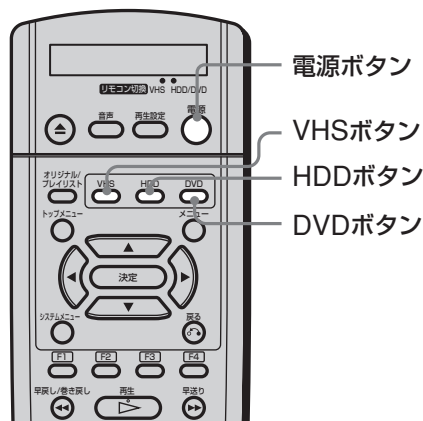
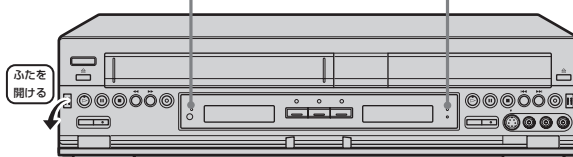
- 予約録画中はVHSの一時停止❚❚ボタンが働きません。
- Gコード入力画面を表示中、ボタン操作が1分以上ない場合、自動的にGコード入力画面は消え、時刻表示に戻ります。
- カセットが入っていないときや、カセットのツメが折れているときに予約入/切ボタンを押すと、VHS録画予約ランプが点滅します。
- 約10分の停電でVHSの予約は取り消されます。予約を設定し直してください。本体のHDD/DVD表示窓の時計表示が点滅している場合は、時計を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。
- リモコン表示部に「Err」が表示されたときは、もう一度Gコード番号を確認して番号を入力し直してください。

予約を確認・変更する・取り消す

HDD DVD-RW DVD-R VHS

テレビ画面を使って、設定した予約の確認、変更、取り消しができます。

録画・予約

次のページにつづく

予約を確認・変更する・取り消す（つづき）

HDD/DVDの予約を確認・変更・取り消す

予約リスト画面で操作します。

1 **電源ボタンを押して、電源を入れる。**

2 HDDボタンまたはDVDボタンを押す。

3 **予約リストボタンを押す。**
HDDとDVDの予約リスト画面が出ます。

テレビ画面

■予約リスト　9/15［水］PM 6:05
HDD・DVDの予約内容の確認・変更・取消ができます。

録画先	放送日時		ch	録画モード
HDD	9/15［水］	PM 9：30～PM10：00	6ch	FINE
DVD	毎週月	PM 9：00～PM 9：50	8ch	FINE
DVD	毎日	PM 7：00～PM 7：30	6ch	SP

4 **予約を変更する。**

1. **▲/▼でで変更したい予約を選び、決定ボタンを押す。**
2. **◀/▶で「変更する」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **◀/▶で変更したい項目を選び、▲/▼で変更し、「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

予約を取り消すときは
手順2で「取り消す」を選び、決定ボタンを押す。次に「する」を選び、決定ボタンを押す。

予約を確認したら
決定ボタンを押す。

予約確認画面を消すには

戻るボタンを押します。

シンクロ録画と本機の予約が重なったとき

☞34ページをご覧ください。

ちょっと一言

- HDD/DVDの予約リストは、システムメニューの「予約/予約確認」－「予約リスト」で表示することもできます。
- HDD/DVDの予約リストでは、録画開始時間が早い順に表示されます。

VHSの予約を確認・変更・取り消す

VHS予約確認画面で操作します。

1 **本機の電源が切れている場合、電源を入れる前に、予約録画入/切ボタンを押す。**
予約待機が解除され、VHS予約録画ランプが消灯します。

2 **電源ボタンを押して、電源を入れる。**

3 VHSボタンを押す。

4 **予約リストボタンを押す。**
VHS予約確認画面が出ます。

VHS予約確認　1／2

録画日	ch	開始	終了	モード
9/15	10	9:00PM	9:54PM	SP
9/18	33	10:30PM	11:00PM	LP
－/－－	－－	－:－－	－:－－	－－
－/－－	－－	－:－－	－:－－	－－

▼次ページ

5 予約を変更する。

1 ↑/↓で変更したい予約を選び、決定ボタンを押す。

2 ←/→で変更したい項目を選び、↑/↓で変更し、「確定」を選び、決定ボタンを押す。

予約を取り消すときは

手順**1**で取り消したい予約を選び、取消ボタンを押す。

予約を確認したら

決定ボタンを押す。

予約を確認・変更・取り消しした後、他にも予約があるときは

予約録画入/切ボタンを押す。

予約待機状態になり、VHS予約録画ランプが点灯します。

予約確認画面を消すには

戻るボタンを押します。

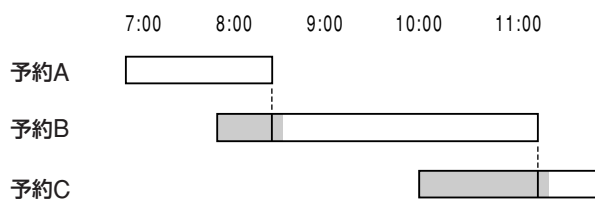
ちょっと一言

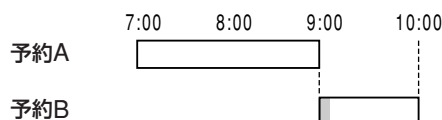
- VHS予約確認画面では、録画開始時間が早い順に表示されます。
- HDD/DVD使用中の場合は、VHSボタンを押し、予約録画入/切ボタンを押してから電源を入れます。

予約が重なったり連続したときは

VHS側だけの予約で、予約の時間が重なっていたとき

先に始まる予約が優先されます。

□で示した部分は録画しません。

HDD/DVD側の予約で、終了時刻と次の開始時刻が同じとき

先に始まる予約の録画が終了した後、約20秒後に次の録画が始まります。

予約録画のこんなときは

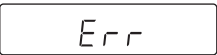
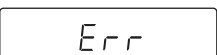
次のような場合は、予約録画ができません。エラー内容を確認して正しく予約してください。

予約録画できない

予約待機状態になっていない	→ HDD/DVD予約録画ランプとVHS予約録画ランプが点灯しているか確認してください。

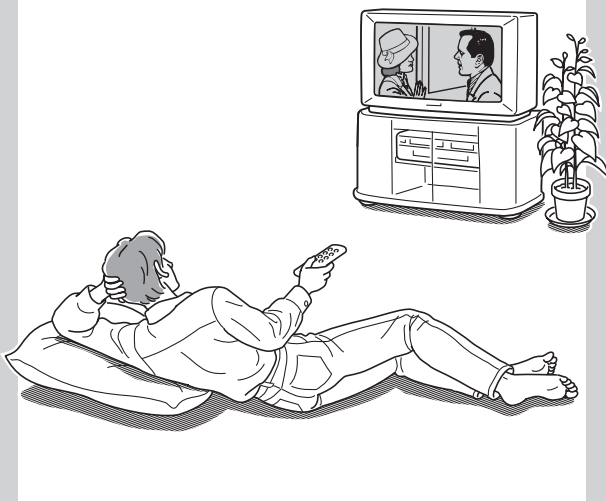
HDD/DVDで予約録画ができない

HDDの空き容量がない	→ 不要なタイトルを消してください（☞92ページ）。
ディスクが入っていない、または録画できないディスクが入っている（DVDのみ）	→ 空き容量が充分あり、録画できるディスクを入れてください。
ディスクの空き容量がない（DVDのみ）	→ 空き容量が充分あり、録画できるディスクを入れてください。
ディスクが判別されていない（DVDのみ）	→ 録画できるディスクを入れてください（☞7ページ）。
ディスクが保護されている（DVDのみ）	→ ディスク保護を解除するか、別の録画できるディスクに入れ換えてください。
再生している、または録画している（HDD/DVDのみ）	→ 再生中や録画中は、予約録画できません。
開始時刻が過ぎている	→ 2分前までに録画の準備をしてください（☞16ページ）。

VHSで予約録画ができない

VHSテープが入っていない、またはツメの折れているVHSテープが入っている	→ 録画用VHSテープを入れてから、予約録画入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。
VHSが動作しているときに予約内容を送信したり、予約録画入/切ボタンを押した	→ 停止したあと録画用VHSテープを入れ、予約録画入/切ボタンを押し予約待機状態にしてください。
VHSテープの空き容量がない	→ 空き容量が充分あり、録画できるVHSテープを入れてください。

リモコンで設定した予約を本体へ送信できない

本体の電源が切れている	→ 本体の電源が切れているときは、予約を送信できません。 本体の電源を入れてから再度送信してください。
時計が合っていない	→ 本体表示 Err → 時計合わせを行ってから、再度予約してください。
予約がいっぱいになっている	→ 本体表示 FULL → 予約を取り消してから、再度予約してください。
予約が重なっている（HDD/DVDのみ）	→ 重なっている予約を取り消してから、再度予約してください。
選んだチャンネルが設定されていない	→ 本体表示 Err → 予約したチャンネルを確認してください。
予約録画開始時刻の3分前になっている（HDD/DVDのみ）	→ 予約録画開始時刻の3分前は、予約録画の準備のため、予約を送信できません。
予約録画中である	→ 予約録画中は予約できません。 終了してから予約してください。
Gコードが誤っている（リモコン表示部にエラー表示）	→ 正しいGコード番号を入力してから待機状態にしてください。

HDD/DVDの再生

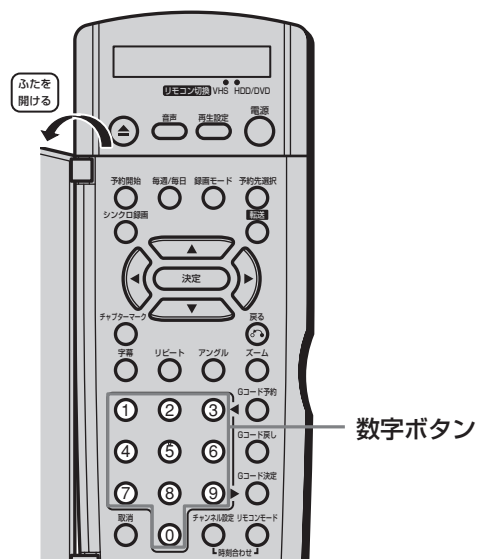
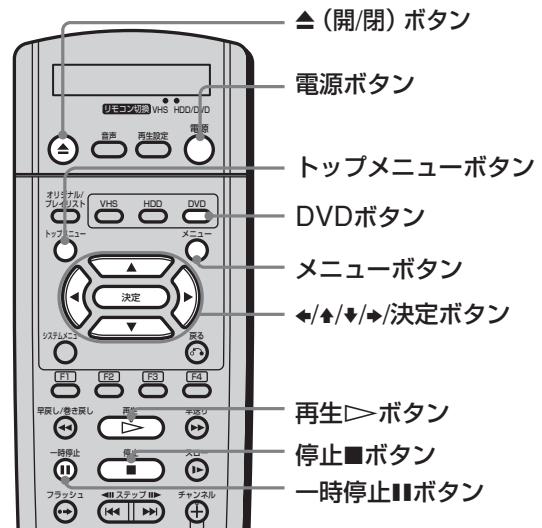
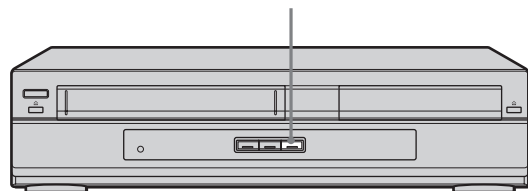
ここでは、HDD/DVDを再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組を頭出ししたり、録画した番組のとばしたい部分を早送りしたり、繰り返し再生したりできます。
音声やアングルを切り換えたり、画質を調整するなどの役立つ機能もあります。

ディスクとVHSの映像・音声出力について

本機は、再生や録画の操作に応じて自動的にディスクとVHSの出力を切り換えます。
本機には「HDD/DVD/VHS共有」出力端子（アナログ端子）と「HDD/DVD専用」出力端子（S映像、D映像、デジタル音声端子など）があります。両方の端子をテレビとつないでいるときは、本機の出力を切り換えるときに、テレビの入力も切り換える必要があります。
接続について詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「準備**5**：テレビに映像コードをつなぐ」と「準備**6**：テレビやアンプに音声コードをつなぐ」をご覧ください。

ディスクを再生する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生するディスクの説明書も必ずご覧ください。
ディスクによっては、禁止されている操作もあります。

次のページにつづく

ディスクを再生する（つづき）

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

アンプを使うときは

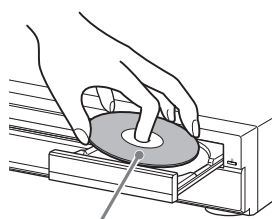
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **DVDボタンを押して、DVDランプ（オレンジ）を点灯させる。**

4 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

5 **ディスクを置く。**

再生したい面を下にして置きます。

再生したい面を下に

6 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

7 **再生▷ボタンを押す。**

再生が始まります。

テレビまたはアンプの音量を調節します。

手順7の後に

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが出ることがあります。そのときはメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

次に再生▷ボタンを押すと、テレビ画面に「つづき再生」が表示され、止めたところから再生が始まります。詳しくは、☛49ページをご覧ください。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

⏏（開/閉）ボタンを押します。

ちょっと一言

電源が入っていなくても、⏏（開/閉）ボタンを押すとディスクトレイは開きます。ただし、開くまでに数10秒かかることがあります。

DVDのディスクのメニューを使うには

DVD-VIDEO DVD-RW(VIDEO) DVD-R

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。

テレビ画面に出るディスクのメニューにしたがって再生できます。

1 トップメニューまたはメニューボタンを押す。
   ディスクのメニューが出ます。
   メニューの内容はディスクによって異なります。
2 ←/↑/↓/→または数字ボタンで項目を選ぶ。
   数字ボタンで選ぶときは、必ず「01」、「02」のように頭に「0」をつけてください。
3 手順**2**で←/↑/↓/→ボタンを使ったときは、決定ボタンを押す。

DTS音声が記録されたCDを再生するときのご注意 CD

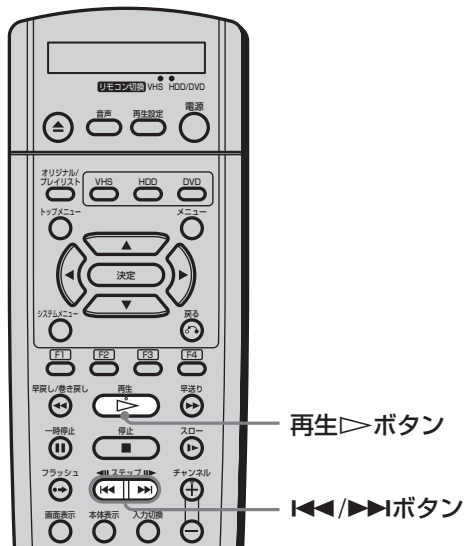
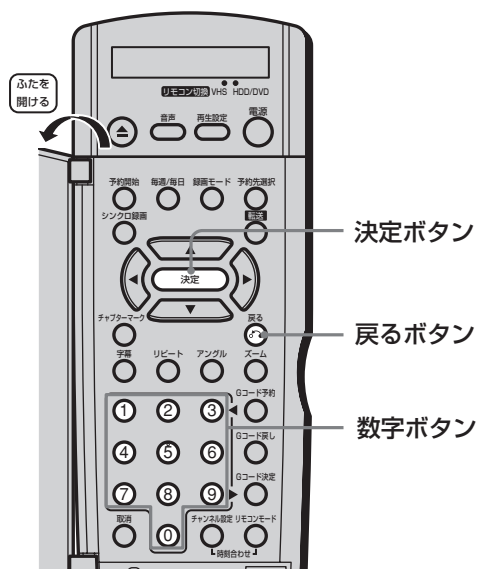
- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵ではないときは、CDのDTS音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーが破損したりするおそれがあります。
- CDのDTS音声を再生するときに、アナログ音声出力端子から異音が出ます。耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりすることがないようご注意ください。
- デジタル出力端子からDTS音声を出力していても「DTS」の表示は出ません。

DVDのDTS、ドルビーデジタル音声を再生するときのご注意 DVD-VIDEO

- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵ではないときは、DVDのDTS音声を再生しないでください。
  ドルビーデジタル音声についても接続したオーディオ機器がドルビーデジタルデコーダー内蔵ではないときは、DVDのドルビーデジタル音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
- DTS音声を再生するときは、アナログ音声出力端子からは音が出ません。
- ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を再生するときはアナログ音声出力端子からは2チャンネルに変換した音声が出ます。

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC再生） VIDEO CD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control - PBC機能）。

1 **PBC対応ビデオCDを入れ、再生▷ボタンを押して再生する。**
選択用のメニュー画面が出ます。

2 **メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタン（「01」、「02」…）で選ぶ。**
操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

「NEXT（次へ）」と「PREVIOUS（前へ）」の操作をするには

「NEXT（次へ）」の操作は⏭ボタンを押し、「PREVIOUS（前へ）」の操作は⏮ボタンを押します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

ちょっと一言

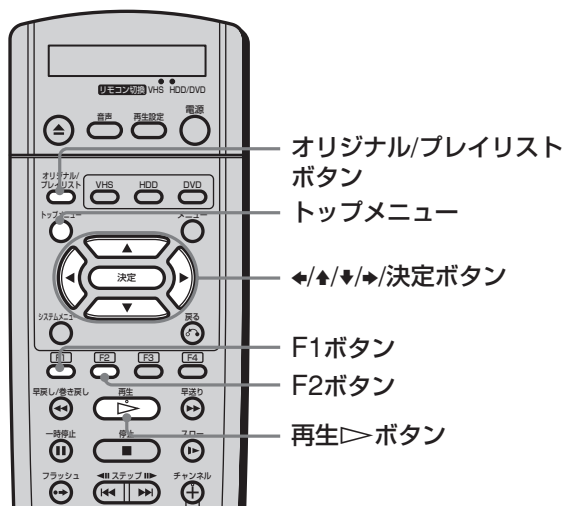
- PBC機能を使わないで再生するときは、停止■ボタンを2回押して再生を止めたあと、早送り▶▶ボタンを押します。
  PBC再生に戻すには、停止■ボタンを2回押して再生を止めたあと、再生▷ボタンを押します。

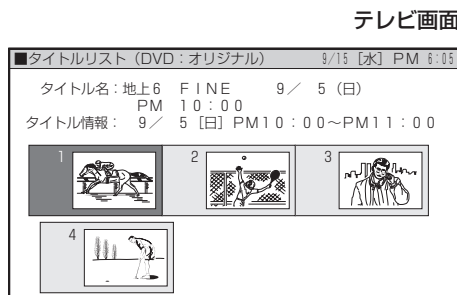
ご注意

- ディスクによっては手順**2**で決定することを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、決定ボタンまたは再生▷ボタンを押してください。

録画したタイトルを再生する

画像から選んで再生する（タイトルリスト） HDD DVD-RW DVD-R

録画または編集したディスクを再生するとき、画面（タイトルリスト）に一覧表示された画像（サムネイル）から選んで再生することができます。通常、タイトルの最初の画像が出ます。
サムネイルリスト（画像付タイトルリスト）に出る画像は好みの場面に変更することができます（☞86ページ）。
ファイナライズしたビデオモードのディスクを再生するときは、「メニューから選んで再生する（タイトルメニュー）」（☞49ページ）をご覧ください。

1 **トップメニューボタンを押す。**
サムネイルリスト（画像付タイトルリスト）画面が出ます。
例）DVD-RW（VRモード）オリジナルタイトルリスト

テレビ画面

2 **再生したいタイトルの画像を←/↑/↓/→で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

タイトルリストに表示されるマークについて

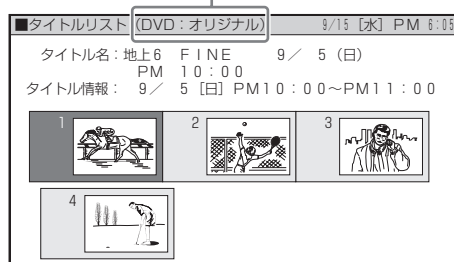
NEW	未視聴のHDDのタイトルに表示されます。再生や編集、タイトル保護を設定したタイトルには表示されません。
🔒	タイトル保護が設定されている、HDDやDVD-RW（VRモード）のタイトルに表示されます。
1回	「1回だけ録画可能」の番組（HDDのみ）
速	高速ダビング設定（HDDのみ）

タイトルリストを切り換えるには

- サムネイルリスト
  タイトル名リスト画面表示中に、F1ボタンを押すと出ます。またはチャプター単位画面表示中にF2ボタンを押すと出ます。
- タイトル名リスト
  サムネイルリスト画面表示中に、F1ボタンを押すと出ます。
- チャプター単位
  サムネイルリスト画面表示中に、F2ボタンを押すと出ます。

オリジナルとプレイリストを切り換えるには HDD DVD-RW(VR)

VRモードで録画したディスクは、手順**2**の前で、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナルとプレイリストを切り換えることができます。オリジナル、プレイリストについて詳しくは、☞74ページをご覧ください。

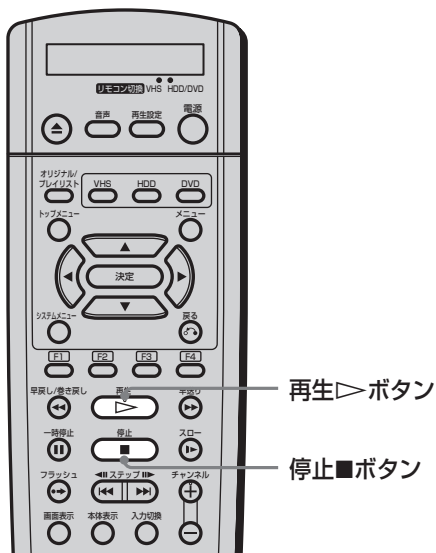
「オリジナル」または「プレイリスト」

ちょっと一言

- 画像付タイトルリストは、システムメニューから「タイトルリスト」を選んでも表示できます（☞11ページ）。
- 画像付タイトルリストに出る各タイトルの画像を好みの場面に変更することができます。詳しくは、「画像付タイトルリストの画像を変更する」（☞86ページ）をご覧ください。
- 録画が終わってすぐに再生▷ボタンを押すと、今録画したタイトルが再生されます。

ご注意
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストを再生したとき、1タイトルが12時間以上ある場合は、そのタイトルは12時間までしか再生できません。

再生を止めたところから再生する

（つづき再生） HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。

1 **再生中、停止■ボタンを押して、再生を止める。**

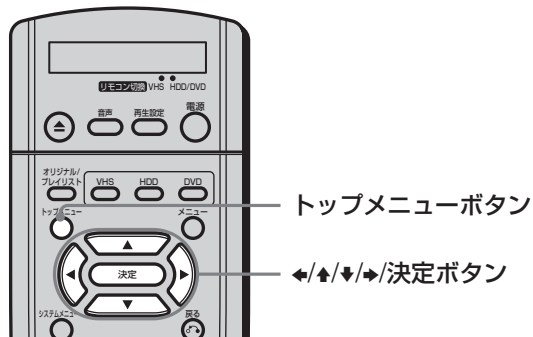
2 **再生▷ボタンを押す。**
手順**1**で再生を止めたところから、再生が始まります。
テレビ画面に「つづき再生」が表示されます。

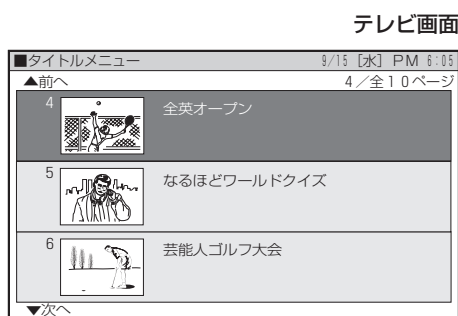
ちょっと一言
- ディスクを最初から再生したいときは、停止■ボタンを押して再生を止めてから、もう一度停止■ボタンを押したあと、再生▷ボタンを押します。

ご注意
- ディスクによっては、停止したところから再生しないものがあります。
- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、つづき再生できません。
  - 電源を切ったとき（HDDを除く）
  - DVDを取り出したとき
  - オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
  - ファイナライズなどの編集操作をしたとき
  - タイトルリスト画面を表示させたとき
  - HDDとDVDを切り換えたとき

メニューから選んで再生する

（タイトルメニュー） DVD-RW（VIDEO） DVD-R

録画したディスクをファイナライズした後に再生すると、タイトルメニューから好きなタイトルを選んで再生できます。

1 **トップメニューボタンを押す。**
タイトルメニュー画面が出ます。

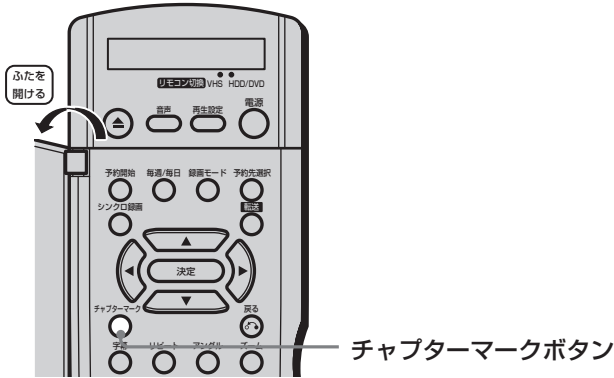
テレビ画面

2 **再生したいタイトルを↑/↓で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

ご注意
- ファイナライズ（☞110ページ）をするまでは、トップメニューボタンを押すと、画像付タイトルリストが出ます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルに、本機で表示できない文字が含まれているときは、「＊＊＊・・・」（32文字まで）が出ます。

次のページにつづく

再生中にチャプターマークを入れる

HDD DVD-RW(VR)

タイトルを再生しているときにもチャプターマークを書き込むことができます。

再生中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面でチャプターマークボタンを押す。

ボタンを押すたびに、チャプターマークが付けられます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。

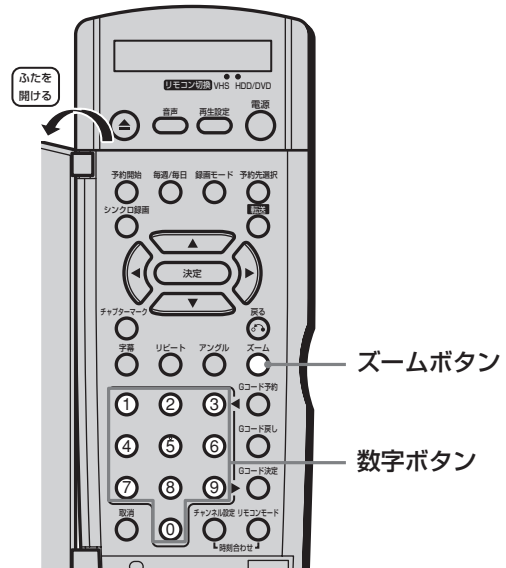
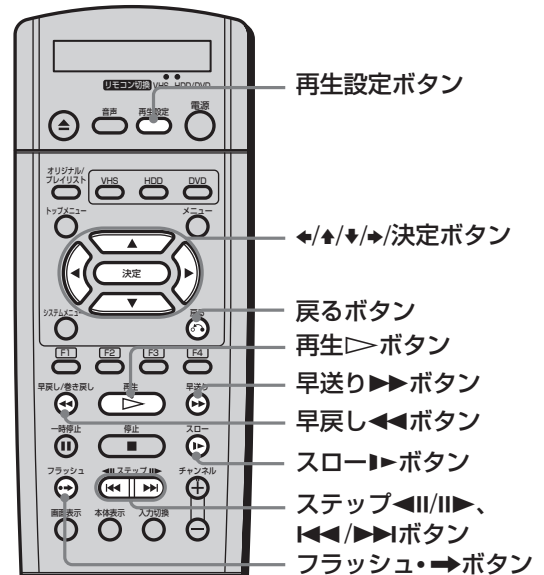
ちょっと一言

- チャプターマークを追加できたときはメッセージが表示されます。
- チャプターマークは999まで入れられます。
- システムメニューの編集画面からもチャプターマークを書き込むことができます（☞84ページ）。
- 録画中にチャプターマークを書き込むこともできます（☞21ページ）。

ご注意

- 3秒以下の間隔でチャプターマークを入れることはできません。
- HDD追いかけ再生中はできません。

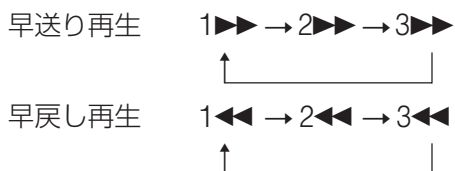
見たい・聞きたいところを探す

いろいろな速さで画像をみたり、1コマずつ送って再生することができます。
ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。

早送り/早戻し再生する

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生中に早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを繰り返し押すと、早送り/早戻し再生の速さが変わります。
次の順で速くなり、表示が切り換わります。

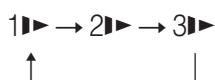
早送り再生　1▶▶ → 2▶▶ → 3▶▶

早戻し再生　1◀◀ → 2◀◀ → 3◀◀

ちょっと一言

- タイトルをまたぐ早送り/早戻し再生はできません。タイトルの最初や最後になると通常の再生に戻ります。
- ビデオCDとCDでは、1◀◀/▶▶ と2◀◀/▶▶ の順に速くなり、表示が切り換わります。

スロー再生する

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

再生中にスローI▶ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
スローI▶ボタンを繰り返し押すと、スロー再生の速さが変わります。
次の順で遅くなり、表示が切り換わります。

コマ送り再生する

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

一時停止中に再生方向はステップII▶ボタン、逆方向（HDDとDVD-RWのVRモードのみ）はステップ◀IIボタンを押します。繰り返し押すと連続してコマ送りします。

ちょっと一言

- DVD-RW（VRモード）では、逆方向にコマ送りすると、0.5秒単位で戻ります。
- DVD-RW（ビデオモード）およびDVD-R、DVDビデオ、ビデオCDでは、逆方向のコマ送りができません。
- 再生方向と逆方向のコマ送りを組み合わせたり、コマ送りから再生したときに、次の停止や再生場面がずれることがあります。

場面をとばして再生する

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生中にフラッシュ●➡ボタンを押します。
押すたびに約30秒単位で場面を先にすすめることができます。連続して4回までフラッシュ●➡ボタンを押して、約2分間の場面をとばせます。
再生中に自分の見たい場面をすばやく探すのに便利です。

ちょっと一言

- 同じタイトル内で働く機能です。

チャプターやトラックを頭出しする

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生中に、I◀◀/▶▶Iボタンを押します。
I◀◀ボタンを押すと、再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。約5秒以内に続けてI◀◀ボタンを押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。▶▶Iボタンを押すと、次のチャプター（トラック）の先頭に進みます。
ボタンを押した回数だけチャプター（トラック）が前後に進みます。

ちょっと一言

- HDDやVRモードで録画したDVD-RWでは、チャプターを手動で区切ることができます（☞50、84ページ）。
- DVD-RWまたはDVD-Rは、10分ごとなどに設定した間隔で、録画中にチャプターを自動的に区切ります（自動チャプターマーク、☞112ページ）。

次のページにつづく

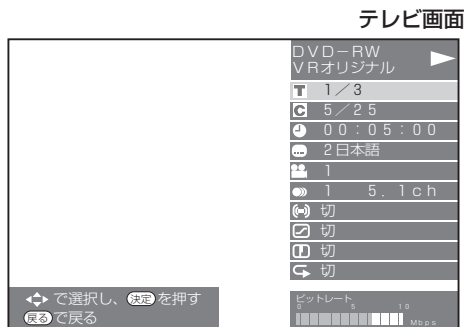
見たい・聞きたいところを探す（つづき）

タイトルやチャプター番号、経過時間で頭出しする（サーチモード）

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

HDDやDVDのタイトルまたはチャプター、タイトルの経過時間、ビデオCDやCDのトラックまたはシーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられています。その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間を入力して場面や曲を探すこともできます。

1 **再生中に再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

テレビ画面

2 **↑/↓で検索項目を選び、決定ボタンを押す。**

- **HDD/DVDのとき**
  T タイトル、C チャプター、経過時間
- **ビデオCD、CDのとき**
  T トラック、経過時間
- **ビデオCDをPBC再生しているとき**
  経過時間

3 **↑/↓または数字ボタンでタイトルやチャプター、トラックなどの番号や、経過時間を選ぶ。**

- **経過時間を入力するとき**
  「00：00：00」を時、分、秒で設定します。←/→で時、分、秒を選び、↑/↓で数字を入力します。

4 **決定ボタンを押す。**
選んだ場面から再生します。

設定画面を消すには

再生設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

ちょっと一言

- 経過時間を入力して頭出しするときは、同じトラック内で設定できます。
- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように出ます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中には、サーチモードは使えません。
- ディスクによって表示される内容が異なります。
- 各検索項目に「××」が表示されているときは、その項目が設定できない（働かない）ことを示します。
- DVDビデオの再生中に再生設定画面にすると、DVDビデオから指示される操作ができないことがあります。このようなときは、再生設定画面を消してから操作し直してください。

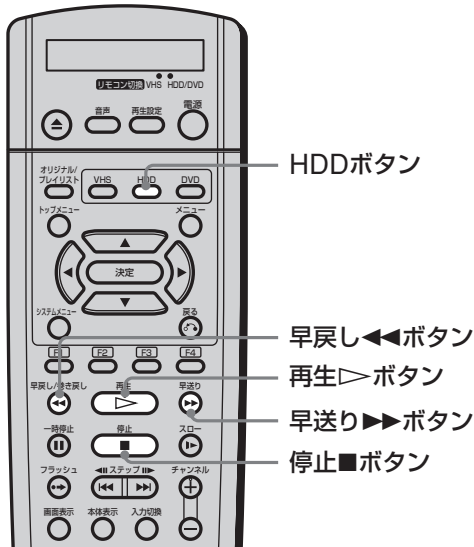
タイトルを選んで再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

DVDのタイトルを選んで再生することができます。
停止中にズームボタンを押した後、再生したいタイトルの番号を数字ボタンで選び、決定ボタンを押します。
選んだタイトルから再生が始まります。

HDDに録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

HDD

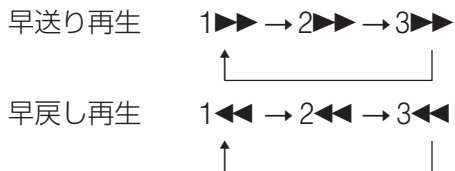
録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を見ることができます。

1 録画中に、HDDボタンを押す。

2 再生▷ボタンを押す。
録画中の番組を頭出しして再生します。

早送り/早戻しをするには

早戻し◀◀ボタンや早送り▶▶ボタンを押す。
次の順で速くなり、表示が切り換わります。

早送り再生　1▶▶ → 2▶▶ → 3▶▶

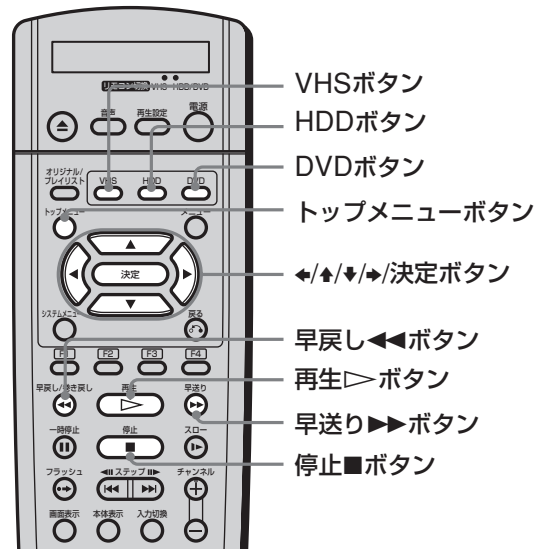
早戻し再生　1◀◀ → 2◀◀ → 3◀◀

早送り再生中に、現在録画中の場面に追いつくと、自動的に通常再生に切り換わります。

現在の場面に戻すには

停止■ボタンを押します。

録画しながら他のタイトルを見る（同時録画再生）

HDD　DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD　VHS

番組を録画中に、他のタイトルを再生することができます。また、再生中に予約録画が始まっても再生を続けることができます。予約待機中に番組などを見ているとメッセージが出ます。詳しくは☞27ページをご覧ください。

HDD録画中にディスクを再生する

1. HDD録画中にDVDボタンを押し、DVDランプ（オレンジ）を点灯させる。
2. ディスクを入れ、再生▷ボタンを押す。
   選んだタイトルを再生します。

録画中の画面に戻すときは、停止■ボタンを押します。

DVD録画中にHDDを見る

1. DVD録画中にHDDボタンを押し、HDDランプ（青）を点灯させる。
2. トップメニューボタンを押し、タイトルリストを表示して、タイトルを選ぶ。
3. 再生▷ボタンを押す。
   選んだタイトルを再生します。

録画中の画面に戻すときは、停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

- システムメニューのタイトルリストでタイトルを選んで再生することもできます。

次のページにつづく

録画しながら他のタイトルを見る（同時録画再生）（つづき）

HDD録画中にHDDに録画した別のタイトルを見る

1 HDD録画中にトップメニューボタンを押す。
録画リストが表示されます。

2 ←/↑/↓/→で見たいタイトルを選び、決定ボタンを押す。
選んだタイトルを再生します。

録画中の画面に戻すときは、停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

- システムメニューのタイトルリストでタイトルを選んで再生することもできます。

HDD/DVD録画中にVHSを再生または録画する

1 HDD/DVD録画中にVHSボタンを押し、VHSランプ（緑）を点灯させる。

2 VHSテープを入れ、再生または録画の操作をする。

VHS録画中にHDD/DVDを再生または録画する

1 VHS録画中にHDDボタンやDVDボタンを押し、それぞれのランプを点灯させる。

2 再生または録画の操作をする。

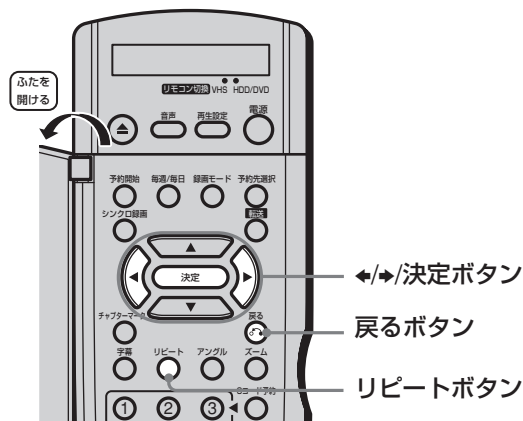
ご注意

- DVD-RWやDVD-Rに録画しながら、同時に同じディスクの再生はできません。
- 同時録画再生では、録画の状態によって再生に影響が出ることがありますが、録画は正常に行われます。

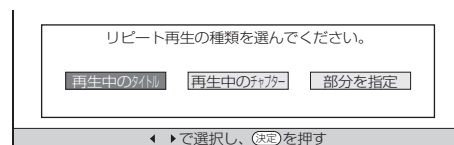
繰り返し再生する

（リピート再生）

HDD　DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

再生中のタイトルやチャプター、トラックを繰り返して再生できます。

1 リピート再生したいチャプターやタイトル、トラックを再生する。

2 リピートボタンを押す。

テレビ画面（HDD/DVD使用時）

3 ←/→でリピートの種類を選ぶ。

- **再生中のタイトル、ディスク**
  再生中のタイトルまたはディスクが再生し終わると、そのタイトルまたはディスクの先頭からリピート再生します。
- **再生中のチャプターまたはトラック**
  再生中のチャプターまたはトラックが再生し終わると、そのチャプターまたはトラックの先頭からリピート再生します。
- **部分を指定（A-Bリピート再生）**
  ☞55ページをご覧ください。
- **リピート再生をしないとき**
  戻るボタンを押します。

4 決定ボタンを押す。

通常の再生に戻すには

リピートボタンを押して、リピート再生を解除します。

ちょっと一言

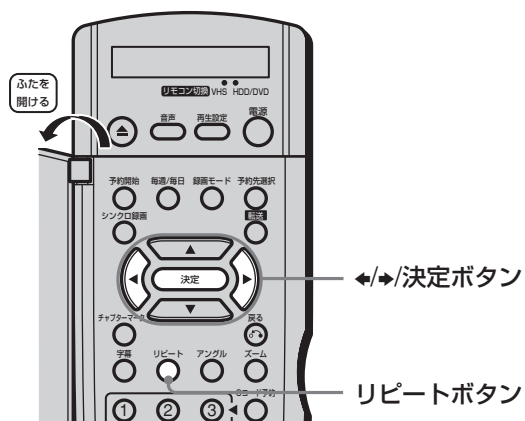
- 再生設定画面の で「入」を選び、決定ボタンを押すと、手順2の画面が出ます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中には、リピート再生できません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、リピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。

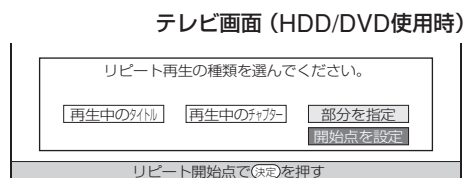
再生したい部分だけを繰り返す

（A-Bリピート再生）

再生したい部分（シーンや曲など）を指定して、リピート再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 リピート再生したいチャプターやタイトル、トラックを再生する。

2 リピートボタンを押す。

3 ←/→で「部分を指定」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面（HDD/DVD使用時）

4 繰り返す部分の始点（A点）で決定ボタンを押す。

5 繰り返す部分の終点（B点）でもう一度決定ボタンを押す。

終点が設定され、指定した部分を繰り返して再生します。

通常の再生に戻すには

リピートボタンを押して、A-Bリピート再生を解除します。

ちょっと一言

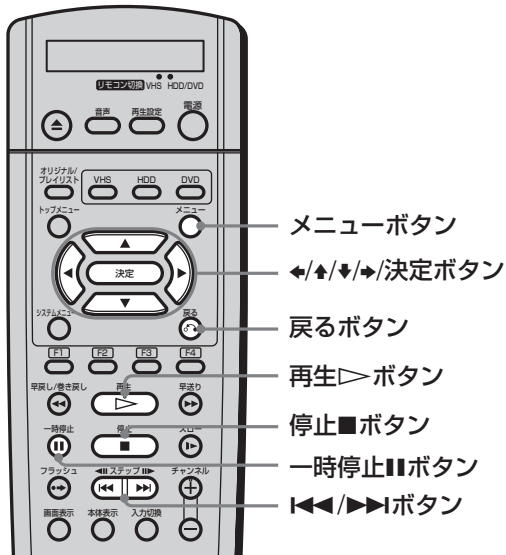
- タイトルをまたいだA-Bリピート再生はできません。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中は、A-Bリピート再生できません。
- アングルが複数記録されている部分（☞62ページ）では、A-Bリピート再生はできません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、A-Bリピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、A-Bリピート再生が禁止されているものがあります。

静止画（JPEG画像）を再生する

DATA CD

本機は、CDに記録した静止画（JPEGファイル）を再生することができます。

静止画の記録されたディスクを入れて、再生▷ボタンを押す。
1枚目の静止画が画面に表示されます。
|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、静止画が順番に切り換わります。

静止画再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生できる静止画について

本機では、JPEG形式の静止画を最大2MB（解像度300万画素相当）まで再生できます。
JPEGとは、静止画（写真やイラストなど）を保存するファイル形式のひとつです。

再生できない静止画について

本機では、次の静止画ファイルは再生できません。

- JPEG形式以外の静止画ファイル（TIFFなど）
- プログレッシグJPEG形式のファイル
- MOTION JPEG形式のファイル
- 容量が2MB、300万画素を超えているファイル
- 拡張子を除いたファイル名が8文字を超えているファイル

ご注意

- JPEG形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
- パソコンで作成、編集などを行なった静止画は一部再生できない場合があります。
- フォルダ数やファイル数、データ容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- Exif情報は表示されません。
- 画像によっては、画像のまわりに黒いふちが見えることがあります。
- 解像度が300万画素を超えたファイルでも、容量が2MB以下であれば再生できます。

CD-RW/CD-Rに記録されている静止画を再生するときのご注意

- 音楽や映画などと静止画が混在しているディスクでは、再生できるのは静止画のみです。
- ディスクによっては再生できない場合があります。
- 本機が認識できるのは、フォルダ数で最大8段階・256個まで、ファイル数で最大4096枚までです。
- マルチセッションディスクは再生できません。
- 画像加工ソフトなどで加工（回転や上書き保存）した静止画、およびインターネットやメールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- 拡張子を除いたファイル名が8文字以内でも、半角英数字以外のファイル名のときは、ファイル名が「＊」やスペース表示となったり、再生できない場合があります。

フォルダを選んで再生する

静止画のリストから選んで再生します。

1 **静止画の記録されたディスクを入れ、メニューボタンを押す。**
フォルダ選択画面が表示されます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓/→ボタンで再生したいフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
選んだフォルダ内の静止画が一覧表示されます。

3 ←/↑/↓/→ボタンで再生したい静止画（JPEGファイル）を選び、決定ボタンを押す。

選んだ静止画が画面に表示されます。

- 別の静止画を再生したいときは、手順**2**〜**3**を行います。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

スライドショー再生をする

静止画が自動で順に切り変わります

1 静止画の記録されたディスクを入れ、メニューボタンを押す。

フォルダ選択画面が表示されます。

2 ←/↑/↓/→ボタンで再生したいフォルダを選び、F4ボタンを押す。

選んだフォルダー内の静止画がスライドショー再生されます。

- 一時停止するには、一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと、再生に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

タイトルの情報や残り時間を見る

HDD　DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

タイトルやチャプター、トラックの経過時間や残り時間、録画モードやディスクの空き時間などの情報を画面表示または、本体HDD/DVD表示窓で見ることができます。

画面表示ボタンを押す。

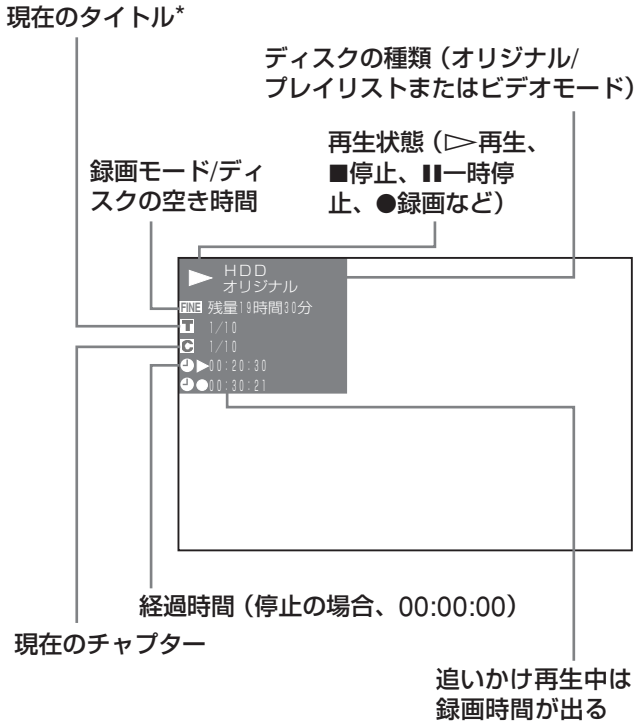
テレビ画面にタイトルの情報などが出ます。ボタンを押すたびに、次のように画面表示が変わります。

→①**情報表示**
画面表示を約60秒間表示します。
↓
②**カウンター表示**
常に画面表示を表示します。
↓
③**表示「切」**
画面表示されません。

次のページにつづく

タイトルの情報や残り時間を見る（つづき）

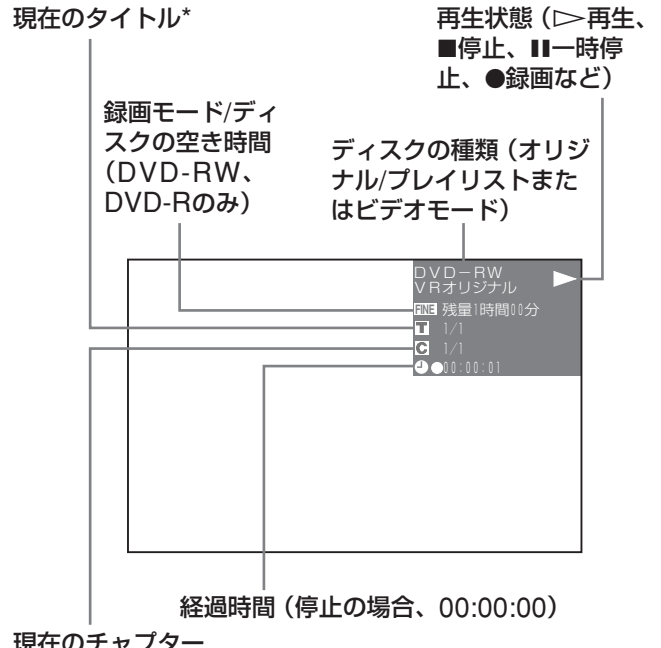
例）HDDのとき

①情報表示

②カウンター表示**

③表示「切」

画面表示なし

例）DVD-RW（VRモード）のとき

①情報表示

②カウンター表示**

③表示「切」

画面表示なし

* CDのときはトラックと経過時間、ビデオCD（PBC再生時）のときは再生しているトラックの経過時間が出ます。

**ビデオCD/CDのときは再生しているトラックの経過時間が出ます。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

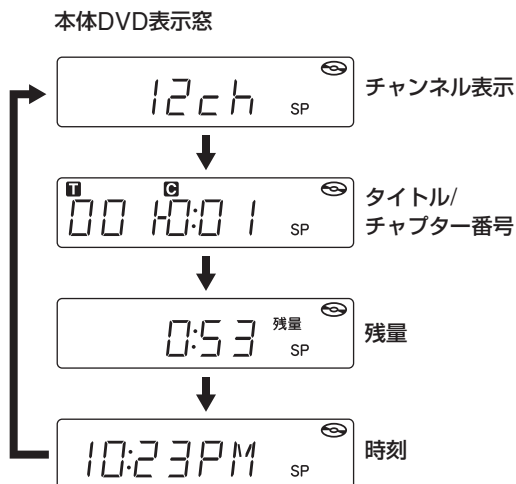
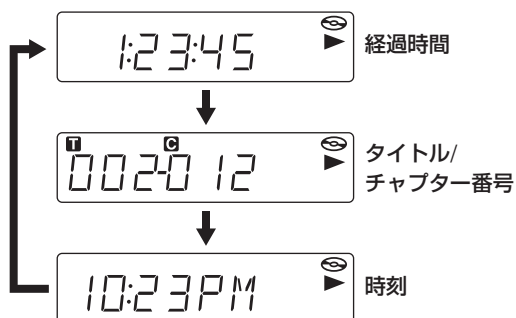
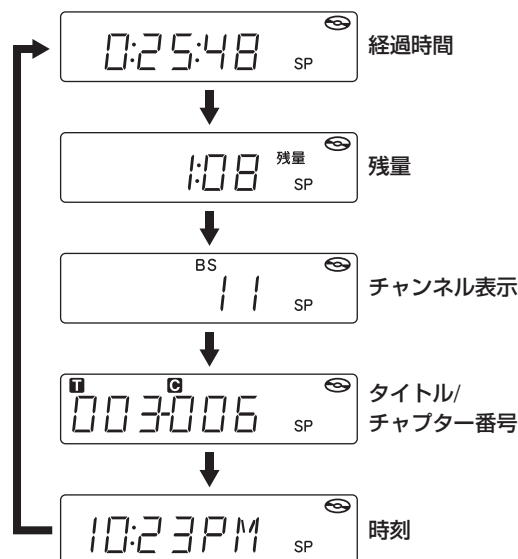
- ファイナライズ済みのディスクを入れると、ディスクの残量に「ファイナライズ済」と出ます。
- ディスクによって、表示される内容が異なります。

ご注意

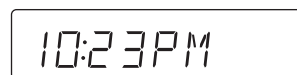
- 使用中のディスクや動作状態によっては、出ない情報があります。
- 録画中は、ディスクの残量表示が実際の残量と異なることがあります。正しい残量時間は、停止時に再度表示するディスク残量で確認してください。
- HDD/DVDの専用出力端子でご覧になるときも、画面表示するときは、HDD/DVDの出力に切り換えてください。

本体でHDD/DVD表示を見る

本体表示ボタンを押すと本体HDD/DVD表示窓の表示を切り換えることができます。HDDボタンまたはDVDボタンを押して、見たい表示を選んでください。

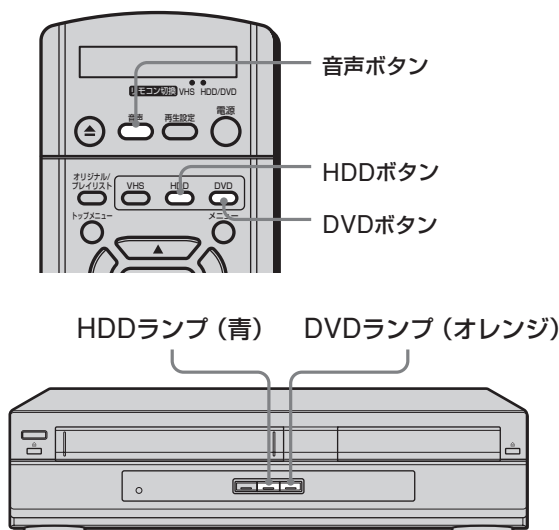
例）DVD-RW停止時

例）DVD-RW再生時

例）DVD-RW録画時

電源が切れているとき

システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「電源オフ時刻表示」－「しない」を選ぶと（☞117ページ）、本体表示ボタンを押したときに時刻が出ます。表示は、約1分後に自動的に消えます。

本体HDD/DVD表示窓

「電源オフ時刻表示」を「する」に設定していると、常に時刻が出て、本体表示ボタンは働きません。

音声を切り換える

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

HDDやDVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。また、CDやビデオCDの再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。
カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけ聞くこともできます。

1 **HDDを再生するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。DVDやCDを再生するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。**

2 **再生中に音声ボタンを押す。**
現在再生中の音声番号が表示されます。
ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

- **HDDのとき**
  主：主音声
  副：副音声
  主＋副：主音声＋副音声
- **DVDビデオのとき**
  選べる言語はディスクによって異なります。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。
- **ビデオCD/CDのとき**
  L+R：通常のチャンネル
  L：左チャンネルの音（モノラル）
  R：右チャンネルの音（モノラル）
- **二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）のとき**
  主：主音声
  副：副音声
  主＋副：主音声（左）＋副音声（右）
- **ステレオ放送、モノラル放送を記録したDVD-RW（VRモード）のとき**
  「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

放送受信時の音声について

二カ国語放送など二重音声の番組を受信中に音声ボタンを押すと、主音声、副音声などの音声を切り換えることができます。

- 二重音声（二カ国語）放送を受信しているとき
  以下の表示を切り換えることができます。
  主：主音声
  副：副音声
  主　副：主音声（左）＋副音声（右）
- ステレオ放送を受信しているとき
  「ステレオ」と表示されます。
- モノラル放送を受信しているとき
  「モノラル」と表示されます。

※HDDまたはDVD出力（青またはオレンジ色ランプ点灯）時、ステレオ放送受信中やモノラル放送受信中は、音声は切り換わりません。

ちょっと一言

- 再生設定ボタンで、再生設定画面から を選んで音声を切り換えることもできます。
- 複数の音声が記録されているディスクで、音声の切り換えが音声ボタンでできなくても、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVDビデオでいつも使いたい音声の種類を設定することができます。システムメニューの「セットアップ」－「視聴・再生設定」－「DVD再生設定」－「言語設定」－「音声言語」を設定してください（☞113ページ）。
- DTS音声を聞くためには、DTSデジタルサラウンド対応アンプなどが必要です。このときは、音声ボタンを押して「DTS音声」を選んでください。

ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDビデオを再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- ドルビーデジタル出力をしている場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。
- 二カ国語放送など二重音声の番組をDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに録画しているときは、システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」－「DVD二重音声記録」（☞113ページ）で設定されている音声が選択されます。音声切換はできません。

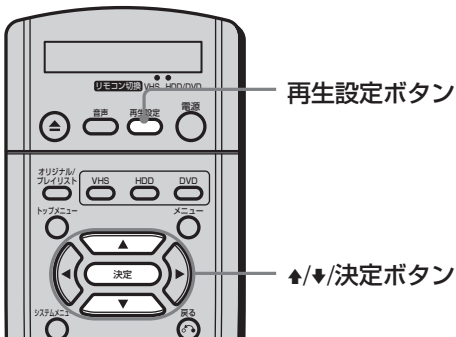
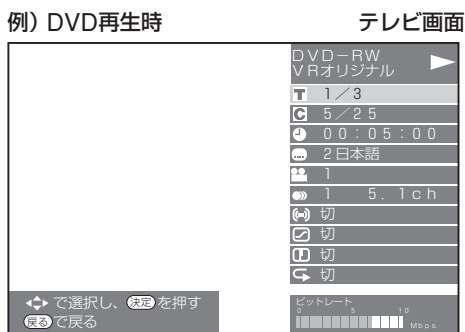
バーチャルサラウンドを楽しむ

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

バーチャルサラウンド（スペシャライザー方式）機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）のみの音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。
デジタルサラウンド（スペシャライザー方式）機能は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer*®とN-2-2™、四角に丸のマークは、デスパー・プロダクツ社の商標です。

1 **再生中に、再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

例）DVD再生時　　テレビ画面

DVD－RW
VRオリジナル
1／3
5／25
00：05：00
2日本語
1
1　5．1ch
切
切
切
切
で選択し、決定を押す
戻るで戻る
ビットレート
Mbps

2 **↑/↓で（バーチャルサラウンド）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。**

通常の音声に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

- 次のデジタル接続をしたときにも、バーチャルサラウンド機能が楽しめます。
  － DVDのリニアPCM音声を再生したとき
  － システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「映像・音声設定」－「デジタル音声出力」－「PCM」を選び、ドルビーデジタル音声を再生したとき（☞116ページ）
- オーディオDRC機能のあるDVDビデオを再生してバーチャルサラウンドを楽しむには、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「映像・音声設定」－「オーディオDRC」－「スタンダード」を選びます（☞116ページ）。

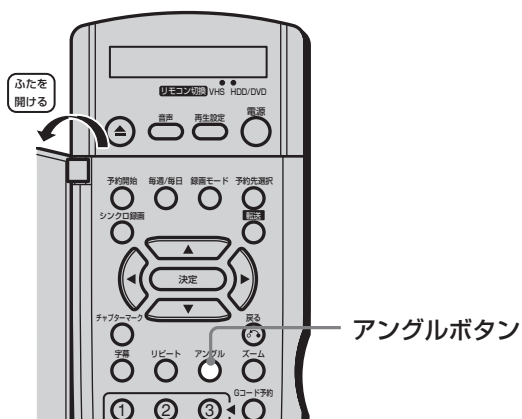
ご注意

- テレビ放送や外部入力からの音声には効果がありません。
- モノラルで記録した音声には効果がありません。
- 二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）には効果がありません。
- カラオケ用ディスクのマルチカラオケ音声や、96kHzリニアPCM音声、DTS音声には効果がありません。

アングルを切り換える

（マルチアングル）

DVD-VIDEO

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。
たとえば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。

再生中にアングルボタンを押す。
現在再生しているアングル番号が出ます。
ボタンを押すたびに、アングルが切り換わります。

ちょっと一言

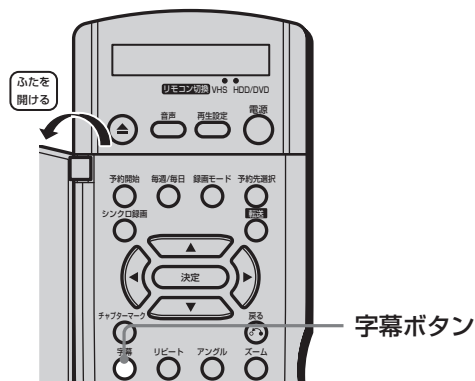
- 再生設定ボタンで、再生設定画面から 🎥 を選んでアングルを切り換えることもできます。
- アングルが1つしかないディスクのときは、画面に「🎥 ××」と出ます。

ご注意

- ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによって操作が異なるので、ディスクの説明書もご覧ください。
- アングルが記録されている場面については、ディスクの説明書をご覧ください。

字幕を表示する

DVD-VIDEO

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりすることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて、語学の学習に役立てたりできます。

再生中に字幕ボタンを押す。
現在再生している字幕番号が出ます。
ボタンを押すたびに、字幕が切り換わります。

ちょっと一言

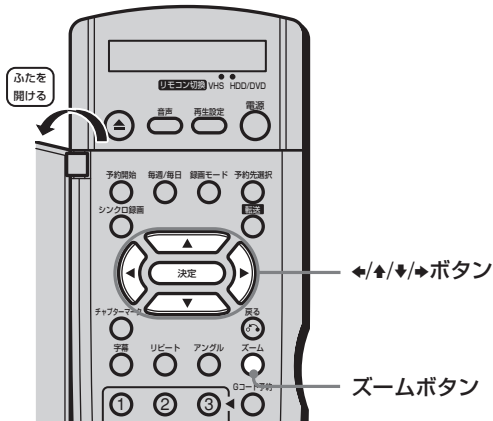
- 再生設定ボタンで、再生設定画面から 💬 を選んで字幕を切り換えることもできます。
- 複数の字幕が記録されているディスクで、字幕の切り換えが字幕ボタンでできなくても、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVDビデオでいつも使いたい字幕の種類を設定することができます。システムメニューの「セットアップ」－「視聴・再生設定」－「DVD再生設定」－「言語設定」－「字幕言語」を設定してください（☞113ページ）。

ご注意

- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによって操作が異なるので、ディスクの説明書もご覧ください。

映像を拡大する
（ズーム）

HDD **DVD-VIDEO** **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

再生中にお好みの映像を拡大して表示することができます。

1 **再生中にズームボタンを押す。**
映像が拡大され、「ズーム：１」が出ます。

ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。
ズーム：1（約1.2倍）→ ズーム：2（約1.5倍）→ ズーム：3（約2.0倍）→ 解除（表示なし）

2 **←/↑/↓/→で拡大した部分を移動させる。**

通常の画面に戻すには

手順**1**でズームボタンを繰り返し押して「解除」を選びます。

ご注意

- ズームに切り換えるとき、画像が乱れることがあります。
- 字幕表示はズームされません。
- 再生▷ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタンなどを押すと、ディスクによってはズームが解除されます。
- HDD/DVDが停止中にズームボタンを押すと、一時的に音声が途切れたり、画面表示が消えることがあります。

画質を調整する

お好みに合わせて、画質を調整することができます。

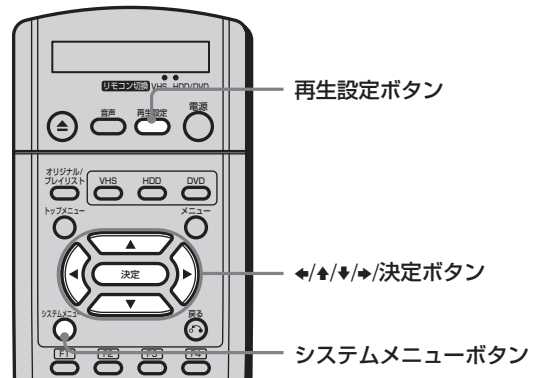
暗い部分を見やすくする（デジタルガンマ）

HDD **DVD-VIDEO** **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

暗い映像を再生しているとき、暗い部分を明るくして見やすくすることができます。明るい部屋で再生しているときなど、映像の暗い部分が見やすくなり、奥行きのある映像が楽しめます。

1 **再生中に、再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

例）DVD再生時　　テレビ画面

次のページにつづく

画質を調整する（つづき）

2 ↑/↓で ［デジタルガンマアイコン］（デジタルガンマ）を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「入」を選ぶ。

4 ←/→でレベルを調整し、決定ボタンを押す。

→を押すと明るくなります。
←を押すと戻ります。

5 再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。

通常の画面に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ご注意

- プログレッシブ再生中は、ガンマレベルを調整できません。

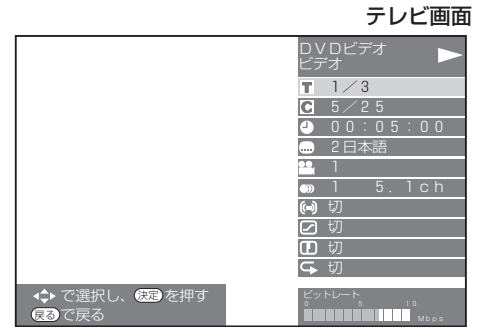
シャープネスを設定する

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとした映像を再現したり、ノイズを少なくして見やすい映像にすることができます。

1 再生中に、再生設定ボタンを押す。

再生設定画面が出ます。

テレビ画面

2 ↑/↓で ［シャープネスアイコン］（シャープネス）を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「入」を選ぶ。

4 ←/→でレベルを調整し、決定ボタンを押す。

→を押すと映像がくっきりします。
←を押すと戻ります。

5 再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。

通常の画面に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

- 昔の映画などノイズの目立つ映像などで、ノイズを少なくして見やすい映像を楽しみたいときは、「入」表示中に←を押します。

ご注意

- プログレッシブ再生中は、シャープネスのレベルを調整できません。

映像のノイズを減らす（DNR）

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

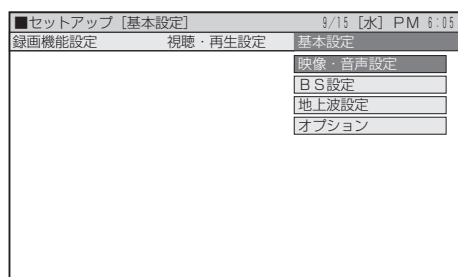
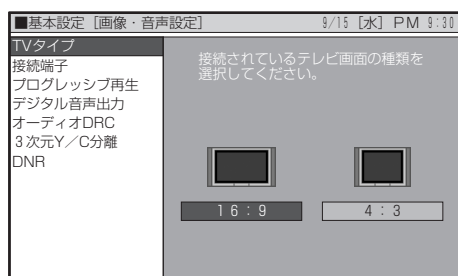
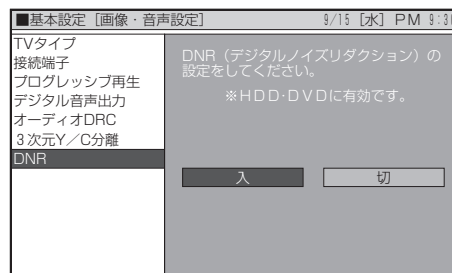
DNR（デジタルノイズリダクション）機能を使うと、画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減することができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**

システムメニュー画面が出ます。

2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **←/→で「基本設定」を選ぶ。**

テレビ画面

4 **↑/↓で「映像・音声設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「DNR」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **システムメニューボタンを押して、設定画面を消す。**

ちょっと一言

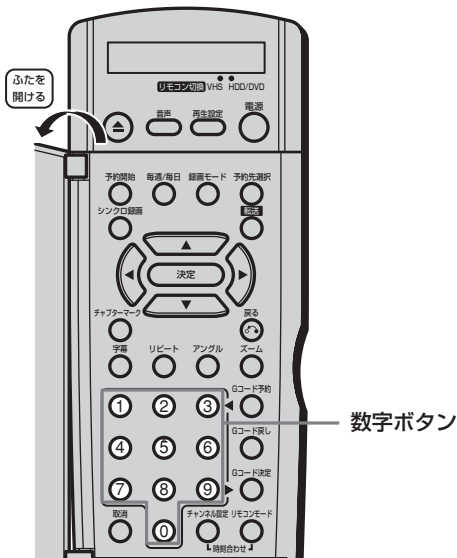
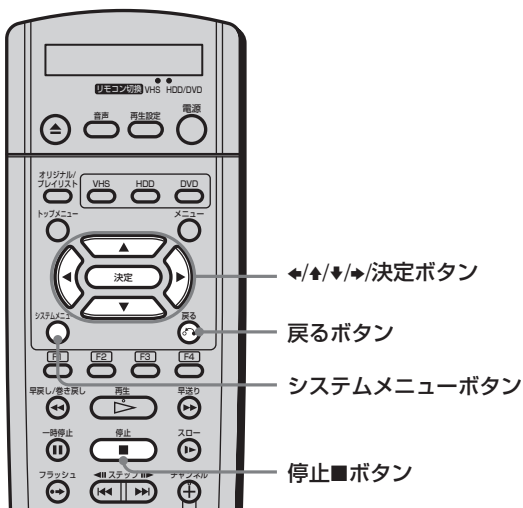
- LPモードやEPモードなど長時間記録した映像を再生するときは「入」に、DVDビデオなどのノイズの少ないディスクを再生するときは「切」にすることをおすすめします。

ご注意

- プログレッシブ再生中は、DNRは働きません。

DVDの再生を制限する（視聴年齢制限）

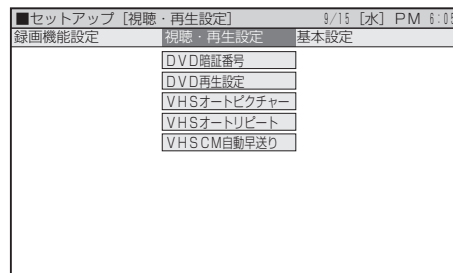
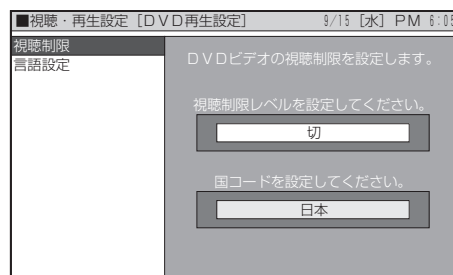
DVD-VIDEO

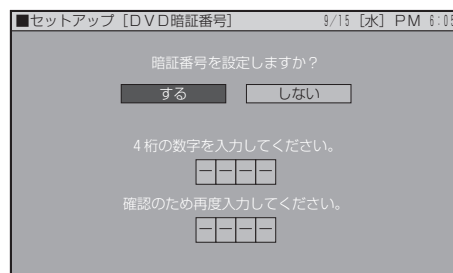
本機のレベルをディスクのレベルよりあらかじめ小さく設定しておくと、視聴年齢制限つきDVDで再生できるシーンの視聴を制限することができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニュー画面が出ます。

2 **▲/▼で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

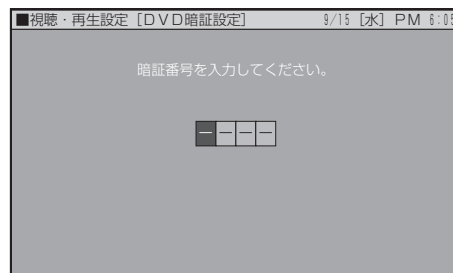
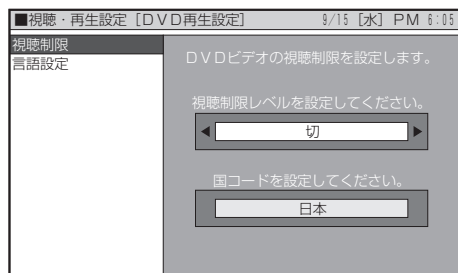
3 **◀/▶で「視聴・再生設定」を選ぶ。**

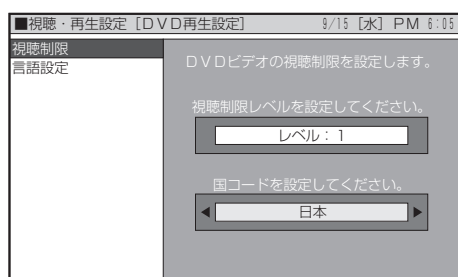
テレビ画面

■セットアップ［視聴・再生設定］ 9/15［水］PM 6:05
録画機能設定 視聴・再生設定 基本設定
DVD暗証番号
DVD再生設定
VHSオートピクチャー
VHSオートリピート
VHSCM自動早送り

4 **▲/▼で「DVD再生設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **▲/▼で「視聴制限」を選び、決定ボタンを押す。**

• 暗証番号が登録されていないとき

1 ◀/▶で「する」を選び、決定ボタンを押す。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
3 確認のため、もう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
4 「確認」で決定ボタンを押す。

• 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力画面が表示されます。

6 **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。**

7 **←/→で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。**

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

8 **←/→で国名を選び、決定ボタンを押す。**

視聴年齢制限の設定が終了します。

9 **システムメニューボタンを押して、設定画面を消す。**

国コードについて

本機では、次の国コードを設定することができます。国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。
以下の国コードを選ぶことができます。
アメリカ、カナダ、日本、ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、スウェーデン、オランダ、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、ベルギー、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、台湾、フィリピン、オーストラリア、ロシア、中国

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

暗証番号を変更するには

システムメニューの「セットアップ」－「視聴・再生設定」－「DVD暗証番号」で停止■ボタンを4回押します。パスワードが解除され、暗証番号を設定し直すことができます。

視聴年齢制限できるディスクを再生するとき

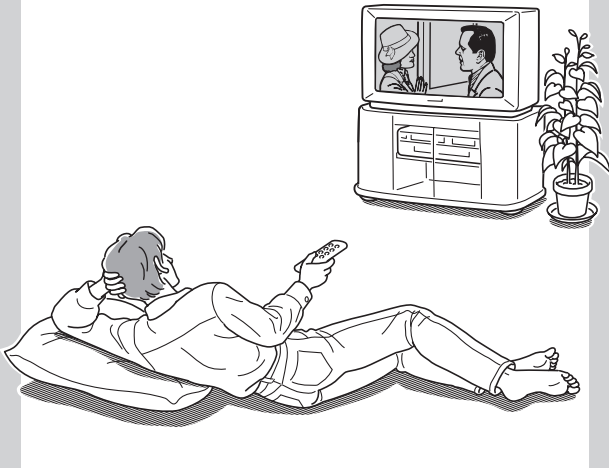
再生中に視聴制限の画面が出たら、以下の操作を行います。

1. 「レベルの一時変更を行いますか」と表示されます。
   - ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限の暗証番号入力画面が出ます。
   - ←/→で「いいえ」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限画面が終了します。
2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
   再生が始まります。

ご注意

- 視聴年齢制限情報がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限されません。

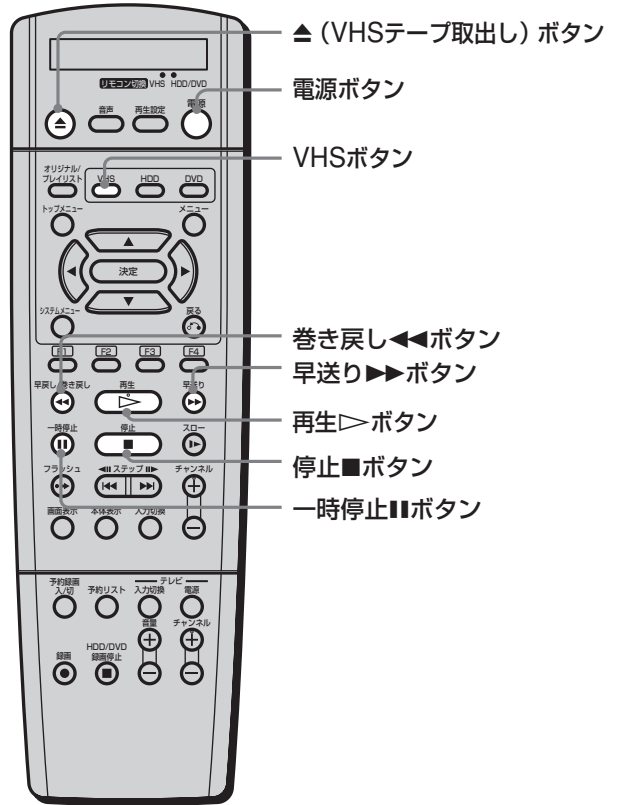
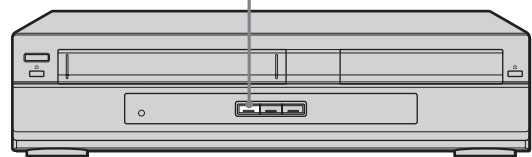
VHSの再生

ここでは、VHSテープを再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・早送り再生などの変速再生ができるほか、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたり、1本のテープに録画した複数の番組を頭出ししたりできます。
また、二カ国語放送などの主音声・副音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整、画質の補正など、再生に役立つ機能もあります。

ディスクとVHSの映像・音声出力について

本機は、再生や録画の操作に応じて自動的にディスクとVHSの出力を切り換えます。
本機には「HDD/DVD/VHS共有」出力端子（アナログ端子）と「HDD/DVD専用」出力端子（S映像、D映像、デジタル音声端子など）があります。両方の端子をテレビとつないでいるときは、本機の出力を切り換えるときに、テレビの入力も切り換える必要があります。
接続について詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「準備**5**：テレビに映像コードをつなぐ」と「準備**6**：テレビやアンプに音声コードをつなぐ」をご覧ください。

VHSを再生する

VHS

VHSテープを再生して見ることができます。

⚠注意

小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがをすることがあります。

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。

2 電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。

3 VHSボタンを押して、VHSランプ（緑）を点灯させる。

4 VHSテープを入れる。

5 再生▷ボタンを押す。
再生が始まります。

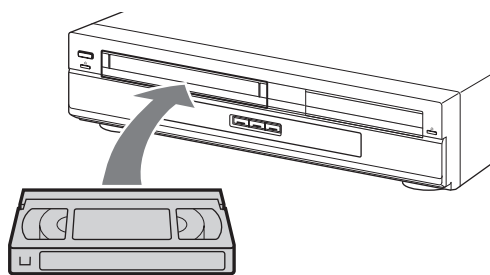
再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すか、約5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻き戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。
早送り・巻き戻し中にもう一度押すと、高速の早送り・巻き戻しに切り換わります。通常の早送り・巻き戻しのスピードに戻すには、停止■ボタンを押してから再度早送り▶▶ボタンまたは巻き戻し◀◀ボタンを押します。

カセットを取り出すには

⏏（VHSテープ取出し）ボタンを押します。

ちょっと一言

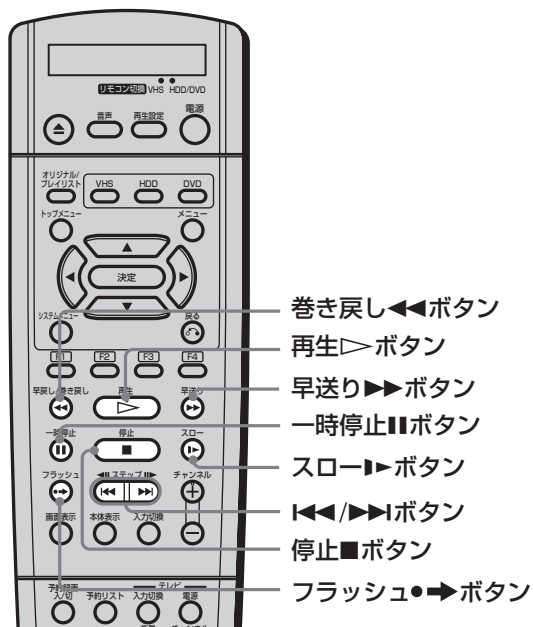
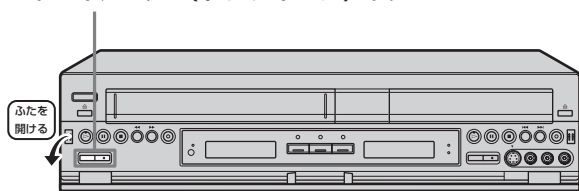
- ツメの折れたカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- 二カ国語放送などの音声を切り換えるには、音声ボタンを押します（☞60ページ）。
- 電源が切れているときにVHSテープを入れると、自動的に電源が入ります。
- VHSテープの最後まで再生すると、自動的にテープの最初まで巻き戻されて、テープが出てきます。
- VHSテープの片側を押したり、無理に早く入れたりするとテープが正しく入らず詰まることがありますが、しばらくするとテープが自動的に出てきます。
- テープの巻き量や種類によっては、高速の早送り・巻き戻しができない場合があります。
- テープによっては一旦停止し、再度、早送り・巻き戻しに入る場合があります。これはテープ保護のためで故障ではありません。

ご注意

- カセット挿入口にVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- S-VHS方式で録画したテープを再生すると画像が乱れることがあります。

見たいところを探す

VHS

いろいろな速さで画像をみたり、1コマずつ送って再生することができます。

チャンネル+/−（トラッキング）ボタン

速さを変える

再生中に変えたい画像の速さのボタンを押す。

画像の速さ	操作
スロー	スロー❚▶ボタンを押す。
早送り再生	早送り▶▶ボタンを押す。 もう一度押すと、早送りのスピードが速くなります。
巻き戻し再生	巻き戻し◀◀ボタンを押す。 もう一度押すと、巻き戻しのスピードが速くなります。
コマ送り再生	一時停止❚❚ボタンを押して再生一時停止にしたあと、もう一度一時停止❚❚ボタンを押す。 押しつづけると連続してコマ送りします。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

- スローで見ているときに、約5分以上たつと自動的にふつうの再生になります。
- 画像が縦ゆれするときは、本体のVHS側のチャンネル（トラッキング）+/−ボタンを押して調整できます（☞71ページ）。このとき、画像がチラつくことがあります。

ご注意

- 再生の速さを変えると、画像が乱れます。

場面をとばして再生する

再生中にフラッシュ●➡ボタンを押します。押すたびに約30秒単位で場面を先にすすめることができます。
連続して4回までフラッシュ●➡ボタンを押して、約2分間の場面をとばせます。
再生中に自分の見たい場面をすばやく探すのに便利です。

頭出しをする

複数の番組を録画したVHSテープから、見たい番組をすばやく探すことができます。
本機で番組を録画すると、録画の始まり位置に頭出し信号を自動的に書き込みます。この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。停止または再生中に操作してください。

|◀◀または▶▶|ボタンを押し、見たい番組を頭出しして再生します。|◀◀で前の番組の頭出しが、▶▶|で次の番組の頭出しができます。ボタンを押すたびに、それぞれ最大19まで頭出しができます。
途中で止めたいときは、停止■ボタンを押してください。

ご注意

- 画面上の頭出し表示の数字は、信号をとび越すごとに1つずつ減ります。
- VHSテープの一番最初に記録されている番組は、頭出しできないこともあります。
- 頭出し位置は多少ズレる場合があります。
- 頭出し信号どうしの間隔が短い（約5分以内）ときは、正しく頭出しできないことがあります。

トラッキングを調整する

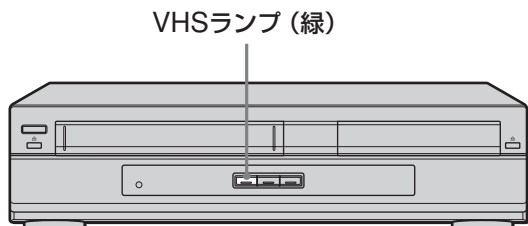
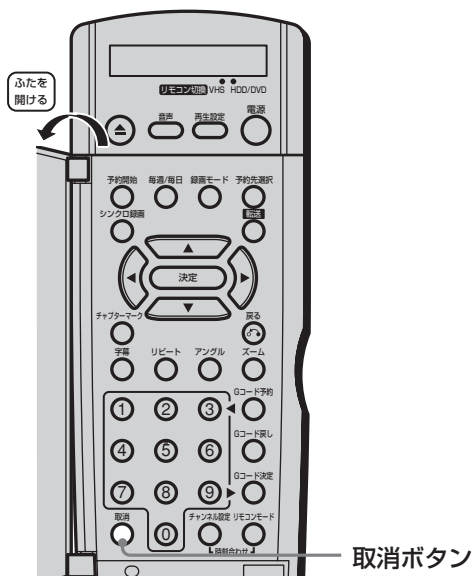
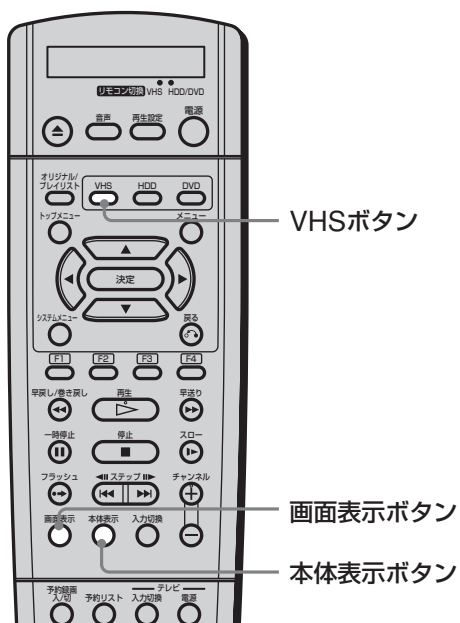
通常、再生中はトラッキングが自動調整されますが、別のビデオで録画されたVHSテープなどを再生してノイズが出る場合は、手動でトラッキングを調整することができます。
再生中やスロー再生中に、本体のVHS側のチャンネル＋または－ボタンを押し、ノイズが少なくなるように調整します。
自動調整に戻すときは、チャンネル＋/－（トラッキング）ボタンを2つ同時に押してください。

ちょっと一言

- 本機以外のビデオで録画したVHSテープや、市販のビデオソフトなどを再生したときに、Hi-Fi音声が正常に聞こえない場合があります。そのようなときは、リモコンの音声ボタンを押してノーマル音声を選んでください。
- EP（3倍）モードで録画したVHSテープを再生したとき、映像が上下に乱れることがあります。手動でトラッキング調整をしてください。それでも映像が上下に乱れるときは、本体の再生▷ボタンを2秒間押してください。その際、画面表示が上下に乱れる場合がありますが、異常ではありません。電源を切ったり、VHSテープを取り出したりすると、元の状態に戻ります。

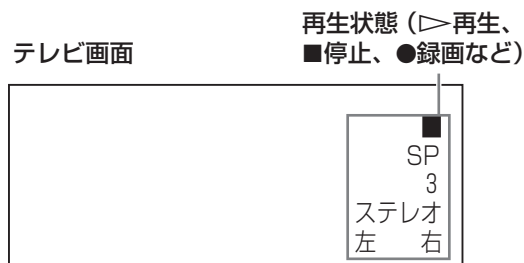
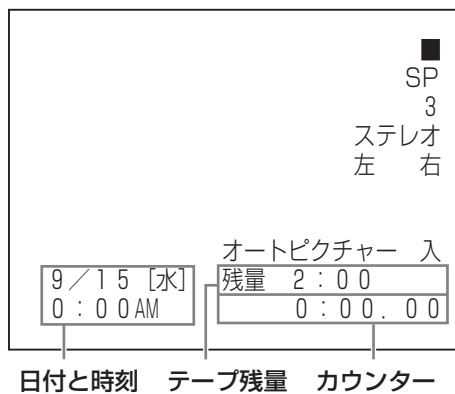
画面表示やテープ残量を見る

VHS

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

画面表示ボタンを押す。

テレビ画面にVHSの情報が出ます。ボタンを押すたびに、次のように画面表示が変わります。

①オート

チャンネル・録画モード・再生状態・音声を約3秒間表示します。

②表示「入」 常に画面表示を表示します。

③表示「切」 画面表示されません。

①に戻ります。

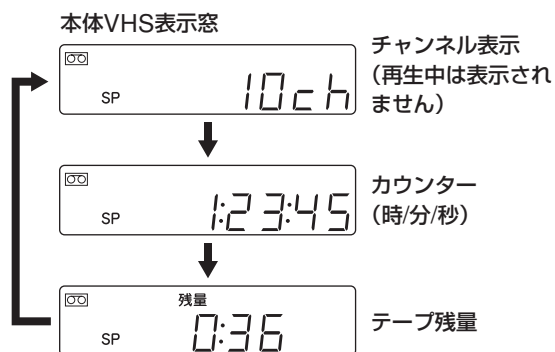
画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

リモコン操作モードを「VHS」にして、取消ボタンを押します。テープを入れ換えたときも「0:00:00」になります。

本体VHS表示を見る

VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させ、本体表示ボタンを押します。
本体表示ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

ちょっと一言

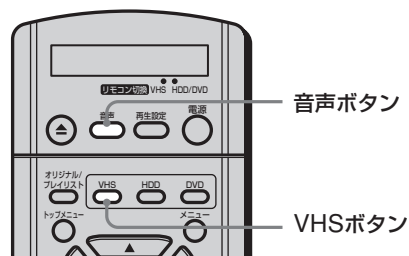
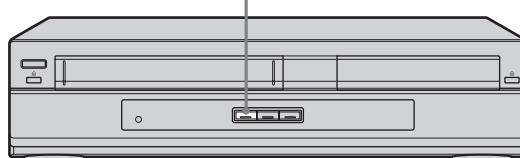
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」－「切」に設定している場合、画面表示は映像信号が入っていないと表示されません。
- 録画中にテープ残り時間が約5分になると、表示が点滅します。
- テープ残量は、表示している録画モード、SP（標準）またはEP（3倍）、に合わせてテープ残量を計算し、表示します。

ご注意

- VHS-C、S-VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
- テープ残量は目安としてお使いください。T-30、T-60、T-90、T-120以外のテープやテープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
- テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

音声を切り換える

VHS

ステレオや二カ国語放送などを録画したVHSテープを再生中、音声を切り換えることができます。

1 VHSボタンを押して、VHSランプ（緑）を点灯させる。

2 再生中に音声ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

画面に出る表示	聞こえる音声	
	二カ国語放送	ステレオ放送
左　右	主音声と副音声の混合	ステレオ
左	主音声	左チャンネル
右	副音声	右チャンネル
表示なし	主音声	モノラル

放送受信時の音声について

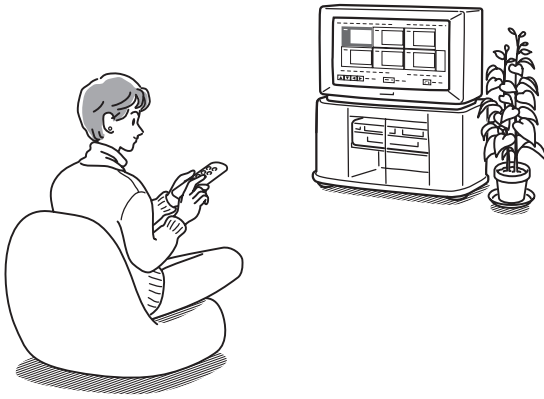
本機で受信しているステレオや二カ国語放送の音声も、音声ボタンで切り換えることができます。

ご注意

- 音声ボタンは、次のとき働きません。
  - モノラルまたは主音声だけで録画したVHSテープを再生したとき（常にモノラルまたは主音声のみ）
  - 本機の入力端子につないだ機器の音声を切り換えるとき（つないだ機器で切り換えてください）

HDD/DVD編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。

- HDDやDVD-RWのVRモードの場合、プレイリストとオリジナルでのさまざまな編集ができます。録画したオリジナルのタイトルからプレイリストを作成したり、録画したタイトルを消去してディスクの空き容量を増やしたりすることができます。
- ビデオモードの場合、タイトル名の変更やタイトルの消去ができます。

HDD/DVD編集の前に必ずお読みください

HDD、DVD-RWのVRモード、DVD-RW/Rのビデオモードでは、編集できる内容が異なります。

ご注意

- 他のDVDレコーダーで編集してチャプターマークが999以上あるディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクや、ディスク保護が設定されているディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでフレーム単位で編集したディスクを再生すると、開始や終了のシーンがずれたり、画像付タイトルメニューに異なった画面が表示されることがあります。
- 他のDVDレコーダーでディスク容量いっぱいに録画したディスクでは、本機で編集の操作ができない場合があります。
- 編集中にリモコンの表示窓にuが表示されていると、HDDやDVDの音声をモニターできません。編集前に、HDDボタンまたはDVDボタンを押して、dを表示してください。
- 編集中は予約録画が実行されません。予約録画を優先する場合は、予約開始時間までに編集を終了してください。

フレーム単位で編集するときは

HDDに「高速ダビング設定」を「入」に設定して録画したタイトルは、フレーム単位での編集ができません。フレーム単位で編集するときは、高速ダビングを解除してください。高速ダビングを解除するには、システムメニューの「編集/消去」－「編集」－「タイトル指定」－「高速ダビング設定」－「切」に設定します。
ただし、いったん解除したタイトルに高速ダビングを再設定することはできません。

HDDやDVD-RWのVRモードで編集する（オリジナルとプレイリスト）

HDD DVD-RW（VR）

HDDやDVD-RWのVRモードで録画した映像には、オリジナルでの編集とプレイリストでの編集の2つの方法があります。
DVD-RやDVD-RW（ビデオモード）で録画したディスクはプレイリストを作れません。

• **オリジナルとは**
実際に録画したそのままの映像・音声です。オリジナルのタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。

オリジナルでは以下のような編集ができます。
－タイトル名を変更する（79ページ）
－タイトル内のシーンを消去する（A-B消去）（82ページ）
－チャプターを分割・結合する（84、85ページ）
－画像付タイトルリストの画像を変更する（86ページ）
－タイトルを保護する（91ページ）
－録画したタイトルを消去する（92ページ）

• **プレイリストとは**
実際に録画したオリジナルの映像・音声をもとに作る仮想のタイトルです。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報だけを記録します。そのため、プレイリストの映像を消去してもオリジナルの映像はなくなりません。また、少ないディスク容量で編集を行えるため、まずプレイリストで編集を楽しむことをおすすめします。HDDは199タイトルまで、DVDは99タイトルまで作成できます。
プレイリストは、オリジナルのタイトルやシーンをコピーして作成します（76ページ）。

プレイリストでは以下のような編集ができます。
－タイトル名を変更する（79ページ）
－タイトル内のシーンを消去する（A-B消去）（82ページ）
－チャプターを分割・結合する（84、85ページ）
－画像付タイトルリストの画像を変更する（86ページ）
－タイトルの順番を変える（87ページ）
－オリジナルからシーンを追加する（88ページ）
－録画したタイトルを消去する（92ページ）

ご注意
● 録画したディスク（HDDまたはDVD）や、録画した番組のコピー制御信号によってはプレイリストが作れません（下表）。

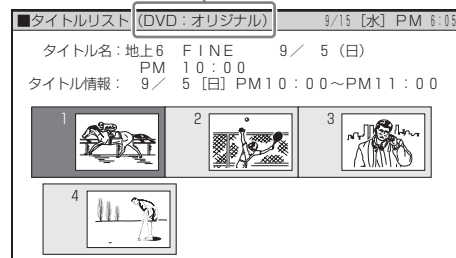
	HDD	DVD-RW（VRモード）
録画自由	作れる	作れる
1回だけ録画可能	作れない	作れる

オリジナルとプレイリストを切り換えるには

電源を入れ、オリジナル/プレイリストボタンを押します。
テレビ画面に「オリジナル」か「プレイリスト」が出ます。

「オリジナル」または「プレイリスト」

画像付タイトルリスト画面でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、「オリジナル」と「プレイリスト」表示が切り換わります。「オリジナル」には、オリジナルのタイトルが一覧で出ます。「プレイリスト」には、プレイリストのタイトルが一覧で出ます。

「オリジナル」または「プレイリスト」

ビデオモードで編集する

DVD-RW（VIDEO） **DVD-R**

ビデオモードでは、次の編集操作ができます。ただし、ファイナライズ（10ページ）を行ったディスクは編集できません。ビデオモードには、プレイリストはありません。
– タイトル名を変更する（79ページ）
– 録画したタイトルを消去する（92ページ）

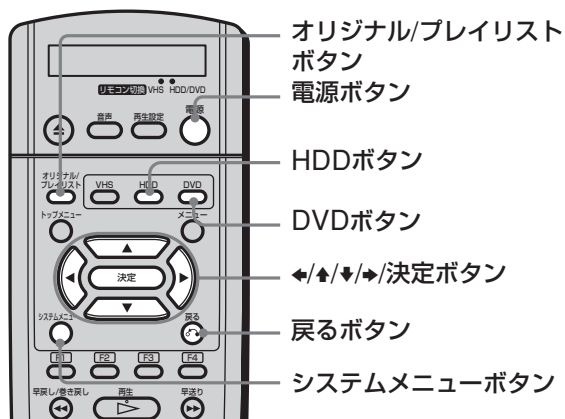
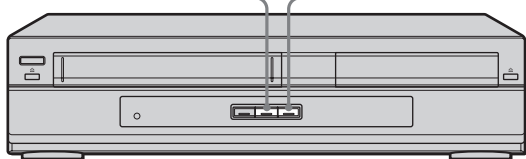
ちょっと一言
● ビデオモードで録画したときのタイトル消去は、再生時にタイトルが見えないようにする設定で、実際の映像は消去していません。そのため、消去した部分の空き時間は増えません。ただし、DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときだけは、空き時間が増えます。

プレイリストを作成する

プレイリストで編集するには、まずオリジナルのタイトルからプレイリストを作成します。プレイリストは、HDDは199タイトルまで、DVDは99タイトルまで作成できます。
DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rでは、プレイリストの作成はできません。

オリジナルのタイトルから作る

HDD　DVD-RW（VR）

オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

HDDランプ（青）　DVDランプ（オレンジ）

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。

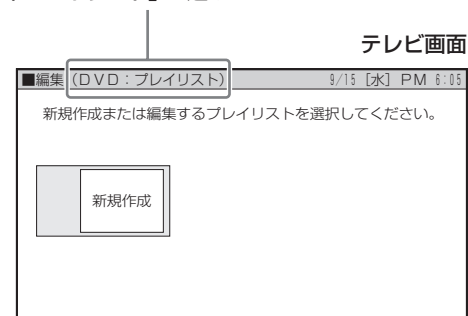
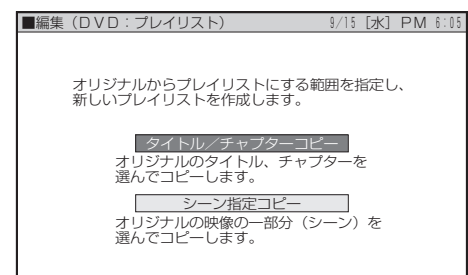
2 電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。

3 HDDのプレイリストを作成するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。⇨手順5へ
DVDのプレイリストを作成するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

4 編集する画像が記録されているディスクを入れる。

5 システムメニューボタンを押して、↑/↓で「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。
編集/消去画面が出ます。

6 ↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。
オリジナルの編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストの編集画面に切り換えます。

テレビ画面

7 ←/↑/↓/→で「新規作成」の枠を選び、決定ボタンを押す。
プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

8 **↑/↓で「タイトル/チャプターコピー」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

9 **←/↑/↓/→でコピーしたいオリジナルのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

プレイリスト画面に切り換わり、新しいプレイリストのタイトル作成が完了します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

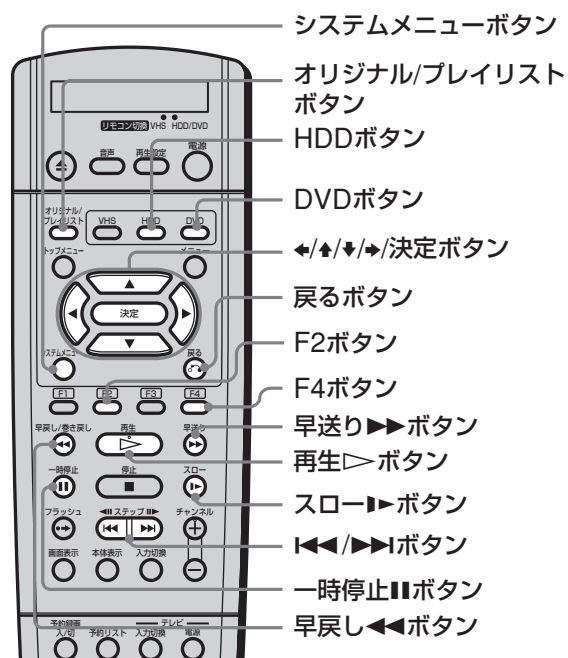
- オリジナルのタイトル名や変更したサムネイル画像の情報はコピーされません。
- オリジナルのチャプターからも同様にプレイリストを作成できます。

ご注意

- 本機で作成できるプレイリストは、最大12時間までです。
- オリジナルのタイトルからプレイリストを作成するとき、オリジナルのタイトルのインデックス画面やチャプターマーク情報はコピーされません。
- HDDに録画した「1回だけ録画可能」のタイトル（番組）は、プレイリストが作れません。

オリジナルの一部から作る

HDD　DVD-RW（VR）

オリジナルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

1 **HDDに編集するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。DVDに編集するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。**

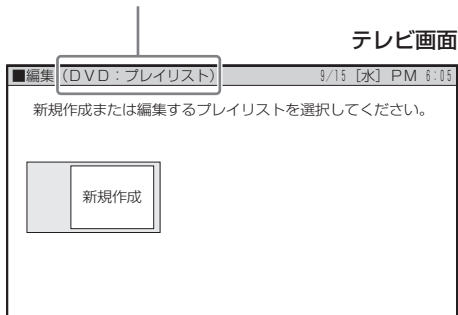
2 **システムメニューボタンを押して、↑/↓で「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

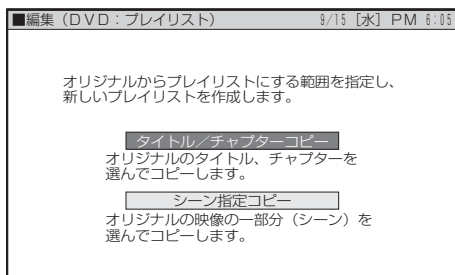
編集/消去画面が出ます。

次のページにつづく

プレイリストを作成する（つづき）

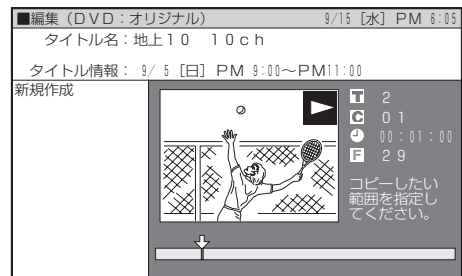
3 **↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。**

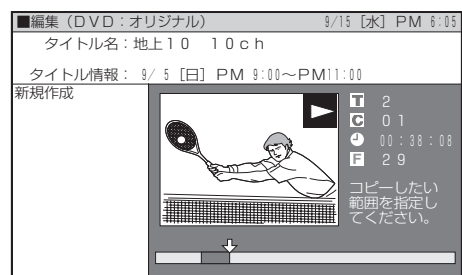
オリジナルの編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストの編集画面に切り換えます。

4 **←/↑/↓/→で「新規作成」の枠を選び、決定ボタンを押す。**

プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

5 **↑/↓で「シーン指定コピー」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

6 **←/↑/↓/→でコピーしたいシーンがあるオリジナルのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

7 **再生▷ボタンを押し、オリジナルの映像を再生する。**

8 **コピー開始場面で決定ボタンを押す。**

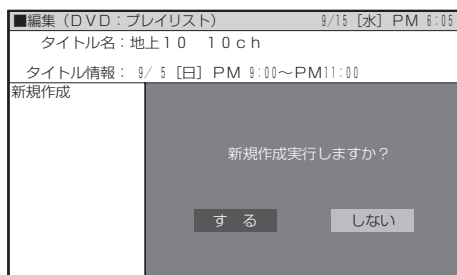
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、❙◀◀/▶▶❙ボタン、スロー❙▶ボタンを使って場面を探すことができます。

- 早戻しをしていて開始地点より前のシーンまで戻ったときは、開始地点が解除されます。
- 開始地点がチャプターの先頭に近いときは、チャプターの先頭が開始地点として選ばれます。指定の場所を開始地点にしたいときは、コピー元のチャプターを前のチャプターと結合（☞85ページ）してから、開始地点を選び直してください。

9 **コピー終了場面で決定ボタンを押す。**

- 戻るボタンを押すと、開始地点を選び直せます。

- 終了地点がチャプターの終わりに近いときは、チャプターの終わりが終了地点として選ばれます。指定の場所を終了地点にしたいときは、コピー元のチャプターを後ろのチャプターと結合してから、終了地点を選び直してください。

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  新しいタイトルの映像を確認します。
- **内容を確認しないとき**
  手順10に進む。

10 F4ボタンを押す。

11 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

新しいプレイリストのタイトルが作成されます。
「しない」を選ぶと、編集画面（新規作成）が終了し、プレイリストは作成されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

- シーンを選ぶときは、一時停止したシーンからスロー▮▶ボタンでスロー再生して開始場面や終了場面を選ぶと便利です。

ご注意

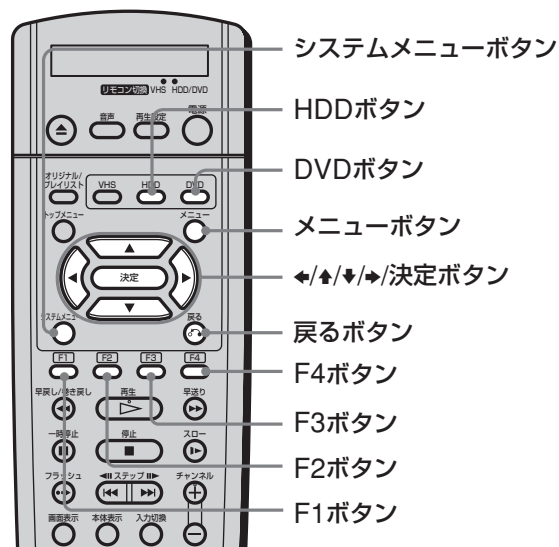
- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 5秒未満のシーンはコピーできません。

編集する

録画したタイトルを編集します。
オリジナルのタイトルやシーンを消去すると、その映像をもとに作成したプレイリストにも影響がでるので、ご注意ください。
プレイリストで場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響しません。
本機とテレビの電源を入れ、DVDの場合は編集する画像が記録されているディスクを入れて、次の操作を行います。

タイトル名を変更する

HDD DVD-RW DVD-R

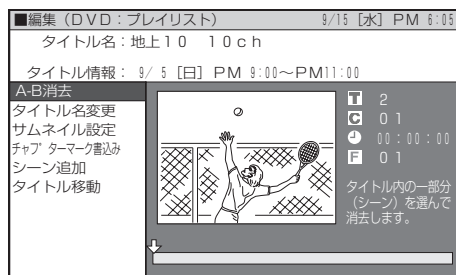
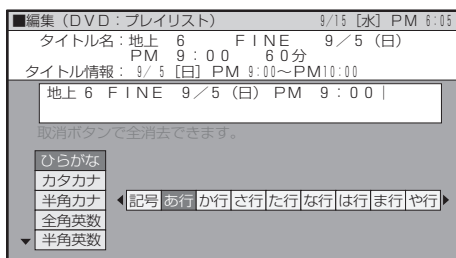
新しい録画タイトルには自動でタイトル名が付きますが、それを変更することができます。
入力できる文字数は、全角で32文字、半角で64文字までです。

1 **HDDを編集するときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。DVDを編集するときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。**

HDD／DVD編集

次のページにつづく

2 **システムメニューボタンを押して、↑/↓で「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**
編集/消去画面が出ます。

3 **↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。**
タイトルの一覧画面が出ます。
DVD-RW（VRモード）の場合、オリジナルかプレイリストを選びます。

4 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「タイトル名変更」を選び、決定ボタンを押す。**
タイトル名変更画面が出ます。

6 **←/↑/↓/→で新しいタイトル名を入力し、決定ボタンを押す。**
詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞下）をご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

F1ボタンを押します。

編集画面を消すには

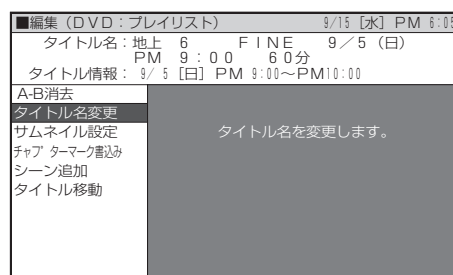
戻るボタンを繰り返し押します。

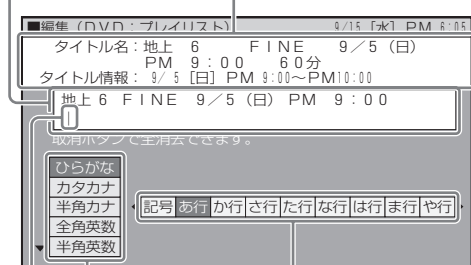
文字の入力のしかた

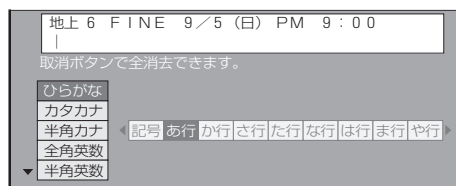
HDD DVD-RW DVD-R

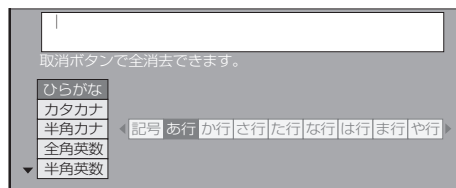
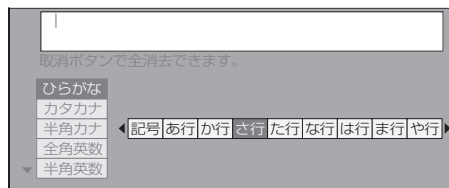
入力は、「変更する文字の選択」→「不要な文字（変更する文字）の削除」→「新しい文字の入力」という流れで行います。

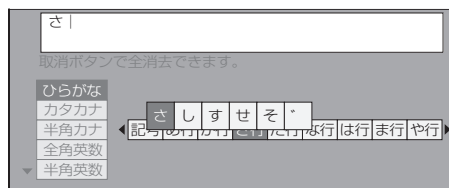
- タイトル名変更画面で、次の文字を入力できます。
  「ひらがな」「カタカナ」「半角カナ」「全角英数」「半角英数」「記号」
- 全角文字は32文字、半角文字は64文字まで入力できます。
- ひらがなは漢字に変換できます。

1 **タイトルを変更したいタイトルを選び、↑/↓で「タイトル名変更」を選ぶ。**

2 決定ボタンを押す。

タイトル名変更画面が出ます。

3 F2（左へ）またはF3（右へ）ボタンを押し、変更したい文字の後ろにカーソルを移動する。

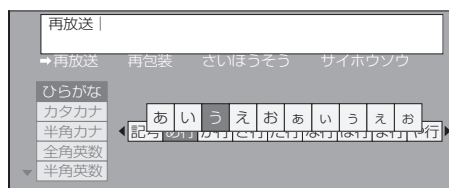
- **文字を挿入するときは**
  挿入する位置にカーソルを移動させてから、入力区分（ひらがな、カタカナなど）を選んでください。
- **全ての文字を消去するときは**
  リモコン扉内の取消ボタンを押します。

4 戻るボタンを押して変更したい文字を消す。

5 ↑/↓で入力区分（ひらがな、カタカナなど）を選ぶ。

6 ←/→で入力する文字の行（あ行、か行など）を選び、決定ボタンを押す。

7 ←/→で入力する文字を選び、決定ボタンを押す。

入力欄に文字が入ります。このときは、入力した文字はまだ確定していません。

- 行（あ行、か行など）を変えるときは、↑/↓を押します。入力候補の最初、または最後で←/→を押しても変えることができます。
- 入力区分を変えるときは、必ず決定ボタンを押してから移動してください。

8 手順5～7を繰り返し、文字を入力する。

- F2ボタンを押すと、カーソルが1文字ずつ戻ります。
- F3ボタンを押すと、カーソルが1文字ずつ進みます。
- 戻るボタンを押すと、1文字ずつ消せます。

9 メニューボタンを2回押し、変換候補を表示する。

10 ←/→で変換する漢字、またはひらがなを選び、決定ボタンを押す。

漢字変換ができるのは、ひらがな入力したときだけです。

HDD／DVD編集

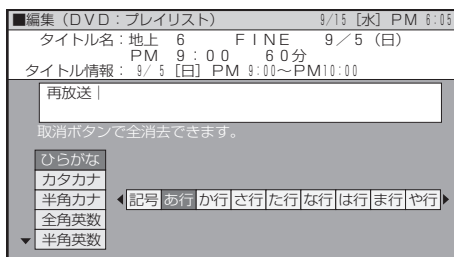
次のページにつづく

編集する（つづき）

11 **続けて文字を入力するときは、手順5〜10を繰り返す。**

入力できるタイトルの文字数は、全角32文字、半角64文字までです。

12 **完成したら、F4ボタンを押す。**

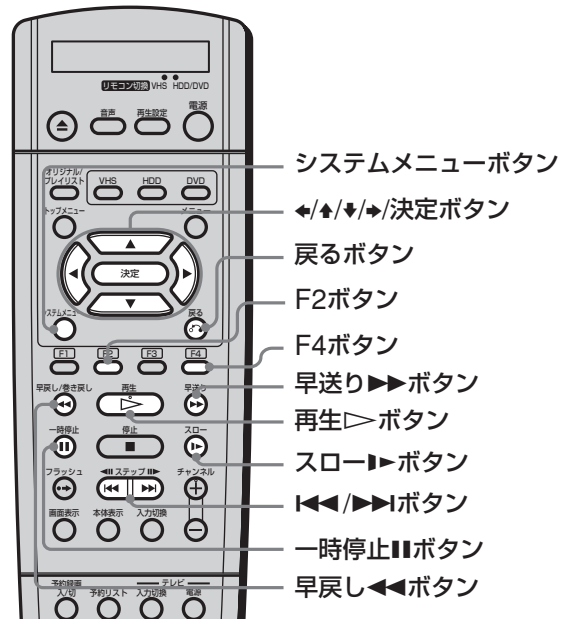
入力した文字がすべて確定し、手順**1**の画面に戻ります。

- **タイトル名を元に戻したいときは**
  F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。
  「はい」を選んだときは、確定したものも含めて入力した文字をすべて取り消し、手順**1**の画面に戻ります。

ちょっと一言

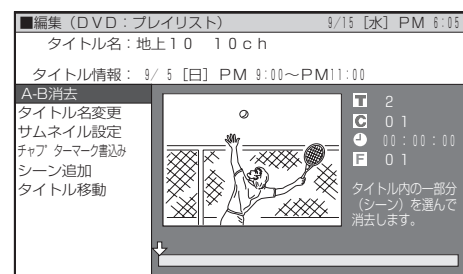
- ファイナライズしてあるDVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rは編集できません。ただし、DVD-RW（ビデオモード）はファイナライズを解除すれば編集できます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルに、本機で表示できない文字が含まれているときは、「＊＊＊・・・」（32文字まで）が出ます。

選んだ場面を消去する（A-B消去）

HDD DVD-RW（VR）

タイトル内の一部分（シーン）を選んで消去することができます。
シーン消去後は元の状態に戻すことができません。また、オリジナルでA-B消去をしますと、プレイリストからも消去されますのでご注意ください。
プレイリストでA-B消去をしても、オリジナルのタイトルへの影響はありません。

1 **「タイトル名を変更する」**☛79ページ**の手順1〜3を行う。**

2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

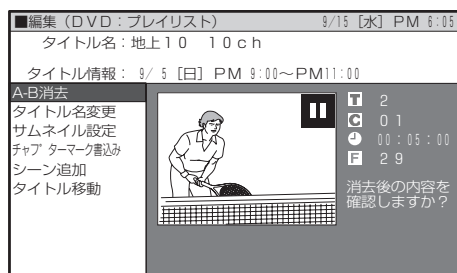
テレビ画面

3 **↑/↓で「A-B消去」を選び決定ボタンを押す。**

消去開始場面（A点）の設定画面が出ます。

4 再生▷ボタンを押し、選んだタイトルを再生する。

5 消去開始場面（A点）で決定ボタンを押す。

再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、⏮/⏭ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。
フレーム単位で指定したいときは、消去したい場面になったとき、一時停止❚❚ボタンを押して一時停止にします。⏮/⏭でフレームを探し、決定ボタンを押します。
消去終了場面（B点）の設定画面が表示されます。

6 消去終了場面（B点）で決定ボタンを押す。

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだシーンを消去したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  手順7に進む。

7 F4ボタンを押す。

「消去を実行しますか?」が表示されます。

8 ←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。

選んだシーンが消去されます。
「しない」を選ぶと、編集取り消し画面になり、消去を取り消すことができます。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

- シーンの追加や消去は、1タイトルあたり50回まで行えます。
- 他のDVDレコーダーで場面の追加や消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、編集・録画ができない場合があります。

ご注意

- 3秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始場面と終了場面としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面を設定すると、次のようになります。
  - タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始場面として選ぶと、タイトルの始まりが開始場面になります。
  - タイトルの終わりから5秒前までの場面を終了場面として選ぶと、タイトルの最後が終了場面になります。
  - タイトルの終わりの5秒間で開始場面と終了場面の両方を選ぶと、選んだ場面にかかわらず、終わりの5秒間が消去されます。
- シーンの追加や消去などで自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間を消去開始場面や終了場面として選ぶと、チャプターマークが消去開始場面や終了場面として設定されます。
- 「高速ダビング設定」を「入」にして録画したタイトルは、フレーム単位での編集ができません。そのようなタイトルをフレーム単位で編集したいときは、「高速ダビング設定」を解除してください（☛74ページ）。ただし、いったん解除したタイトルに高速ダビングを再設定することはできません。

次のページにつづく

編集する（つづき）

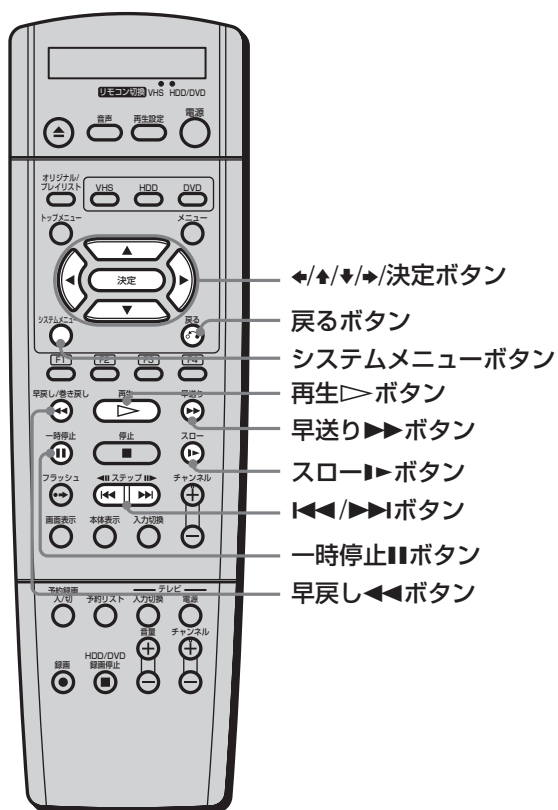
チャプターを区切る（チャプターマーク書込み） HDD DVD-RW（VR）

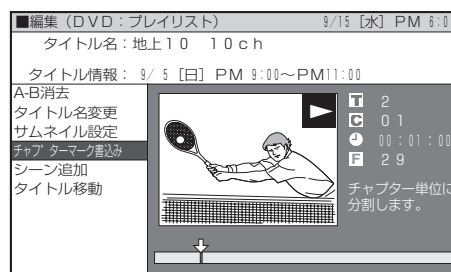
タイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。
チャプター単位の編集やダビングが、しやすくなります。タイトル再生中にリモコンのチャプターマークボタンを押して入れることもできます（☞50ページ）。

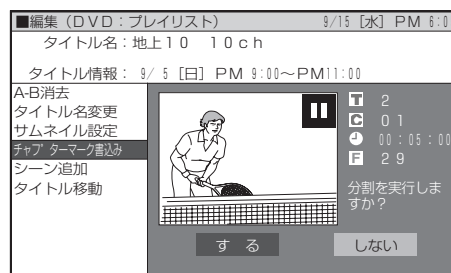
1 「タイトル名を変更する」☞79ページの手順1〜3を行う。

2 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

■編集（DVD：プレイリスト） 9/15［水］PM 6:05
タイトル名：地上10　10ch
タイトル情報：9/ 5［日］PM 9:00〜PM11:00
A-B消去
タイトル名変更
サムネイル設定
チャプターマーク書込み
シーン追加
タイトル移動
T 2
C 01
00：00：00
F 01
タイトル内の一部分（シーン）を選んで消去します。

3 ↑/↓で「チャプターマーク書込み」を選び、決定ボタンを押す。

4 再生▷ボタンを押し、選んだタイトルを再生する。

5 チャプターを分割する場面で決定ボタンを押す。

再生▷ボタンや一時停止▮▮ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、◀◀/▶▶ボタン、スロー▮▶ボタンを使って場面を探すことができます。

6 ←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。

- **続けて分割するには**
  手順**3**〜**6**を繰り返します。
- **分割場面を変更するには**
  「しない」を選び、決定ボタンを押します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- チャプターマークの間隔は3秒以上あけてください。間隔が短いと、チャプターを分割できません。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプター結合） HDD DVD-RW(VR)

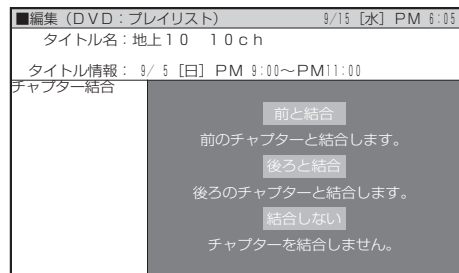
編集操作で追加したチャプターマークを消去して、2つのチャプターを結合して1つにします。
オリジナルのチャプターを結合しても、プレイリストのチャプターには影響ありません。

1 「タイトル名を変更する」☞79ページの手順1～3を行う。

2 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、F2ボタンを押す。

チャプターリスト画面が出ます。

テレビ画面

3 ←/↑/↓/→でつなげたいチャプターを選び、F4または決定ボタンを押す。

4 決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で結合のしかたを選び、決定ボタンを押す。

- 「前と結合」「後ろと結合」
  2つのチャプターがつながり、チャプターリスト画面に戻ります。
- 「結合しない」
  前の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- シーン消去した際に自動的に記録されたチャプターや、プレイリストのシーン追加で記録されたチャプターは、結合できません。

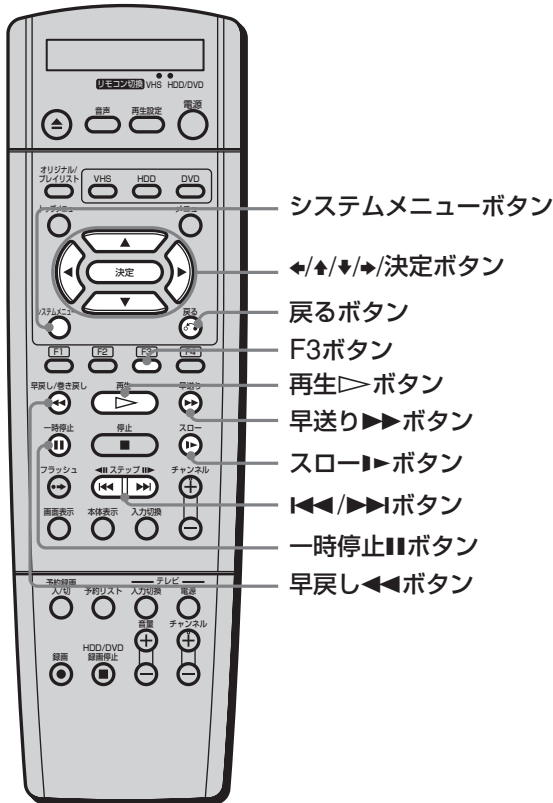
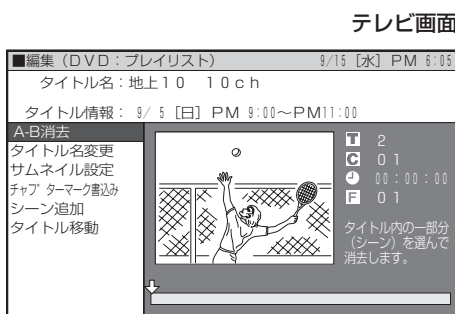
次のページにつづく

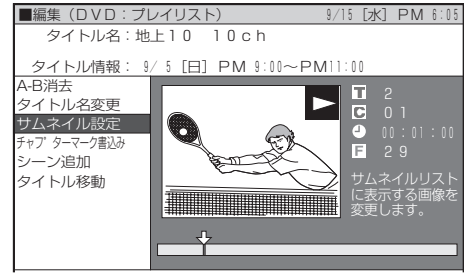
画像付タイトルリストの画像を変更する（サムネイル設定） HDD DVD-RW（VR）

画像付タイトルリストのタイトル画面に、どの場面を出すかを設定することができます。

1 「タイトル名を変更する」☞79ページの手順1〜3を行う。

2 ◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

3 ▲/▼で「サムネイル設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 再生▷ボタンを押し、タイトルを再生する。

5 画像付タイトルリストの画像にしたい場面で決定ボタンを押す。

再生▷ボタンや一時停止▮▮ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、▮◀◀/▶▶▮ボタン、スロー▮▶ボタンを使って場面を探すことができます。

一時停止になります。

6 ◀/▶で「する」を選び、決定ボタンを押す。

画像付タイトルリストの画像が決まります。

- **もう一度選び直すには**
  「しない」を選び、決定ボタンを押します。手順**3**から繰り返します。
- **元のタイトル画面に戻すには**
  決定ボタンを押した後に、F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。

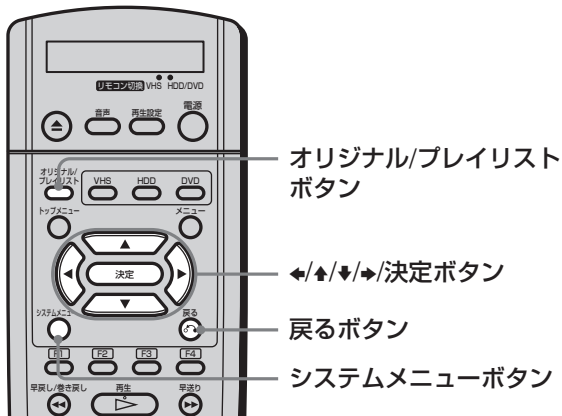
1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

タイトルを移動する HDD DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトルの並び順を変更します。

1 「タイトル名を変更する」☞79ページの手順**1**～**3**を行う。

2 オリジナル/プレイリストボタンを押してプレイリストを出す。

3 ←/↑/↓/→で移動するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

4 ↑/↓で「タイトル移動」を選び、決定ボタンを押す。

5 ←/→でタイトルの移動先を選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルが移動します。

- **選択したタイトルより前を移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直前にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル1を選んだ場合は、1の前に3のタイトルが移動します。
- **選択したタイトルより後ろを移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直後にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル4を選んだ場合は、4の後に3のタイトルが移動します。
- **連続してタイトルを移動するには**
  戻るボタンを2回押して、手順**3**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

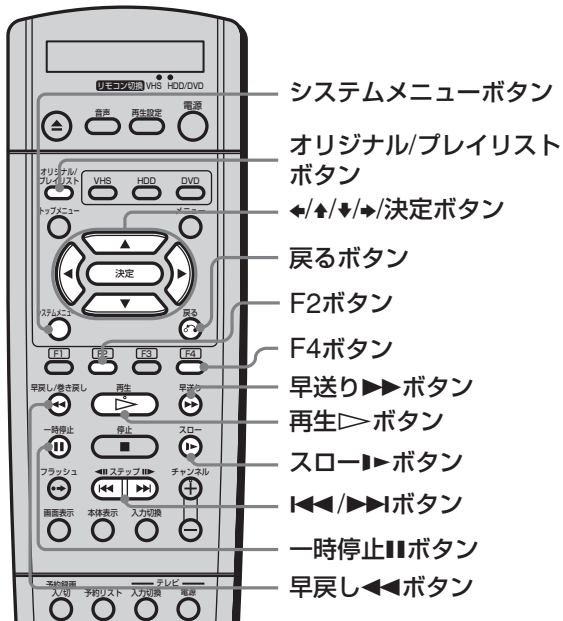
- プレイリストを2つ以上作成していない場合、タイトルの移動はできません。

次のページにつづく

編集する（つづき）

オリジナルからプレイリストにタイトルやチャプターを追加する

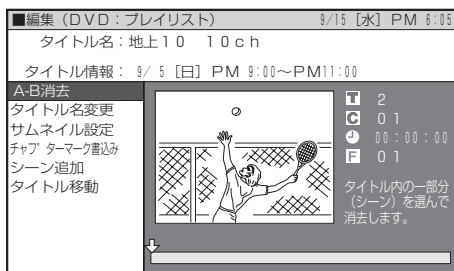
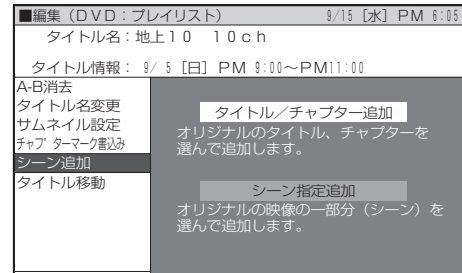
HDD **DVD-RW(VR)**

オリジナルからタイトルやチャプターを選び、プレイリストのお好みのタイトルの最後にチャプターとして追加します。

1 「タイトル名を変更する」☞79ページの手順**1**～**3**を行う。

2 オリジナル/プレイリストボタンを押してプレイリストを出す。

3 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

■編集（DVD：プレイリスト）　9/15［水］PM 6:05
タイトル名：地上10　10ch
タイトル情報：9/ 5［日］PM 9:00～PM11:00
A-B消去
タイトル名変更
サムネイル設定
チャプターマーク書込み
シーン追加
タイトル移動
T 2
C 01
00：00：00
F 01
タイトル内の一部分（シーン）を選んで消去します。

4 ↑/↓で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「タイトル/チャプター追加」を選び、決定ボタンを押す。

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

- **チャプターを追加するには**
  F2ボタンを押してチャプターの一覧画面に切り換えます。

6 ←/↑/↓/→で追加したいタイトルまたはチャプターを選び、決定ボタンを押す。

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだタイトルやチャプターを追加したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  手順7へ進む。

7 **F4ボタンを押す。**
「シーン追加を実行しますか?」が表示されます。

8 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**
手順**2**で選んだプレイリストタイトルの最後に、タイトルやチャプターがチャプターとして追加されます。
「しない」を選ぶと、編集画面（シーン追加）が終了し、タイトルやチャプターは追加されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

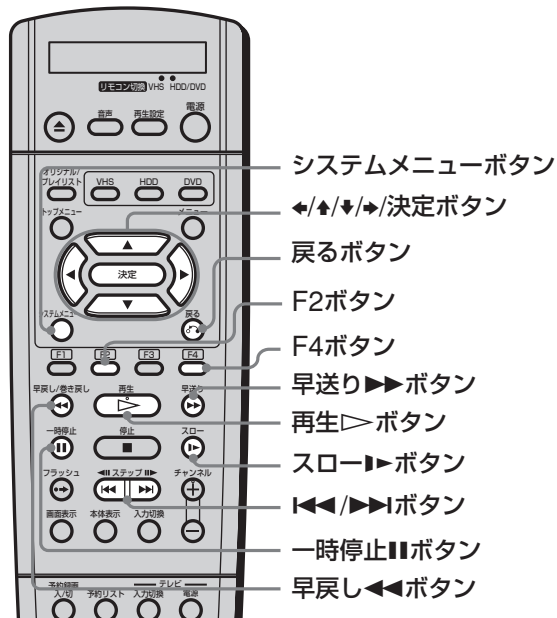
ちょっと一言

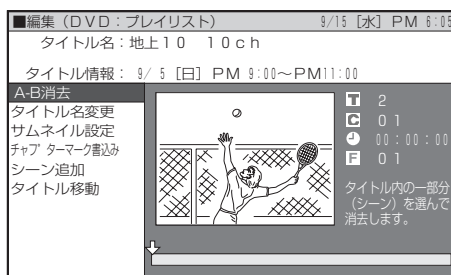
- タイトルやチャプターを追加した箇所にチャプターマークが自動的に入ります。
- 1タイトルにつき50回まで、追加や消去を行うことができます。

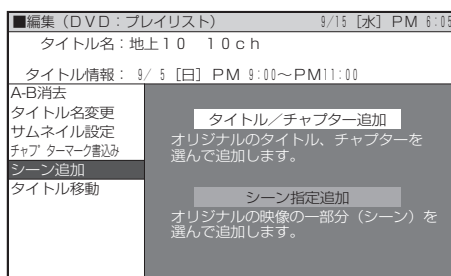
ご注意

- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。

オリジナルからプレイリストに場面を追加する（シーン追加） HDD DVD-RW(VR)

オリジナル映像から場面（シーン）を選び、プレイリストのお好みのタイトルの最後にそのシーンを追加します。

1 **「タイトル名を変更する」**☞79ページ**の手順1〜3を行う。**

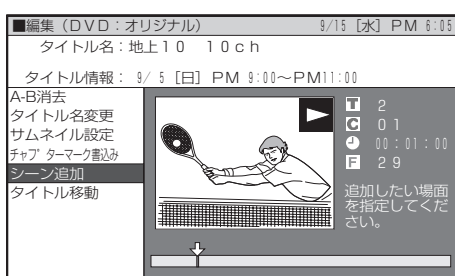
2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。**

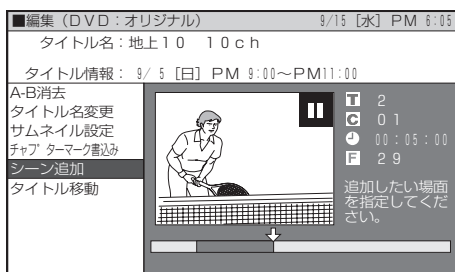
次のページにつづく

編集する（つづき）

4 **↑/↓で「シーン指定追加」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

5 **←/↑/↓/→で追加したいシーンのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

6 **再生▷ボタンを押し、オリジナルのタイトルを再生する。**

7 **追加したいシーンの開始場面で、決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

8 **追加したいシーンの終了場面で、決定ボタンを押す。**

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだシーンを追加したタイトルが再生されます。再生が始まるまでに、1分程度かかることがあります。
- **内容を確認しないとき**
  手順9へ進む。

9 **F4ボタンを押す。**

「シーン追加を実行しますか?」が表示されます。

10 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

手順**2**で選んだプレイリストタイトルの最後に、シーンが追加されます。
「しない」を選ぶと、編集取り消し画面になり、追加を取り消すことができます。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

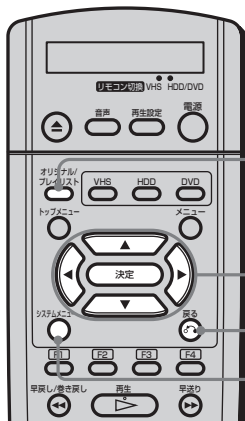
- シーンを追加した箇所（開始場面）にチャプターマークが自動的に入ります。
- 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加や消去を行うことができます。

ご注意

- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 3秒未満のシーンは追加できません。
- 手順**7**で開始場面を設定したあとに、早戻し◀◀ボタンや|◀◀ボタンを押して開始場面より前に戻ると、開始場面が解除されます。

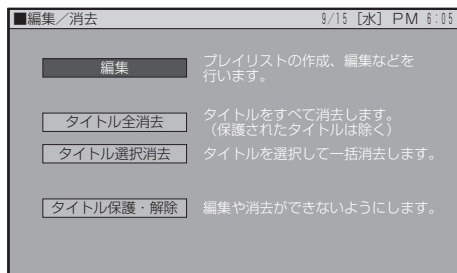
タイトルの編集・消去を不可にする

（タイトル保護） HDD DVD-RW（VR）

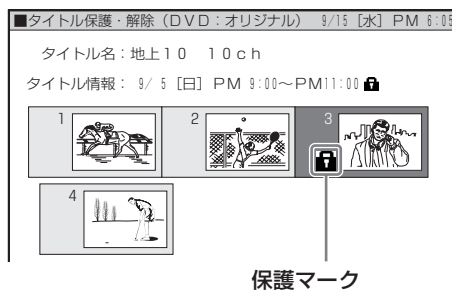
オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、タイトルを保護することができます。

1 **オリジナル/プレイリストボタンを押してオリジナルを選ぶ。**

2 **システムメニューを押して、「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

編集/消去画面が出ます。

テレビ画面

3 **↑/↓で「タイトル保護・解除」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **←/↑/↓/→で保護するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

保護したタイトルに 🔒 がつきます。

保護マーク

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

保護を解除するには

手順**3**で保護されたタイトル（🔒）を選び、決定ボタンを押します。🔒 の表示が消えます。

ディスクごと保護するには

システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「DVDディスク保護」－「保護」を選びます（☞118ページ）。

ご注意

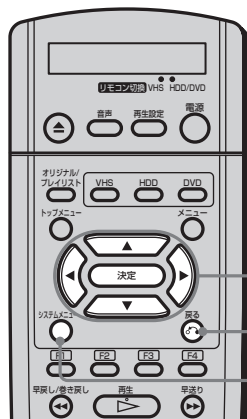
- プレイリストおよびビデオモードで録画したタイトルを保護することはできません。
- DVD-RW（VRモード）に「DVDディスク保護」が設定されているときは、タイトルごとに保護を解除することはできません。「DVDディスク保護」を解除してください（☞118ページ）。

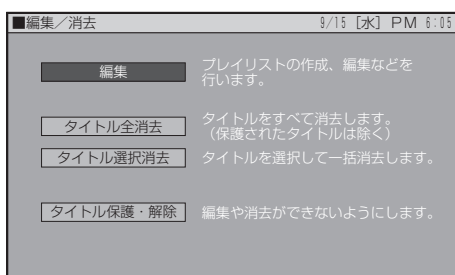
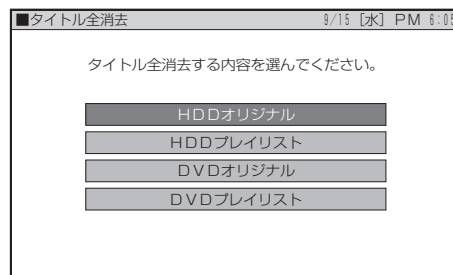
タイトルを消去する

HDD **DVD-RW** **DVD-R**

HDDまたはDVD-RWでは、ディスクがいっぱいになったら、不要なタイトルを消して、ディスクの空き時間を増やすことができます。
オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからもそのタイトルが消えますのでご注意ください。プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響ありません。
DVD-RW（ビデオモード）、DVD-Rでは、ファイナライズするとタイトル消去ができなくなります。

すべてのタイトルを消去する（タイトル全消去）

ディスク内にあるすべてのタイトルを消去します。ただしオリジナルタイトルの場合、タイトル保護されているタイトルや情報は消去されません。
ディスク内のすべての内容を消去したいときは、ディスクの初期化を行ってください(☞109、110ページ)。

1 **停止中に、システムメニューボタンを押し、↑/↓で「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

2 **↑/↓で「タイトル全消去」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

- **「HDDオリジナル」**
  HDDの全てのオリジナルタイトルが消去されます。プレイリストも消去されます。
- **「HDDプレイリスト」**
  HDDのプレイリストのみ消去されます。
- **「DVDオリジナル」**
  DVDの全てのオリジナルタイトルが消去されます。プレイリストも消去されます。
- **「DVDプレイリスト」**
  DVDのプレイリストのみ消去されます。

4 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトルが消去されます。
「しない」を選ぶと、手順**3**に戻ります。

5 **決定ボタンを押す。**

タイトル全消去画面に戻ります。

- **消去した内容を元に戻したいときは**
  F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

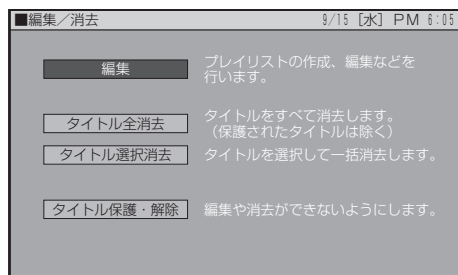
戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。
- タイトル数が多い場合などディスクの記録状態によっては、処理に約2分以上かかる場合があります。

タイトルを選んで消去する
（タイトル選択消去）

タイトルごとに消去します。

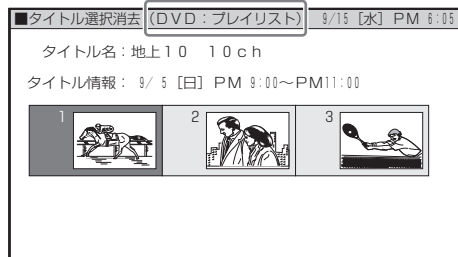
1 **停止中に、システムメニューボタンを押し、↑/↓で「編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

2 **↑/↓で「タイトル選択消去」を選び、決定ボタンを押す。**

画像付タイトルリストが出ます。
HDDとDVD-RW（VRモード）の場合、オリジナル/プレイリストボタンでオリジナルかプレイリストを選びます。

例）DVD-RW（VRモード）

「オリジナル」または「プレイリスト」

テレビ画面

3 **←/↑/↓/→で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルに 🗑 がつきます。

消去マーク

- **他のタイトルを消去するには**
  手順**3**を繰り返します。

4 **F4ボタンを押す。**

「選択した内容を全て消去しますか?」が表示されます。

5 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルが消去されます。
「しない」を選ぶと手順**3**に戻ります。

- **消去した内容を元に戻したいときは**
  F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

消去をやめるには

手順**3**で選んだ 🗑 がついているタイトルを選び、決定ボタンを押します。🗑 が消えます。

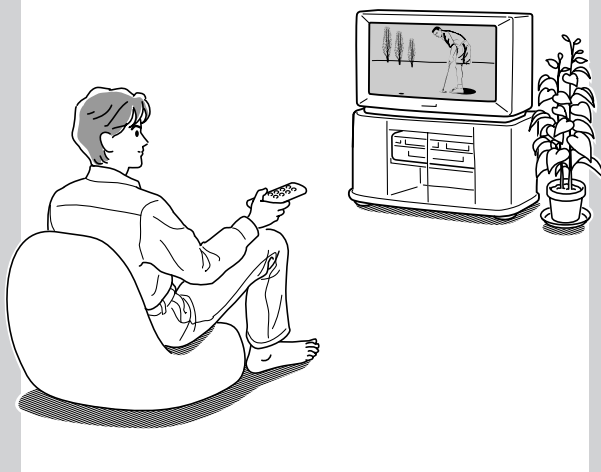
ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。
- 保護されているタイトルは消去できません（☞91ページ）。
- DVD-Rではタイトルを消去しても空き容量は増えません。
- DVD-RW（ビデオモード）では最後に記録したタイトルを消去したときにのみ空き容量が増えます。

ダビング

本機では下記の間でダビングができます。
- VHS⇔DVD
- VHS⇔HDD
- DVD⇔HDD

また、本機にビデオ機器やゲーム機器をつないで画像を見たり、ダビングしたり、ゲームをしたりできます。デジタルビデオカメラやゲーム機器は、本機前面の入力端子を使うと便利です。

以下の機器の接続については別冊「接続と準備」をご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）
- 地上波デジタルやBSデジタル、デジタルCSチューナーなど

ダビングする前に必ずお読みください

ダビング元の映像にコピー制御信号が含まれていると、ダビングやダビングモード、録画できるDVDが制限されます。
VHSからHDDやDVDにダビングする場合は、ディスクの種類やダビング元の音声などによって設定が異なります（☞96ページ）。

ダビング中の録画・再生について

ダビング中は下記の録画・再生はできません。

ダビング中	できない	できる
HDD→DVD	HDDの録画・再生	VHSの録画・再生
DVD→HDD	DVDの録画・再生	VHSの録画・再生
VHS→DVD	HDDの録画・再生	−
VHS→HDD	DVDの録画・再生	−

ご注意

- ダビング中はシステムメニューの操作はできません。

コピー制御信号が含まれている映像のダビングについて

下表を参考に、ダビング先やダビングモード（高速または等速）を選んでください。ダビングモードについて詳しくは、☞101ページをご覧ください。

				ダビング先					
				HDD	DVD				VHS
					DVD-RW（VRモード）		DVD-RW（ビデオモード）/DVD-R		
				等速ダビング	高速ダビング	等速ダビング	高速ダビング	等速ダビング	等速ダビング
ダビング元	HDD	オリジナル	録画可能	−	○	○	○ *2	○	○
			1回だけ録画可能	−	○ *1*3	○ *1*3	×	×	○ *4
		プレイリスト	録画可能	−	○	○	×	○	○
			1回だけ録画可能	−	×	×	×	×	×
	DVD	オリジナル	録画可能	○ *6	−	−	−	−	○
			1回だけ録画可能	×	−	−	−	−	○ *4
		プレイリスト	録画可能	○	−	−	−	−	○
			1回だけ録画可能	×	−	−	−	−	○ *4
	VHS		録画可能	○	×	○	×	○	−
			1回だけ録画可能	○ *4*5	×	○ *3*4*5	×	×	−

*1 HDDの映像は消去されます。
*2 HDDに録画時に高速ダビング設定して録画したタイトルのみ。
*3 DVD-RW（VRモード）Ver.1.1CPRM対応ディスクのみ。
*4 番組によりできないことがあります。
*5「1回だけ録画可能」な映像として録画されます。
*6 DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rは本機で録画したファイナライズ前のディスクのみ。

ダビングの制限

「録画禁止」または「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が含まれている映像をダビングすることはできません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど）。「録画禁止」のコピー防止信号が入っていると、録画が停止し、録画ランプが点滅します。繰り返し録画のできないDVD-Rの場合など、特にご注意ください。

「1回だけ録画可能」の映像は

- HDDからDVDにダビングするときは、VRモードで初期化したDVD-RW Ver.1.1 CPRM対応ディスクをお使いください。（ビデオモードではダビングできません。）
- HDDからDVDへのダビングは移動（ムーブ）となり、HDDから消去されます。
- DVDからHDDにダビングすることはできません。タイトルに録画可能の映像と「1回だけ録画可能」の映像が入っている場合は、録画可能の映像のみがダビングされます。

ご注意

- 「1回だけ録画可能」の映像のダビングを中断すると、ダビングした部分までがHDDから消去されます。ダビングを再開すると、残りの部分が別のタイトルとしてダビングされますが、つなぎ目が多少ずれることがあります。
- 「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルが複数のチャプターに分割されているときは、1つのチャプターをダビングリストに追加するだけで、そのタイトルの全てのチャプターが追加されます。
- 録画できない映像のときは、録画ランプが点滅します。

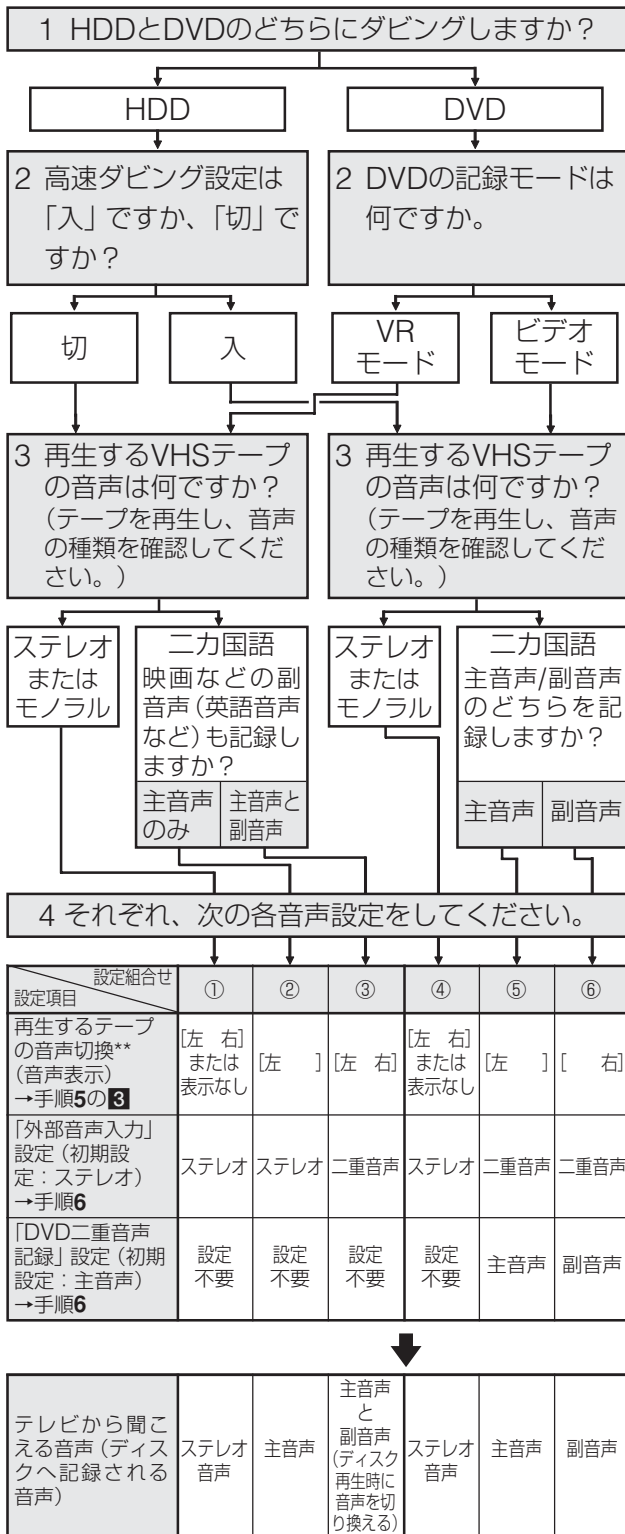
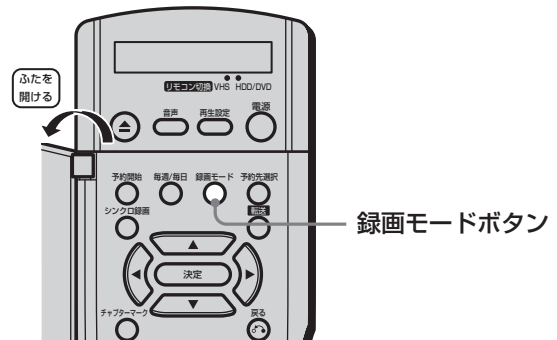
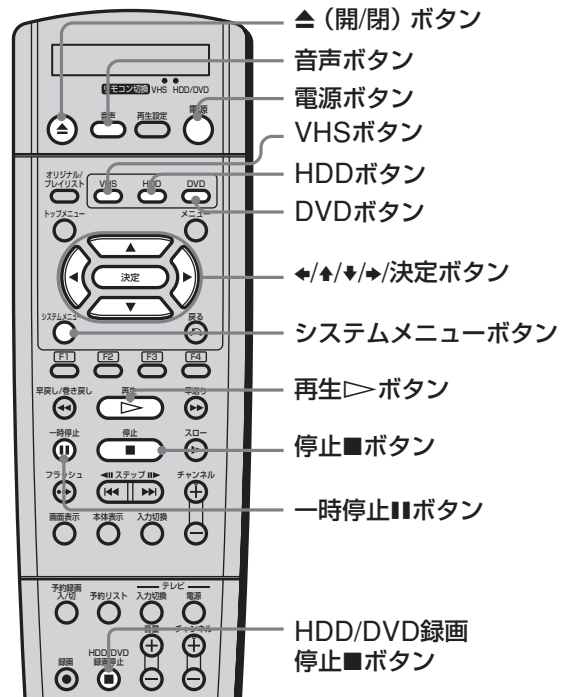
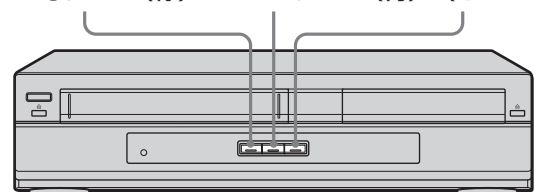
VHSテープをHDD/DVDにダビングする

HDD **DVD-RW** **DVD-R** **VHS**

VHSテープの映像や音声をディスクに記録することができます（ダビング）。音声については、VHSテープとディスクで音声切換、音声設定が必要です。
ダビングの前に下記を確認し、音声切換と設定をしてください。

設定項目＼設定組合せ	①	②	③	④	⑤	⑥
再生するテープの音声切換**（音声表示）→手順5の3	[左　右] または表示なし	[左　]	[左　右]	[左　右] または表示なし	[左　]	[　右]
「外部音声入力」設定（初期設定：ステレオ）→手順6	ステレオ	ステレオ	二重音声	ステレオ	二重音声	二重音声
「DVD二重音声記録」設定（初期設定：主音声）→手順6	設定不要	設定不要	設定不要	設定不要	主音声	副音声

↓

テレビから聞こえる音声（ディスクへ記録される音声）	ステレオ音声	主音声	主音声と副音声（ディスク再生時に音声を切り換える）	ステレオ音声	主音声	副音声

* DVDの記録フォーマットについて詳しくは、☞8ページをご覧ください。
** ダビング後は、VHS側の音声切換を「左　右」に戻すことをおすすめします。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 DVDにダビングするときは、⏏（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを入れる。

録画したい面を下にして置きます。

4 ⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

5 VHSテープを準備する。

1 再生するVHSテープを入れる。

2 VHSボタンを押してVHSランプ（緑）を点灯させる。

3 再生▷ボタンを押して再生し、VHSテープの音声を選ぶ。

音声ボタンを押して、再生する音声を選びます（☞73ページ）。

4 再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で停止■ボタンを押す。

記録時に数秒の時間差が生じるので、ダビングを開始したい位置の約5〜6秒前で停止することをおすすめします。

6 HDD/DVDの音声設定をする。

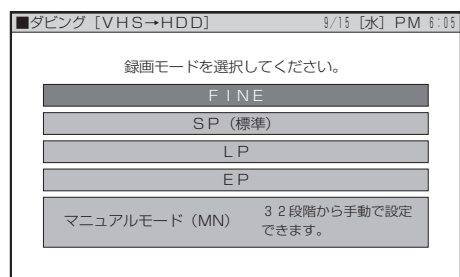
- **HDDにダビングするときは**
  システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」－「外部音声入力」で音声を選びます（☞112ページ）。
- **DVDにダビングするときは**
  システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」－「外部音声入力」で音声を選びます（☞112ページ）。
  DVD-RW（ビデオモード）の場合は、システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」－「DVD二重音声記録」で「主音声」または「副音声」を選びます（☞113ページ）。

7 ダビングNRの設定をする。

システムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」で「VHSダビングNR」の設定をします（☞113ページ）。

8 システムメニューボタンを押し、▲/▼で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

9 HDDにダビングするときは「VHS→HDD」を選び、決定ボタンを押す。DVDにダビングするときは「VHS→DVD」を選び、決定ボタンを押す。

10 ▲/▼で録画モードを選び、決定ボタンを押す。

FINE/SP/LP/EP/MNから選びます（☞18ページ）。

「ダビングを開始します。」が表示されます。

11 決定ボタンを押す。

ダビングが始まります。

HDDにダビングしているときは、HDD録画ランプが点灯します。

DVDにダビングしているときは、DVD録画ランプが点灯します。

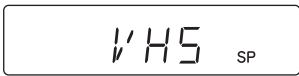
12 ダビングを止めるには、停止■ボタンを押す。

HDD/DVD録画停止■ボタンを押しても停止します。

次のページにつづく

VHSテープをHDD/DVDにダビングする（つづき）

DVDを他機で再生するときは

システムメニューの「初期化/DVDファイナライズ」から「DVDファイナライズ」を行ってください（☞108ページ）。

ちょっと一言

- ダビングしたディスクの最後に黒い画面が記録されますが故障ではありません。停止する際、テープとディスクに時間差が生じることがあります。その場合、黒い（信号のない）画面を記録するようになっています。
- ダビング中に再生しているテープの音声切換はできません。ダビングを始める前に設定してください。
- VHSテープをディスクにダビングしているとき、VHSテープのカウンター値とHDD/DVDの録画時間が多少ずれることがあります。
- 音声出力は、VHSの再生音声が出力されます。
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

- 次のような場合は、ダビングできません。
  - 録画できないDVDがセットされているとき
  - コピーガード対応のVHSソフトのとき
- 次のような場合、ダビングを停止します。
  - VHSテープが最後まで再生され、停止したとき
  - VHSまたはHDD/DVDを停止したとき
  - ディスクの残量がなくなったとき
- 著作権について
  - VHSテープなどの著作物から録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  - 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

手動でダビングする

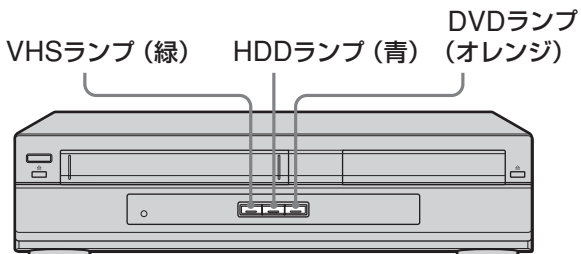
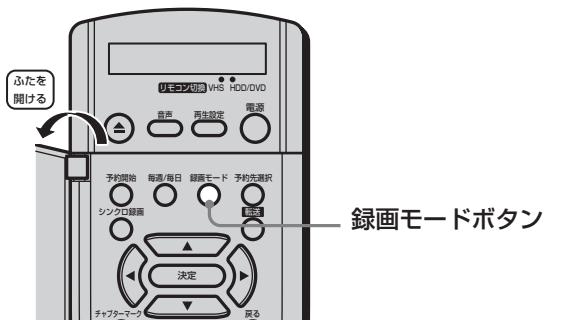
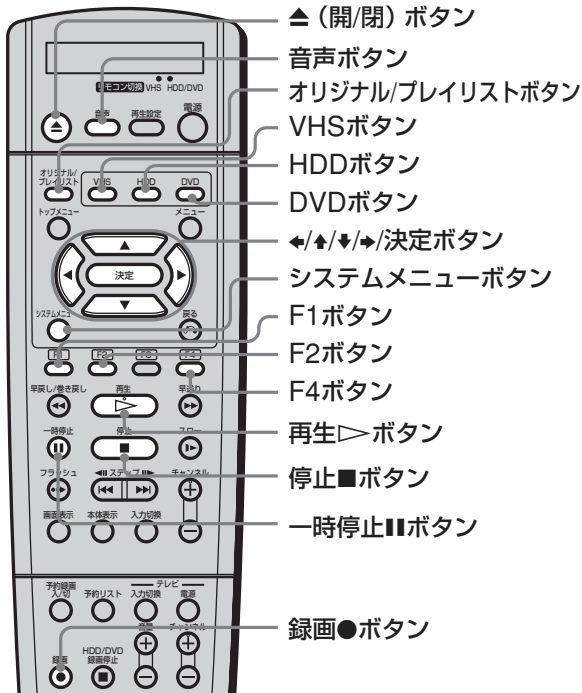
1. VHSボタンを押し、VHSランプ（緑）を点灯させる。
2. 再生▷ボタンを押し、再生する。
3. 音声ボタンを押し、音声を選ぶ。
4. ダビング開始位置で一時停止❚❚ボタンを押す。
5. HDDにダビングするときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。
   DVDにダビングするときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。
6. 入力切換ボタンかチャンネル＋/－ボタンを繰り返し押して、本体HDD/DVD表示窓に「VHS」を表示させる。

   VHS SP

7. 録画モードボタンを繰り返し押して、録画モードを選ぶ。
   押すたびに、FINE→SP→LP→EP→MNと切り換わります。
   「MN」の設定は、システムメニューで選ばれている設定です（☞18ページ）。
8. 録画●ボタンを押す。
9. VHSボタンを押し、再生▷ボタンを押す。
   VHSの再生が始まり、ダビングが始まります。
10. ダビングを止めるときは、VHSとHDD/DVD両方の停止■ボタンを押す。

HDD/DVDをVHSテープにダビングする

HDD DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD VHS

HDD/DVDの映像や音声を、1タイトルずつVHSテープにダビングできます。ただし、コピー防止機能のついたソフトなどをテープに記録すると、テープを再生したときに映像が乱れます。

1 録画用のVHSテープを入れる。

2 DVDからダビングするときは、⏏（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、再生用のディスクを置く。

3 ⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

4 HDDまたはDVDの準備をする。

1 プレイリストを作成しているときは（☞76ページ）、オリジナル/プレイリストボタンを押して、「オリジナル」または「プレイリスト」を選ぶ。

2 再生▷ボタンを押して再生し、録音したい音声を選ぶ。

音声ボタンを押して、録音したい音声を選びます（☞60ページ）。

3 再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で停止■ボタンを押す。

5 システムメニューボタンを押し、↑/↓で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

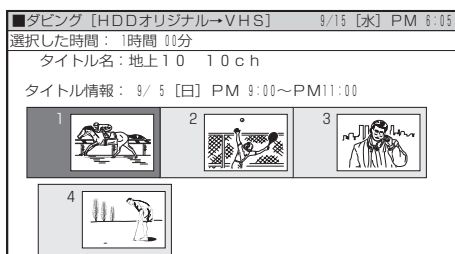
6 HDDからダビングするときは「HDD→VHS」を選び、決定ボタンを押す。DVDからダビングするときは「DVD→VHS」を選び、決定ボタンを押す。

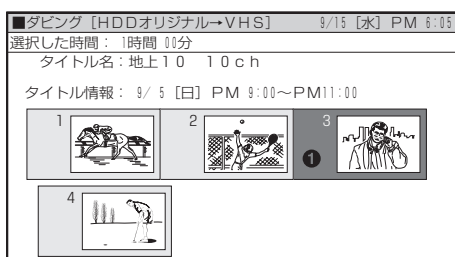
ダビング

次のページにつづく

HDD/DVDをVHSテープにダビングする（つづき）

7 **↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**

SP（標準）またはEP（3倍）を選びます（☞35ページ）。

8 **←/↓/↑/→でダビングしたいタイトルやチャプターを選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルに❶がつきます。

- **選んだタイトルを取り消すときは**
  ←/↓/↑/→で取り消したいタイトルを選び、決定ボタンを押します。❶が消えます。
- **タイトル名リストから選ぶときは**
  F1ボタンを押す。
- **チャプターを選ぶときは**
  F2ボタンを押す。

9 **F4ボタンを押す。**

「ダビングを開始します。」が表示されます。

10 **決定ボタンを押す。**

ダビングが始まり、VHS録画ランプが点灯します。
終わると自動的に止まります。

途中でダビングを止めるには

停止■ボタンを押します。

ファイナライズ済みのDVD-R/DVD-RW（ビデオモード）やDVDビデオなどのディスクから、VHSへダビングするときは、「手動でダビングする」（☞101ページ）でダビングしてください。システムメニューからダビングした場合、1タイトルめのみがダビングされます。1タイトルめ以外のタイトルはダビングできません。

ちょっと一言

- ダビング中に、再生しているHDD/DVDの音声を切り換えることはできません。ダビングを始める前に設定してください。
- 再生映像の明るさが通常のHDD/DVDの再生時と異なる場合もあります。
- HDD/DVDの再生時間とVHSテープのカウンター値が多少ずれることがあります。
- 音声は、再生している音声（主音声または副音声など）がダビングされます。
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

- 次のような場合は、ダビングできません。
  －システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「映像・音声設定」の「プログレッシブ再生」が「入」に設定されているとき（☞115ページ）
- 次のような場合、ダビングを停止します。
  － HDD/DVDが最後まで再生され、停止したとき
  － HDD/DVDまたはVHSを停止したとき
  － テープの残量がなくなったとき
- 著作権について
  － ディスクなどの著作物から録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  － 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

手動でダビングする

1 HDDからダビングするときは、HDDボタンを押してHDDランプ（青）を点灯させる。
DVDからダビングするときは、DVDボタンを押してDVDランプ（オレンジ）を点灯させる。

2 トップメニューボタンを押して、ダビングしたいタイトルを選ぶ。

3 再生▷ボタンを押し、再生する。

4 ダビング開始位置で一時停止❚❚ボタンを押す。

5 VHSボタンを押し、VHSランプ（緑）を点灯させる。

6 入力切換ボタンかチャンネル＋/－ボタンを繰り返し押して、本体VHS表示窓に「H/D」を表示させる。

7 録画モードボタンを押して、録画モードを選ぶ。
押すたびに、SPとEPが切り換わります。

8 録画●ボタンを押す。

9 HDDまたはDVDボタンを押し、一時停止❚❚ボタンを押す。
HDDまたはDVDの再生が始まり、ダビングが始まります。

10 ダビングを止めるときは、VHSとHDD/DVD両方の停止■ボタンを押す。

HDDとDVDの間でダビングする

ダビングをする前に

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください（☞95ページ）。
- 本機で録画したDVDのみ、HDDへダビングできます。ただし、DVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rは、ファイナライズされているとダビングできません。
- DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rでは音声多重放送を記録できません。音声多重放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類（「主音声」または「副音声」）を選んでください（☞113ページ）。
- ダビング中は予約録画やシンクロ録画ができません。ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。

ダビングモードについて

ダビング時の録画モードを「ダビングモード」と呼びます。録画モードを変えずにすばやくダビングする高速ダビングと、ダビング元とは異なる録画モードに変換してデータ量を減らす録画モード変換ダビングがあります。以下を参考に、所要時間やディスク容量、画質に合わせてお選びください。

すばやくダビングする（高速ダビング）

- **パソコン上でのデータのコピーのように、HDDに録画されたタイトルを画質を劣化させることなく、そのままの品質でDVDにコピーします。**
- **HDDからDVD-RW/DVD-Rへダビングするための機能です。**
  - 高速ダビング中は、テレビ画面でダビング中の映像を見ることはできません。リモコンの画面表示ボタンを押すと、ダビング進捗状況を確認できます。
  - 高速ダビング中は、ダビングを途中で停止しないでください。ダビング中のタイトルが消去されることがあります。
  - 高速ダビング所要時間は、ダビング元のタイトルに設定されている録画モードや、ディスクの種類によって変わります。
  - DVD-Rの場合、4倍速/8倍速記録対応ディスクを使用しても、2倍速となります。

ダビング

次のページにつづく

HDDとDVDの間でダビングする（つづき）

– 未使用の2倍速対応DVD-RWを他のDVDレコーダーで初期化したときは、高速ダビングを選んだ場合でも1倍速のダビング速度となることがあります。

例） 1時間録画した番組を高速ダビングしたときの目安

所要時間	ダビング元タイトルの録画モード			
	FINE	SP	LP	EP
2倍速対応* ディスク使用時	約30分	約15分	約7分30秒	約5分
1倍速 ディスク使用時	約60分	約30分	約15分	約10分

* 「1回だけ録画可能」の映像を高速ダビングしたときは、2倍速記録対応のディスクを使用しても、2倍速とはなりません。

DVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速ダビングするときのご注意

DVD（ビデオモード）に高速ダビングするためには、HDDに録画するときに、あらかじめ「高速ダビング設定」を「入」に設定しておく必要があります。「入」にしないで録画した場合は、DVD-RやビデオモードのDVD-RWに高速ダビングすることができません。VRモードのDVD-RWに高速ダビングをするときは、この設定は必要ありません。

- 高速ダビングするためには、システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「高速ダビング設定」－「入」にしてください。
- プレイリストからは高速ダビングできません。
- 高速ダビングを設定して、HDDに録画したタイトルをフレーム単位で編集するときは、高速ダビングの設定を解除します（☞74ページ）。ただし、解除すると再設定できません。
- 16:9（ワイド）映像を録画モードLPやEP（MN1～MN17）で録画したときは、録画した映像が4:3（スクイーズ記録）となります。
- 16:9と4:3の画面縦横比が混在しているタイトルでは、ダビング中に画面縦横比が変わっても、開始時の画面縦横比でダビングします。
- 二重音声放送の番組を録画したときは、「DVD二重音声記録」で選ばれている音声が記録されます。
- 高速ダビング時は、実際のタイトル時間より容量を多く使用することがあります。

録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）

HDDからDVD、またはDVDからHDDの双方向へ、ダビング元とは異なる録画モードを設定してダビングします。例えば、高画質でデータ量の多いFINEで録画したタイトルを、データ量の少ないSPに変換してダビングすると、少ないディスク容量でたくさん保存することができます。「自動調整」を選ぶと、DVDの空き容量に合わせて録画モードが自動的に調整されます。
ダビング時に「録画モード変換ダビング」を選びます。

HDD⟷DVDダビング時にコピーされるタイトルやチャプターマークについて

ダビングしたとき、タイトル名やチャプターマークのダビングは次のようになります。インデックス画面はダビングされません。

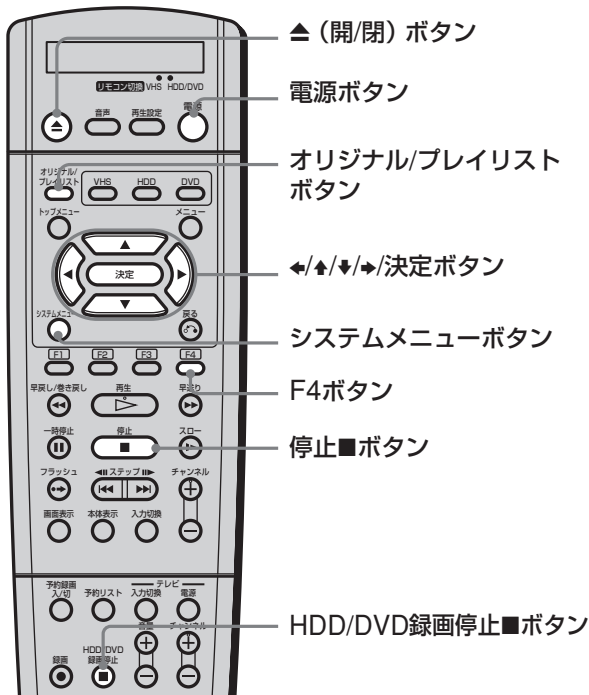
		タイトル名	チャプターマーク
録画モード変換ダビング	HDD⟷DVD（VRモード）	○	○[*1]
	HDD➡DVD（ビデオモード）	○	×[*2]
	DVD（ビデオモード）➡HDD	○[*3]	×
高速ダビング	HDD➡DVD（VRモード）	○	○
	HDD➡DVD（ビデオモード）	○	○[*4]

[*1] 「録画禁止」または「1回だけ録画可能」のコピー防止信号を含むタイトルは、チャプターを引き継ぎません。
[*2] HDDからDVD-RW/R（ビデオモード）に録画モード変換ダビングしたとき、ダビング元のチャプターマークはダビングされません。メニューの「自動チャプターマーク」（☞112ページ）で設定された時間ごとにチャプターマークが書き込まれます。
[*3] ファイナライズを行ったDVD-RW/R（ビデオモード）からのダビングはできません。
[*4] HDDからDVD-RW/R（ビデオモード）に高速ダビングをしたとき、ダビングされるチャプターマークは1タイトルあたり最大99チャプターです。

ご注意
- 録画モード変換ダビングでダビング元の録画モードより高画質の録画モードを選んでも、画質は良くなりません。
- 録画モード変換ダビングのダビング所要時間は、2倍速対応ディスクを使用してもダビング元のタイトルと同じ時間が必要です。
- DVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに画面縦横比16:9の映像をダビングすると、縦長に見えることがあります。このようなときは、テレビで設定を変更してください。
- 録画モード変換ダビング時「高速ダビング」を「切」にして録画した二重音声の番組をダビングしているとき、「主音声」と「副音声」が混ざって聞こえます。このとき、切り換えることはできませんのでご注意ください。
- チャプターマークの位置が少しずれることがあります。

HDDからDVDへダビングする

HDD DVD-RW DVD-R

タイトルやチャプターごとにダビングできます。
5タイトルまでまとめてダビングできます。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

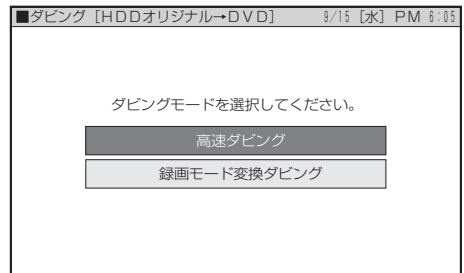
3 **≜（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを入れる。**
録画したい面を下にして置きます。

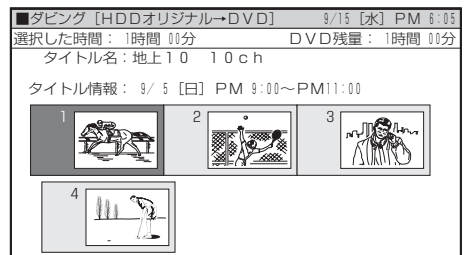
4 **≜（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞109ページ）。

5 **オリジナル/プレイリストボタンを押して、ダビングするタイトル（「オリジナル」か「プレイリスト」）を選ぶ。**

6 **システムメニューボタンを押し、↑/↓で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す。**

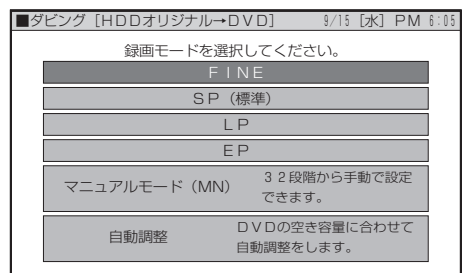
テレビ画面

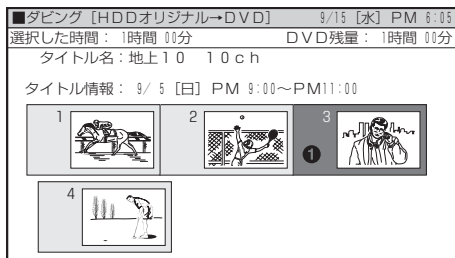
7 **↑/↓で「HDD→DVD」を選び、決定ボタンを押す。**

8 **↑/↓でダビングモード（「高速ダビング」または「録画モード変換ダビング」）を選び、決定ボタンを押す。**
ダビングモードについては、☞101ページをご覧ください。

高速ダビングを選んだとき⇨手順**10**へ

下記のマークが表示されます。
「1回だけ録画可能」の番組（HDDのみ）
速　高速ダビング設定（HDDのみ）

録画モード変換ダビングを選んだとき

ダビング

次のページにつづく

9 **↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**
録画モードについては、☞18ページをご覧ください。

10 **←/↑/↓/→でタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
タイトルに❶が付きます。

- **複数のタイトルを選ぶときは**
  手順**10**を繰り返します。5タイトルまで選べます。
- **選んだタイトルを取り消すときは**
  ←/↑/↓/→で取り消したいタイトルを選び、決定ボタンを押します。❶が消えます。

11 **F4ボタンを押す。**
「ダビングを開始します。」が表示されます。

12 **決定ボタンを押す。**
ダビングが始まり、DVD録画ランプが点灯します。
終わると自動的に止まります。

途中でダビングを止めるには

停止■ボタンを押します。
VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押しても停止します。

録画モードの「自動調整」について

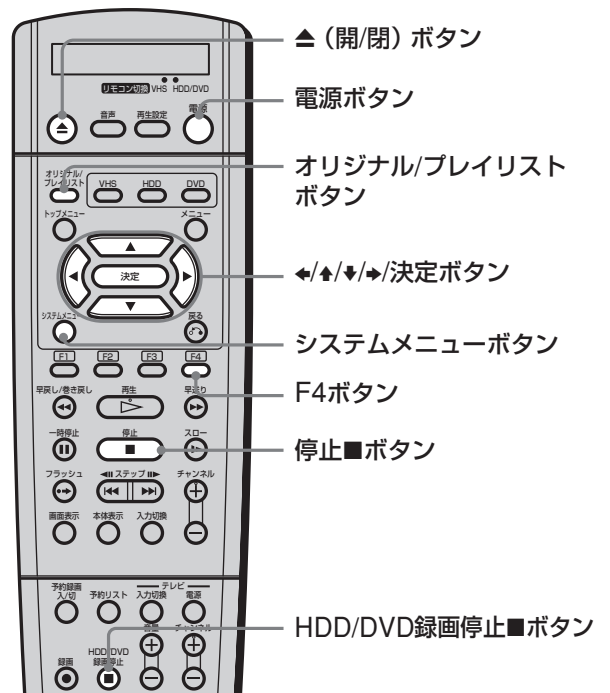
- ダビングしたいタイトルが複数あって、DVDの空き容量が足りなそうなとき「自動調整」を選ぶと、1枚のディスクに納まるように最適なモードが自動的に選ばれます。合計6時間以内で自動調整します。
- 「自動調整」にすると、各タイトルの録画モードを設定できません。
- 元の映像より高画質になることはありません。
- 「自動調整」では通常、画質が下がります。

ちょっと一言
- タイトルを何枚かのDVDに分けてダビングするときはプレイリストを作成して（☞76ページ）、プレイリスト単位でダビングします。
- 「1回だけ録画可能」の映像は、HDDからDVDへのダビング後は移動（ムーブ）となり、HDDから消去されます。「1回だけ録画可能」の映像は元の映像がHDDから消去されますので、何枚かのDVDに分けてダビングするときは、希望の位置で止めて、ディスクを変えてダビングを再開してください。

ご注意
- DVDのタイトル数が99、またはチャプター数が999になっていると、ダビングできません。
- HDDやDVDが録画中または再生中はダビングできません。
- タイトルとチャプターを混ぜてダビングすることはできません。

DVDからHDDへダビングする

HDD DVD-RW DVD-R

本機で録画したDVDのみ、HDDへダビングできます。
DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rは、ファイナライズするとダビングできません。
DVD-RW（ビデオモード）は、ファイナライズを解除するとダビングできます。

1
テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。

2
電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。

3
⏏（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、再生用のディスクを入れる。

再生したい面を下にして置きます。

4
⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

5
オリジナル/プレイリストボタンを押して、ダビングするタイトル（「オリジナル」か「プレイリスト」）を選ぶ。

6
システムメニューボタンを押し、↑/↓で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

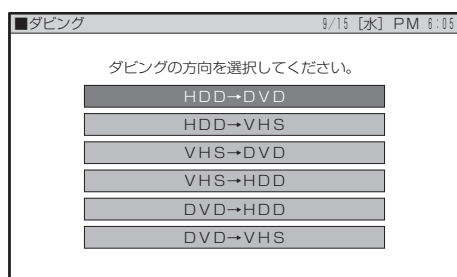
■ダビング　9/15［水］PM 6:05

ダビングの方向を選択してください。

- HDD→DVD
- HDD→VHS
- VHS→DVD
- VHS→HDD
- DVD→HDD
- DVD→VHS

7
↑/↓で「DVD→HDD」を選び、決定ボタンを押す。

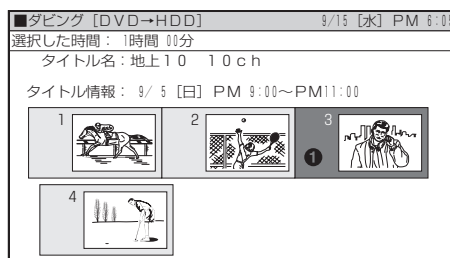
■ダビング［DVD→HDD］　9/15［水］PM 6:05

録画モードを選択してください。

- FINE
- SP（標準）
- LP
- EP
- マニュアルモード（MN）　32段階から手動で設定できます。

8
↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。

録画モードについては、☛18ページをご覧ください。

9
←/↑/↓/→でタイトルを選び、決定ボタンを押す。

タイトルに❶が付きます。

- **複数のタイトルを選ぶときは**
  手順**9**を繰り返します。
- **選んだタイトルを取り消すときは**
  ←/↑/↓/→で取り消したいタイトルを選び、決定ボタンを押します。❶が消えます。

10
F4ボタンを押す。

「ダビングを開始します。」が表示されます。

11
決定ボタンを押す。

ダビングが始まり、HDD録画ランプが点灯します。

終わると自動的に止まります。

途中でダビングを止めるには

停止■ボタンを押します。

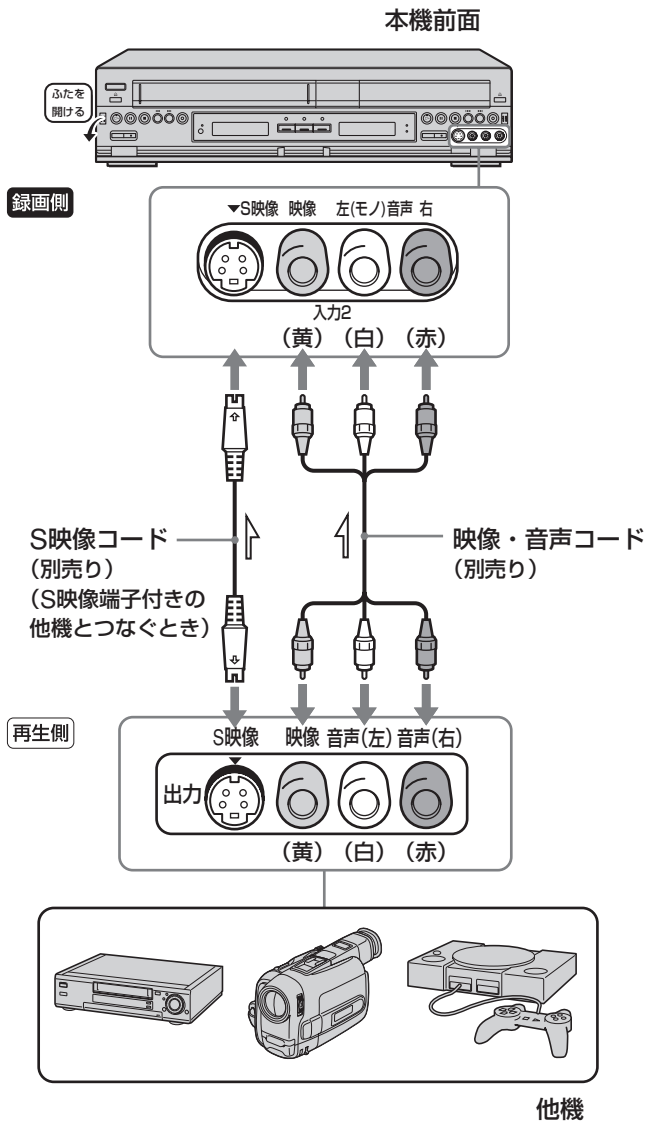
VHSテープ再生中には、HDD/DVD録画停止■ボタンを押しても停止します。

ご注意

- タイトルがHDDの空き容量より長いときは、空き容量がなくなるまでダビングします。
- HDDのタイトル数が199、またはチャプター数が999になっていると、ダビングできません。
- HDDやDVDが録画中または再生中はダビングできません。
- 「1回だけ録画可能」の映像はHDDにダビングできません。ダビング一時停止になります。録画できる映像と混在している場合は、録画できる映像のみダビングされます。
- 選んだタイトルが最後まで再生され、停止すると、ダビングは自動的に止まります。
- HDDやDVDを停止すると、ダビングは止まります。
- DVD-RW/R（ビデオモード）で記録された二重音声は、「DVD二重音声記録」（☛113ページ）で選ばれている音声です。

ビデオ機器をつないで見る・ダビングする

本機の外部入力端子につないだビデオ機器の映像を本機を経由して見たり、本機で録画したりするときは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ちょっと一言

- 本機で録画するときに、接続する他機がモノラルの場合は、モノラル音声を音声右/左両方の端子から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。
- 本機で録画するときに、本機後面の入力1端子を使うこともできます。

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、ダビングすることができません。

つないだ機器の映像を見る・ゲームをする

1 入力切換ボタンを繰り返し押して「L2」を選ぶ。

入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

例）テレビチャンネル→ 入力1（L1）→ 入力2（L2）

2 本機の入力端子につないだ機器の再生をする。

ちょっと一言

- 手順**1**でチャンネル＋/－ボタンを押しても、「L2」を選べます。

ご注意

- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。

ダビングする HDD DVD-RW DVD-R VHS

1 テレビの入力を録画側の機器に切り換える。

2 録画用のVHSテープまたはディスクを入れる。

3 HDDボタン、DVDボタン、またはVHSボタンを押して、録画先を選ぶ。

4 つないだ再生機器の準備をする。

電源を入れます。
再生するテープやディスクなどを入れます。
画面表示機能があるときは、画面表示を消してください。
音声切換機能があるときは、録音したい音声を選んでください。

5 外部入力の音声を選ぶ。

- **DVDに録画する場合**
  録音する音声に合わせてシステムメニューの「セットアップ」－「録画機能設定」の「外部音声入力」(☞112ページ)、または「DVD二重音声記録」(DVD-RWのビデオモードのみ)(☞113ページ)を設定します。
- **VHSテープに録画する場合**
  この手順はとばします。

6 入力切換ボタンを繰り返し押して「L2」を選ぶ。

入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

例) テレビチャンネル→ 入力1 (L1) → 入力2 (L2)

後面入力1端子に機器を接続しているときは、「L1」にします。

7 録画モードボタンを繰り返し押し、録画モードを選ぶ。

- **HDDまたはDVDのとき**
  「FINE/SP/LP/EP/MN」から選びます(☞18ページ)。
- **VHSテープのとき**
  「SP (標準) /EP (3倍)」から選びます。

8 録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

9 録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

10 録画が終わったら

録画側

停止■ボタンを押す。

HDDまたはDVDの場合、VHSが再生中ならばHDD/DVD録画停止■ボタンを押して停止します。

再生側

停止ボタンを押す。

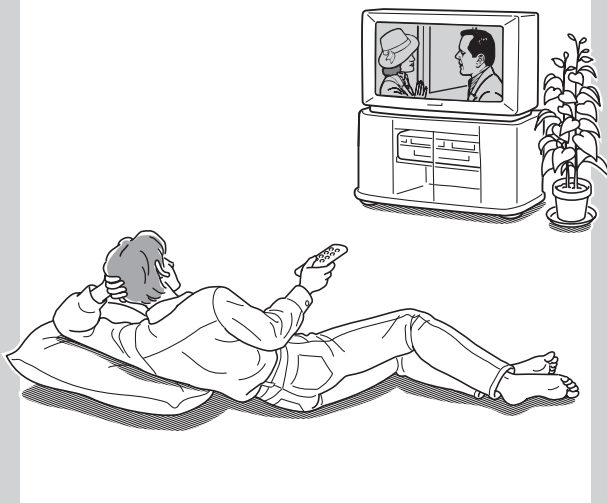
ちょっと一言

- 二カ国語放送の番組を録画するときに、本機が再生側のときは、音声ボタンを押してあらかじめ録画したい音声を選ぶことができます。
- 手順**6**でチャンネル+/−ボタンを押しても、「L2」を選べます。
- 当社製のビデオ機器と接続して使うときは、本機のリモコンコードを「RC2」に切り換えてご使用になることをおすすめします(☞別冊「接続と準備」)。

ご注意

- コピーガードが入っている映像は、録画防止機能の働きにより正常な録画ができません(またはまったく録画できません)。

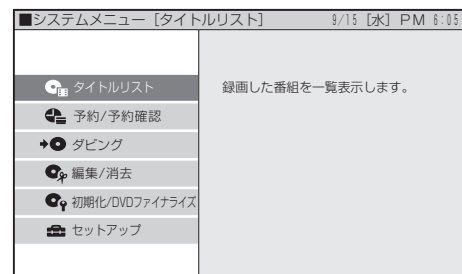
設定と調整

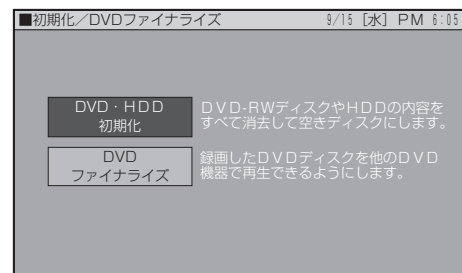
システムメニューを使って、録画や再生に関するさまざまな設定ができます。また、HDDやDVDの「初期化」や「ファイナライズ」も行えます。
接続方法により異なる設定があります。別冊「接続と準備」もご覧ください。

ディスクに関する設定（初期化/DVDファイナライズ）

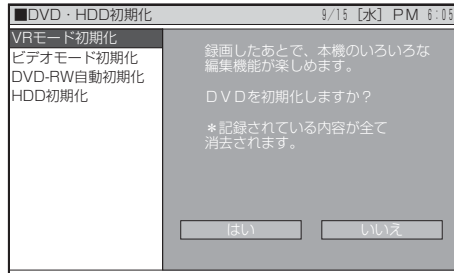
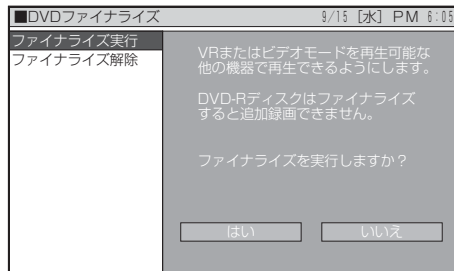
録画したHDDやDVD-RWを初期化、または DVD-RWやDVD-Rをファイナライズすることができます。お買い上げ時は下線の設定になっています。

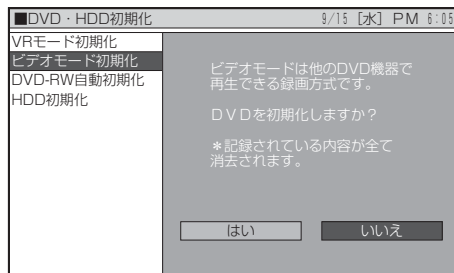
1 **停止中にシステムメニューボタンを押す。**

システムメニューが出ます。

テレビ画面

2 **↑/↓で「初期化/DVDファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ設定画面が出ます。

3 ↑/↓で「DVD・HDD初期化」または「DVDファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す。

DVD・HDD初期化画面

DVDファイナライズ画面

4 ↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押す。

例)「ビデオモード初期化」

5 ←/→で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

設定画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- HDDやDVDの再生中や録画中は、設定画面は使えません。

VRモード初期化

DVD-RWの内容をすべて消去して、VRモードで初期化します。保護しているタイトル（☞91ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように内容を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	VRモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

- DVD-Rは初期化できません。

ビデオモード初期化

ディスクの内容をすべて消去して、ビデオモードで初期化します。保護しているタイトル（☞91ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように内容を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	ビデオモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

- Ver.1.0のDVD-RW は、ビデオモードでの初期化ができません。
- DVD-Rは初期化できません。

DVD-RW自動初期化

何も録画されていないDVD-RWを入れると、自動的に初期化されます。VRモードで初期化するか、またはビデオモードで初期化するかを設定します。

項目	内容
VR	VRモードで初期化する
ビデオ	ビデオモードで初期化する

ご注意

- Ver.1.1のDVD-RWにのみ働きます。

次のページにつづく

ディスクに関する設定（初期化/DVDファイナライズ）（つづき）

HDD初期化

HDDエラーのメッセージが表示された場合や、HDDをお買い上げ時の状態に戻したい場合に、初期化します。保護しているタイトル（☞91ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように内容を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	初期化する
いいえ	初期化しない

ファイナライズ実行

ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生するときや、VRモードで録画したディスクが他のDVD-RWのVRモード再生対応プレーヤーで再生できないとき、ディスクをファイナライズして再生できるようにします。ファイナライズには数分から1時間かかることがあります。
DVD-Rは、一度ファイナライズすると録画や編集などで、ディスクの内容を変更することができませんのでご注意ください。

項目	内容
はい	ファイナライズを実行する
いいえ	ファイナライズを実行しない

ファイナライズ解除

ファイナライズしたDVD-RWに再び録画できるようにする設定です。

項目	内容
はい	ファイナライズを解除する
いいえ	ファイナライズを解除しない

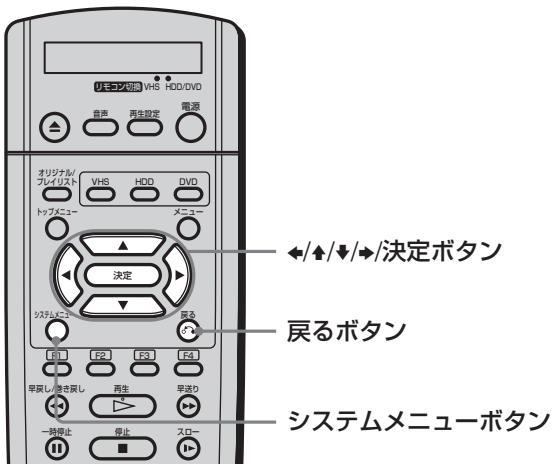
ちょっと一言

- 本機で一度ファイナライズしたVRモードのディスクは、再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、通常どおり録画や編集などをすることができます。
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクには、自動的にディスクのタイトルメニューが作成されます。
- ファイナライズされたディスクを入れたときは、「ファイナライズ実行」が選択できません。
  他機でファイナライズされたVRモードのDVD-RWを入れたときは、「ファイナライズ解除」と表示される場合があります。このときに、ファイナライズ解除を行うと、本機で録画や編集が可能になります。

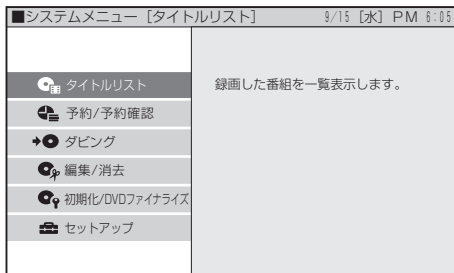
ご注意

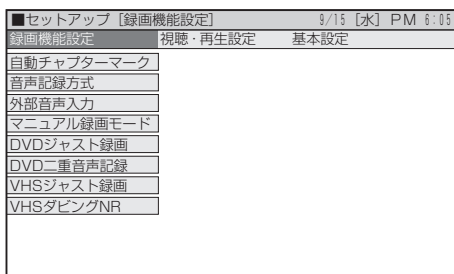
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、録画や編集などをすることができません。
- DVD-RWのVRモード再生対応でないDVDプレーヤーでは、VRモードのディスクは再生できません。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズしても、DVDプレーヤーによっては再生できないものがあります。
- HDDのタイトルはファイナライズできません。

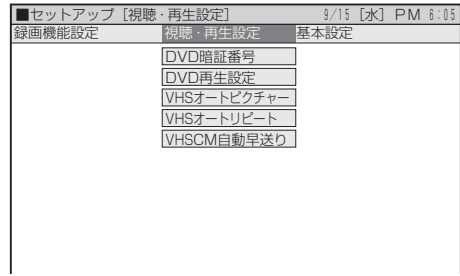
セットアップ画面を使う

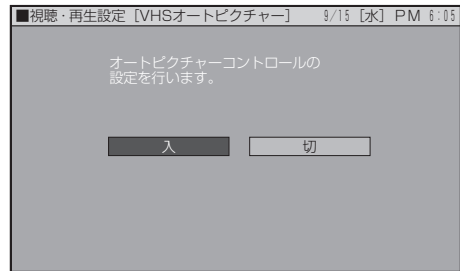
セットアップ画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目については、112～118ページをご覧ください。
「BS設定」と「地上波設定」については、別冊「接続と準備」をご覧ください。

1 停止中にシステムメニューボタンを押す。

システムメニューが出ます。

テレビ画面

2 ↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。

セットアップ画面が出ます。

3 ←/→で設定したい項目を選ぶ。

例）「視聴・再生設定」

4 ↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押す。

例）「VHSオートピクチャー」

5 ←/→で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

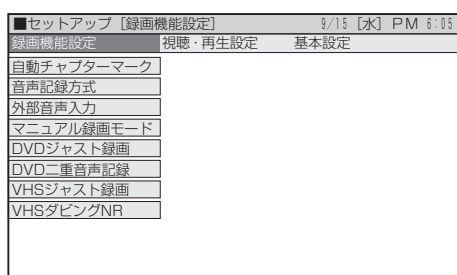
設定画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

設定と調整

録画に関する設定

（録画機能設定）

録画に関する条件を設定します。お買い上げ時は下線の設定になっています。
システムメニューの「セットアップ」の「録画機能設定」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☛111ページ）をご覧ください。

自動チャプターマーク

DVDで録画中に、一定間隔でチャプターを自動的に区切ります。
HDDやDVD-RW（VRモード）の場合は、チャプターを手動で区切ることができます（☛21ページ）。

項目	内容
10	録画中、10分経過ごとにチャプターを区切る
15	録画中、15分経過ごとにチャプターを区切る
30	録画中、30分経過ごとにチャプターを区切る
--	録画中にチャプターを区切らない

ちょっと一言

- 「DVDジャスト録画」が「する」のときは、オートチャプター間隔が少し短くなります（最大約1分）。

音声記録方式

HDD/DVDの録画モードをFINEに設定したときの音声を設定します。

項目	内容
PCM	オーディオ機器で再生可能なPCM（非圧縮）音声で記録する
DD2ch	ドルビーデジタル2チャンネル音声で記録する

ご注意

- PCMに設定した場合、DVD二重音声記録（☛113ページ）で選択されている音声が自動的に記録されます。

外部音声入力

本機につないだ外部機器や内蔵VHSから入力される音声を選びます。
本機の内蔵VHSや外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を含む映像を録画する場合、必ず「二重音声」を選んでください。VRモードで再生するときに主音声と副音声を切り換えることができます。
ビデオモードで録画するときは、「DVD二重音声記録」（☛113ページ）で録画したい音声をあらかじめ選びます。二カ国語放送などを「ステレオ」に設定して録画すると、再生時に2つの音声が重なって聞こえます。
接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

項目	内容
ステレオ	左右のスピーカーから音声を出力する
二重音声	主音声、副音声を切り換えることができる

ご注意

- ドルビーデジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

マニュアル録画モード

HDD/DVDの録画モード「MN」（マニュアルモード）を選んだときの録画時間や画質を32段階で設定します。詳しくは「録画モードについて」（☛18ページ）をご覧ください。

DVDジャスト録画

ディスクの空き時間不足で予約した番組が最後まで録画できないとき、予約録画開始前に自動的に録画モードを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。

項目	内容
する	ジャスト録画する
しない	ジャスト録画しない

ご注意

- 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。その後に予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。
- 録画モードを「EP」に設定したときはジャスト録画機能は働きません。
- DVDジャスト録画はダビング時は働きません。

DVD二重音声記録

二カ国語放送の番組をビデオモードで録画する場合、主音声または副音声のどちらの音声を記録するか設定します。
録画時にはここで設定した音声のみが記録され、再生時に音声の切り換えはできません。

項目	内容
主音声	主音声で録画する
副音声	副音声で録画する

VHSジャスト録画

VHSで予約録画するときに、テープ残量に合わせて録画モードをSP（標準）モードからEP（3倍）モードに自動的に切り換えます。

項目	内容
する	ジャスト録画する
しない	ジャスト録画しない

ご注意

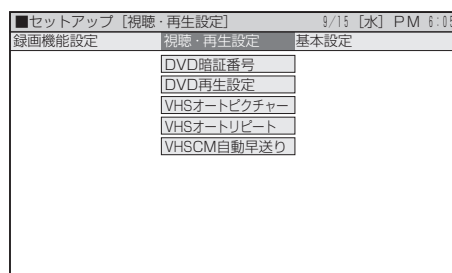
- EP（3倍）モードのVHS予約では、ジャスト録画機能は働きません。
- VHS再生時、SP（標準）モードからEP（3倍）モードに切り換わるところで多少ノイズが出ます。
- VHSジャスト録画はダビング時は働きません。
- EP（3倍）モードで録画してもテープ残量が足りない場合は、ジャスト録画を使ってもテープ内に収まりません。

VHSダビングNR

VHSからHDDやDVD へダビングするときにノイズを低減します。

項目	内容
入	ノイズを低減する
切	ダビングNRを設定しない

再生に関する設定
（視聴・再生設定）

再生に関する条件を設定します。お買い上げ時は下線の設定になっています。
システムメニューの「セットアップ」の「視聴・再生設定」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☞111ページ）をご覧ください。

DVD暗証番号

視聴制限を設定・変更するときの暗証番号を設定します。詳しくは「暗証番号を変更するには」（☞67ページ）をご覧ください。

DVD再生設定

・視聴制限

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDビデオの再生を制限する設定をします。詳しくは、「DVDの再生を制限する（視聴年齢制限）」（☞66ページ）をご覧ください。

・優先言語設定

画面や音声の言語を設定します。
選べる画面や音声の言語はディスクによって異なります。また、ここで記録されている言語を設定しても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示/非表示や切り換えを禁止している場合があります。

字幕
DVD再生時の字幕を設定します。お買い上げ時には日本語に設定されています。

音声
DVD再生時の音声を設定します。お買い上げ時には英語に設定されています。

次のページにつづく

メニュー言語

DVDのディスクに記録されているメニューの言語を切り換えます。
お買い上げ時には日本語に設定されています。AAからZUのコードについては、「言語コード一覧表」（☞136ページ）で確認してください。

VHSオートピクチャー

VHSテープの再生画像をくっきりとさせる機能です。再生画像に合わせてお好みで設定してください。

項目	内容
入	通常再生するときに設定する
切	ダビング時に、本機を再生側として使うときに設定する

ご注意

- オートピクチャーは、VHSテープ再生時のみ働きます（S-VHSソフト再生時には働きません）。

VHSオートリピート

1本のテープを自動的に繰り返し、何度も再生する機能です。
VHSテープが終わりまで行くと自動的にテープの始めまで巻き戻し、繰り返し再生します。

項目	内容
する	VHSテープを繰り返し、何度も再生したいときに設定する
しない	この機能が働かない

ちょっと一言

- オートリピート再生をするときは、「する」に設定後、再生操作をしてください。再生を停止するときは、停止■ボタンを押します。

ご注意

- 一度「する」に設定すると、「しない」に再設定するまで自動的に繰り返し続けます。
- 早送り、巻き戻しをしたときも、オートリピート機能が働きます。

VHS CM自動早送り

本機で録画した番組が二重音声放送（洋画などの二カ国語放送）やモノラル放送のとき、ステレオ放送のコマーシャル（CM）を自動的にとばして見ることができます。

項目	内容
する	CM自動早送りを使用するときに設定する
しない	この機能が働かない

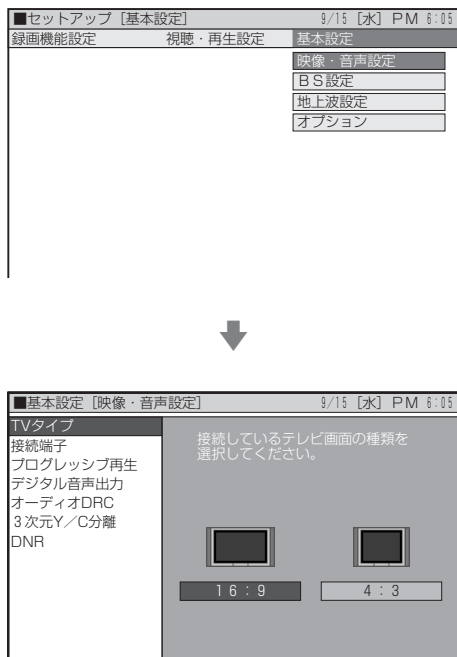
ちょっと一言

- CM自動早送りをすると、コマーシャル終了部分をわずかに過ぎたところから再生が始まります。
- コマーシャルが長く続いた場合、途中で解除され、再生に戻る場合があります。
- CM自動早送りを設定すると、再設定するまで設定内容は変わりません。
- ステレオ放送を録画したVHSテープを再生すると、番組の始まり部分でCM自動早送りが働き、最大で5分間ぶんの内容がサーチされます。
- 市販のビデオソフトによっては自動早送りが働くことがあります。このようなときは、CM自動早送りを「しない」に設定してください。

ご注意

- 本機の内蔵VHSからHDDやDVDへのダビング中は働きません。
- CM自動早送りは、本機で放送を録画したVHSテープに限り働きます。
- 次のような場合には、正しく動作しないことがあります。
  – 録画中に一時停止や停止をした部分
  – コマーシャル中にSP（標準）/EP（3倍）モードに切り換えた部分

映像と音声に関する設定（映像・音声設定）

再生するときの映像や音声に関する条件を設定します。お買い上げ時は下線の設定になっています。
システムメニューの「セットアップ」で「基本設定」を選んでから、「映像・音声設定」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☞111ページ）をご覧ください。

TVタイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

項目	内容
16:9（ワイドテレビ）	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3（従来のテレビ）	4:3画面のテレビとつなぐとき

「4:3」では、「パンスキャン」（ワイド画像の場合は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する）、または「レターボックス」（ワイド画像の場合は横長のまま表示して画面の上下は黒く表示する）を選びます。

ちょっと一言

- DVDビデオによっては、「4:3」で「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、自動的にどちらかで再生されることがあります。
- BSデジタル放送などのワイド（16:9）映像を、VRモードのDVD-RWに録画モードをLPまたはEPに設定して録画した場合、「4:3」で「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」で再生されます。
- BSデジタル放送などのワイド（16:9）映像をビデオモードのFINE、SPで録画した場合、4:3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。（再生時テレビ画面設定にかかわらず、16:9の出力になります。）

接続端子

テレビを買い替えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、接続端子の設定の変更が必要です。テレビとの接続、接続端子については☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

項目	内容
映像・S映像入力	映像・S映像端子をつないでいる
D1入力	D1端子をつないでいる
D2〜D4入力	D2〜D4端子でつないでいる「プログレッシブ再生」が設定できる

プログレッシブ再生

ディスクを再生したときに本機のD1/D2端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語解説」（☞134ページ）をご覧ください。この設定は、「接続端子」で「D2〜D4入力」を設定したときに有効です。

項目	内容
入	プログレッシブ（525p）方式で映像を出力する。本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときはこの設定を選ぶ
切	インターレース方式で映像を出力する。本機を通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときはこの設定を選ぶ

ご注意

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビなどにつなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。本機とテレビとの互換性に関しては、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
- プログレッシブ再生中はS映像出力、映像出力ができません。

次のページにつづく

映像と音声に関する設定（映像・音声設定）（つづき）

デジタル音声出力

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

項目	内容
PCM	リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル音声を2チャンネルに変換して再生する。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないアンプとデジタル接続する場合はこの設定を選ぶ
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶとドルビーサラウンドが楽しめる

ご注意

- DTSデジタル音声は設定に関係なく出力します。

オーディオDRC

音の大小を調整し、平均的な大きさの音量にします。
この機能は、オーディオDRC機能のあるDVDビデオの再生時にのみ効果があります。
デジタル接続している場合は、「デジタル音声出力」を「PCM」に設定したときのみ効果があります。

項目	内容
スタンダード	記録されている音声のまま出力する
テレビ	記録されている音声を出力したとき、CDの音声と同じ音量で聞こえるように、平均音量を上げる

3次元 Y/C分離

3次元Y/C分離回路を働かせると、テレビ放送や外部入力などの映像信号をよりきれいに見たり、録画できるようになります。

項目	内容
する	より高画質に録画する
しない	電波の弱い信号の放送を受信して映像がおかしく見える場合や、外部入力に接続したビデオやゲーム機器の画像が乱れる場合に選ぶ

ご注意

- S映像からの映像信号には働きません。

DNR（デジタルノイズリダクション）

再生映像のノイズが気になるときに、ノイズを軽減して見やすい映像にすることができます。

項目	内容
入	LPモードやEPモードなど長時間記録した映像を再生するときに選ぶ
切	DVDビデオなどのノイズの少ないディスクを再生するときに選ぶ

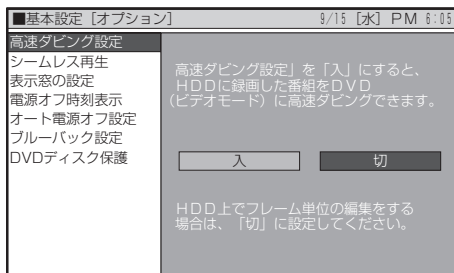
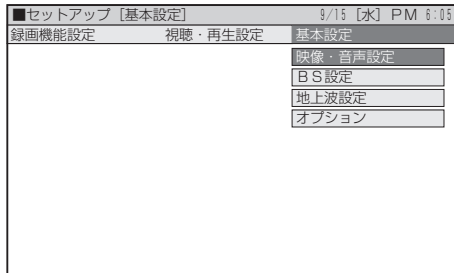
BS設定

WOWOW放送などのテレビ放送を視聴するか、独立音声放送を聞くかを設定します。システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」を選びます。
「BSアンテナ電源」と「BSチャンネル」、および「地上波設定」については☛別冊「接続と準備」をご覧ください。

BS音声

項目	内容
テレビ	テレビ放送を視聴するときに選ぶ
独立	独立音声放送を視聴するときに選ぶ

その他の設定（オプション）

表示や電源について設定します。お買い上げ時は下線の設定になっています。システムメニューの「セットアップ」で「基本設定」を選んでから、「オプション」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☛111ページ）をご覧ください。

高速ダビング設定

HDDからDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに高速ダビングしたい場合は、HDDに番組を録画する前に「入」に設定します。「切」になっていると、ダビング時に「高速ダビング」を選べません。

項目	内容
入	高速ダビングする
切	高速ダビングしない

ご注意

- 「高速ダビング設定」を「入」に設定して二重音声（二カ国語）放送を録画すると、記録される音声は「セットアップ」－「録画機能設定」－「DVD二重音声記録」で選択されている「主音声」または「副音声」になります。

ちょっと一言

- フレーム単位の編集を行いたいときは、「切」に設定します。「入」にして録画した番組をフレーム単位で編集するときは、☛74ページをご覧ください。

シームレス再生

編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生されます。（ただし、つなぎ目に1秒程のズレが生じ、シーンの一部が表示されない場合があります。）

項目	内容
する	編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生される
しない	通常に編集したとおりに再生される

表示窓の設定

表示窓のバックライトを予約録画時に点灯させるかを設定します。

項目	内容
点灯	「電源オフ時刻表示」の設定に関わらず、予約録画が始まると表示窓のバックライトが点灯する
消灯	「電源オフ時刻表示」の設定に関わらず、予約録画が始まると表示窓のバックライトが消灯する

電源オフ時刻表示

電源を切ると本体HDD/DVD表示窓の時刻表示を自動的に消すように設定します。

項目	内容
する	電源が切れても、本体HDD/DVD表示窓の時刻表示は消えない
しない	電源が切れると、自動的に本体HDD/DVD表示窓の時刻表示も消える

オート電源オフ設定

本機の操作を行わずに約3時間経つと、自動的に電源が切れるように設定します。

項目	内容
する	約3時間操作しないと自動的に電源が切れる
しない	自動的に電源は切れない

次のページにつづく

その他の設定（オプション）（つづき）

ブルーバック設定

放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだときに、テレビ画面のノイズ映像を自動的に青い画面に切り換えるように設定することができます。

項目	内容
切	ブルーバックの機能が働かない
入	ブルーバックの機能が働く

ご注意

- 外部入力から特殊再生している映像信号を入力した場合など、画面がブルーバックになることがあります。そのときは、「切」に設定してください。

DVDディスク保護

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、DVD-RW（VRモード）を保護することができます。

項目	内容
解除	ディスク保護が解除され、編集や録画ができる
保護	ディスク保護され、編集や録画ができない

ご注意

- ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rを保護することはできません。

その他

本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。
→ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう一度コンセントに電源プラグをしっかり差し込み、電源を入れる。

画像

画像が映らない。
→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
→ 接続コードが断線している。
→ システムメニュー画面が出ている。システムメニューボタンを押して消す。
→ テレビとの接続を確認する(☞別冊「接続と準備」)。
→ 画像を見たい機能(HDD、DVDまたはVHS)に切り換わっていない。HDD/DVD/VHSランプを確認する。
→ テレビを本機に接続している入力(「ビデオ」など)に切り換える。
→ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子(Y/PB/PR)に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
→ プログレッシブ(525p)方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「切」にする(☞115ページ)。

画像が乱れる。
→ ディスクに汚れや傷がある。
→ 本機の映像出力を他のビデオ機器を経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する(☞別冊「接続と準備」)。

設定と調整

その他

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処
画像が乱れる。	→ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、「プログレッシブ再生」で「入」を選んでいる（☞ 115ページ）。 → プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「切」にする（☞ 115ページ）。 → ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがあります。故障ではありません。
本機で受信しているテレビ放送が映らない。	→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「地上波設定」－「手動チャンネル設定」で、チャンネルを合わせる（☞ 別冊「接続と準備」）。 → 外部入力になっている（本体の表示窓に「L1」または「L2」が表示されている）。入力切換ボタンを押して、テレビのチャンネルを出す。 → 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られない。変更後のチャンネルに手動で合わせる（☞ 別冊「接続と準備」）。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。 → アンテナの向きを調節する。 → システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「地上波設定」－「手動チャンネル設定」で画像を手動で微調整する（☞ 別冊「接続と準備」）。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。 → アンテナ線を正しく接続する（☞ 別冊「接続と準備」）。 → チャンネルをとばすように設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンで選局できない（☞ 別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ チャンネル＋/－ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」が、入力2 端子につないでいるときは「L2」が本体表示窓に出るように切り換える。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやVHSデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
「映像・音声設定」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。	→ 画像の形が固定されているディスクを再生している。
BS放送の番組が映らない。	→ BSアンテナやBSデコーダーを正しくつなぐ（☞ 別冊「接続と準備」）。 → BSアンテナの向きを調整する。 → BSアンテナのごみや雪を取り除く。 → システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で各ポジションの「チャンネルスキップ」を「切」に設定する（☞ 別冊「接続と準備」）。
WOWOWが映らない。	→ 受信契約をして、BSデコーダーを正しくつなぐ（☞ 別冊「接続と準備」）。 → BSデコーダーの電源を入れる。 → システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で各ポジションの「チャンネルスキップ」を「入」に設定する（☞ 別冊「接続と準備」）。 → システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で「BS5」の「BSデコーダー」を「入」に設定する（☞ 別冊「接続と準備」）。

音声

音が出ない。

- → ディスクに汚れや傷がある。
- → 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- → アンプの入力端子を確認する。
- → アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
- → 一時停止、スロー再生になっている。
- → 早送りまたは早戻し（巻き戻し）になっている。

雑音が多い。

- → ディスクに汚れや傷がある。
- → CDのDTS音声を再生しているとき、アナログ出力音声端子から雑音が出る（☞別冊「接続と準備」）。

二重音声の音声が切り換えられない。

- → ステレオモードで録画されたディスクを再生している。外部入力（L1またはL2）のときは、録画する前に「セットアップ」－「録画機能設定」－「外部音声入力」－「二重音声」を選ぶ（☞112ページ）。
- → ビデオモードで録画されたディスクは、再生中に音声の切り換えができない（☞113ページ）。

HDD/DVD再生

再生が始まらない。

- → ディスクが入っていない。
- → 録画されていないディスクが入っている。
- → ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。
- → ディスクが斜めにずれて入っている。
- → CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（☞9ページ）。
- → 本機で再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDを入れている（☞9ページ）。
- → 結露している。ディスクを取り出して、電源を入れたままの状態で、約2時間以上放置し、再び電源を入れ直してから再生する（☞125ページ）。
- → 他機で録画したディスクを本機で再生する場合、ファイナライズされていないディスクは再生することができない（☞9ページ）。

再生がHDD/DVDの最初から始まらない。

- → リピートまたは部分指定リピート再生になっている（☞54ページ）。
- → つづき再生になっている。
停止中に、本体またはリモコンの停止■ボタンを押してから再生を始める（☞49ページ）。
- → 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が出るディスクを入れている。

「このディスクは再生できません」と表示される。

- → 視聴年齢制限が設定されている（☞66ページ）。

再生が自動的に始まる。

- → 自動的に再生が始まるディスクを入れている。

再生が自動的に止まる。

- → ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、早送り/早戻し、スロー、リピート再生などの操作ができない。

- → 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

音声言語を変更できない。

- → 再生しているディスクに複数の音声言語が記録されていない。
- → 音声言語の切り換えを禁止しているディスクを再生している。

字幕を変更できない。

- → 再生しているディスクに複数の字幕が記録されていない。
- → 字幕の変更を禁止しているディスクを再生している。

字幕を消すことができない。

- → 字幕表示を消すことを禁止しているディスクを再生している。

アングルを変更して見ることができない

- → 再生しているディスクに複数のアングルが記録されていない。
- → アングルマークが出ていない場面で、アングルを切り換えている（☞62ページ）。
- → アングルの変更を禁止しているディスクを再生している。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

HDD/DVD録画・予約・編集

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。

- → テレビを「テレビ」の入力に切り換える。

録画●ボタンを押すと、メッセージが出てくる。

- → HDDやDVDが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞17ページ）。

録画●ボタンを押しても録画が始まらない。

- → HDDやDVDの残量が足りない。空き容量のある別のディスクを用意するか、不要なタイトルを消去する（☞92ページ）。

録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。

- → 録画されていないDVD-RWディスクを入れたとき、自動的に初期化するため。
- → 本体HDD/DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待つ。

予約したのに録画されていない。

- → 予約待機中に停電などで時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。
- → 予約した後で、予約したチャンネルをとばしたため（☞別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。
- → 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。
- → HDDやDVDの残量が足りなかった。
- → コピー制御信号が含まれている映像を録画しようとしていた。
- → HDDやDVDに録画されているオリジナルのタイトル数がDVDならば99タイトル、HDDならば199タイトルを超えている。

予約した内容が途中で切れている。

- → 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。約10分以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。約10分以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。
- → HDDやDVDの残量が足りなかった。

予約した内容が途中から始まっている。

- → 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

「このディスクは編集できません」と表示される。

- → DVDディスク保護が設定されている（☞118ページ）。

VHS再生・録画

再生した画像がチラつく、汚い。

- → トラッキングがずれている。本体のチャンネル＋/－ボタンで調整する（☞71ページ）。
- → ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする。クリーニングカセットがないときは、再生状態にしてから、早送り再生と巻戻し再生を交互に10秒ずつ、4～5回繰り返す（☞126ページ）。
- → VHSテープに傷がある。
- → S-VHSのテープを再生している。

録画●ボタンを押すと、VHSテープが出てくる。

- → VHSテープのツメが折れている。
- → VHSテープが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞10ページ）。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。	➔ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。 ➔ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。 ➔ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する（☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。 ➔ 受信している放送局が登録されていない。受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。 ➔ ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

チューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。	➔ チューナーの電源を切り忘れたため。チューナー側の予約を設定して電源を切り、本機をシンクロ録画予約待機にする（☞33ページ）。
シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。	➔ 本機とつないだチューナーの予約が本機の予約と重なっている（☞34ページ）。 ➔ シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。
チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。	➔ シンクロ録画機能が働いている。チューナーの電源を切ってから、リモコンのシンクロ録画ボタンを2秒以上押す。

表示

メニューや設定画面表示が画面に出ない。	➔ テレビを、本機を接続した入力（「ビデオ」など）に切り換える。
本体表示窓に「－：－－」が点灯している。	➔ 時計を合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。 ➔ 停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。

本体HDD/DVD録画予約ランプが、速く点滅し続けている。	➔ HDDやDVDの空き容量やVHSテープの残量がないか、録画されているタイトル数がDVDで99タイトル、HDDで199タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクやVHSテープを入れ、電源を切る。
本体HDD/DVD録画予約ランプが、遅く点滅し続けている。	➔ DVDディスクが入っていない。
本体のHDDシンクロ録画ランプが、シンクロ録画予約待機中に消えている。	➔ HDDの空き容量がないか、HDDで録画されているタイトル数が199タイトルになっているため。不要なタイトルを消す（☞92ページ）。
テープカウンターが動かない。	➔ VHSテープの録画されていない部分は動かない。

リモコン

リモコンが働かない。	➔ 乾電池が消耗している（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。 ➔ 乾電池が入っていない（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。 ➔ 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「リモコンで各社のテレビを操作する」）。 ➔ 本体の電源を入れる。 ➔ リモコンを本体に向けて操作する（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。 ➔ リモコンの操作モードが操作したい機能（HDD、DVDまたはVHS）に切り換わっているかを確認する（☞12ページ）。 ➔ 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのDVDプレーヤーが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。	→ チャンネルは、チャンネル+/−ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコード予約をするときに使う。
リモコンの転送ボタンを押しても、本体の表示窓に「Err」と表示され、転送できない。	→ 本機の電源が入っていない。 本機の電源を入れてから、転送し直す。

その他

正常に動作しない。	→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、再びコードを差して電源を入れる。

リセットボタンについて

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このときは、本体底面にあるリセットボタンを先の細い棒状のもので押すか、一度電源コードをコンセントから抜き、約5時間後、再度コードを差し込んで電源を入れてください。
リセットボタンを押すと、本体の時計設定と録画予約が消去されますので、再設定してください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください（☞裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：RDR-VH80
●ディスクの種類： HDD、DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ： VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所
- 極端に寒い所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用したりしないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクやVHSテープを入れたまま本機を動かさないでください。
ディスクやVHSテープを入れたまま動かすと、ディスクやVHSテープを傷めることがあります。

結露（露つき）について

部屋の暖房を入れた直後など、本体内部のレンズやドラム、ディスク、テープに水滴がつくことがあります。これを結露（露つき）といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りつくなど、本機の故障や不具合の原因となります。本機を使わないときは、ディスクやVHSテープを取り出しておいてください。

結露が起きやすいのは下記のような場合です。

- 本機を設置した直後
- 暖房を入れた直後
- エアコンの冷風が直接本機にあたっているとき
- 寒い所から暖かい所に移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多いとき
- 梅雨の時期

結露が生じたときは、ディスクやVHSテープを取り出して、電源を入れたまま約2時間以上放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。それでも正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

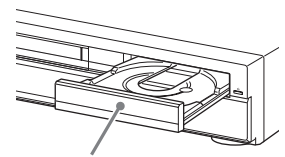
本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

VHSデッキについて

- 磁石を近づけないでください。
  磁気を帯びているものを近づけると、大切な記録が損なわれることがあります。
- 約1,000時間のご使用を目安に点検をしてください。
  VHSデッキは非常に高い精度を必要とする機械です。長く使う間には、ヘッドやテープの駆動部分が汚れたり磨耗したりして、美しい画像が映りにくくなります。使用環境（温度、湿度、ほこりなど）によって異なりますが、約1,000時間使ったら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点検（清掃、注油、一部部品交換）についてご相談ください。

ディスクトレイ部先端カバーについて

ディスクトレイ部先端カバーは機能上、かんたんに動く構造になっています。無理な力を加えることは避けてください。

ディスクトレイ部先端カバー

音量について

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

次のページにつづく

使用上のご注意（つづき）

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、画像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

VHSテープのヘッドのお手入れ

ーきれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット（T-25CLD、T-25CLDRなど）で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。

汚れはじめたとき

汚れがひどいとき

VHSテープのヘッドを良い状態で維持するには

- 使用頻度の少ないVHSテープは、テープにカビやゴミなどが付着しないようにしてください。
  - 密閉したビニール袋などに入れて保管してください。
  - 3〜4か月に1回程度、テープの初めから終わりまで早送り/巻き戻しをしてください。
- 古いテープや傷んだテープを使用しないでください。
- レンタルテープをお使いのときは、テープにカビや傷がないか確認してください。使用後はクリーニングカセットを使ってヘッドを約10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ちょっと一言

- クリーニングカセットをすぐに手に入れられないときは、比較的新しい正常なテープを使って次の操作をすると、画像の乱れが軽減することがあります。
  再生▷ボタンを押します。次に早送り▶▶ボタンと巻き戻し◀◀ボタンを交互に10秒ずつ、4〜5回繰り返して押します。
- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、ヘッドを繰り返しクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）は、定期的なクリーニングでのご使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。
- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

主な仕様

システム

形式	VHSビデオ一体型DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式

[HDD]

容量	120 GB
記録方式	映像：MPEG方式 音声：ドルビーデジタル（2ch）/リニアPCM（FINEモードのみ）
録画時間	FINE（高画質）：約30時間 SP（標準）：約50時間 LP（2倍）：約100時間 EP（3倍）：約150時間 MN（マニュアル）：FINE〜EP間の32段階（ただし連続記録時間は最大約12時間）

[DVD]

記録可能ディスク	DVD-ReRecordable（リレコーダブル）：DVD-RW（片面/両面1層） DVD-Recordable（レコーダブル）：DVD-R（片面/両面1層）
記録フォーマット	DVD-VideoRecording：VRモード DVD-VIDEO：ビデオモード
記録方式	映像：MPEG方式 音声：ドルビーデジタル（2ch）/リニアPCM（FINEモードのみ）
映像サンプリング周波数	13.5MHz
音声サンプリング周波数	48kHz
録画時間（片面1層4.7GBディスク使用時）	FINE：約60分 SP：約120分 LP：約240分 EP：約360分 MN（マニュアル）：FINE〜EP間の32段階（ただし連続記録時間は最大約6時間）

[VHS]

録画方法	輝度信号：FM変調方式 カラー信号：低域変換直接記録方式
テープ速度	SP（標準）モード時：33.4mm/秒 EP（3倍）モード時：11.1mm/秒
使用可能テープ	VHS方式のVHSカセットテープ
録画再生時間	最大9時間（T-180使用時）
巻き戻し/早送り時間	約68秒、高速時 約43秒（T-120使用時、当社測定条件での所要時間）
Hi-Fiサウンド特性	ダイナミックレンジ：90dB 周波数特性：20Hz〜20kHz ワウフラッター：0.007%

[チューナー]

受信チャンネル	VHF：1〜12チャンネル UHF：13〜62チャンネル CATV：C13〜C63チャンネル BS ：1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル（HDD/DVDのみ）

[タイマー]

プログラム数	HDD/DVD：1年 32プログラム VHS：1年 8プログラム
時計方式	クォーツロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	約10分

アンテナ端子

アンテナ入出力	地上波：VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクター BS-IF：75ΩF型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V最大4W、芯線側+、メニューにて入/切を切り換え）

入出力端子

ビットストリーム/検波	検波入力：ピンジャック、0.67Vp-p/75Ω 検波出力：ピンジャック、0.67Vp-p/75Ω ビットストリーム入力：ピンジャック、0.5Vp-p/75Ω ビットストリーム出力：ピンジャック、0.5Vp-p/75Ω

[HDD/DVD/VHS共用]

映像入力	入力1/入力2（フロント）の2系統、ピンジャック、1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1系統、ピンジャック、1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力1/入力2（フロント）の2系統、4ピンミニDIN、Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）

次のページにつづく

主な仕様（つづき）

音声入力	入力1/入力2（フロント）の2系統、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1系統、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （1kHz 0dB、出力インピーダンス：1.5kΩ以下）

[HDD/DVD専用]

S映像出力（S1/S2）	4ピンミニDIN、 Y＝1Vp-p（75Ω不平衡） C＝0.286Vp-p（75Ω不平衡）
D映像出力（D1/D2）	Y：1.0Vp-p（75Ω不均衡） C_B、C_R：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
アナログ音声出力	ピンジャック：2Vrms（1kΩ）
デジタル音声出力*	角型光ジャック1系統

* 96kHz PCM音声は、デジタル音声出力端子から48kHzに変換されて出力されます。

電源部・その他

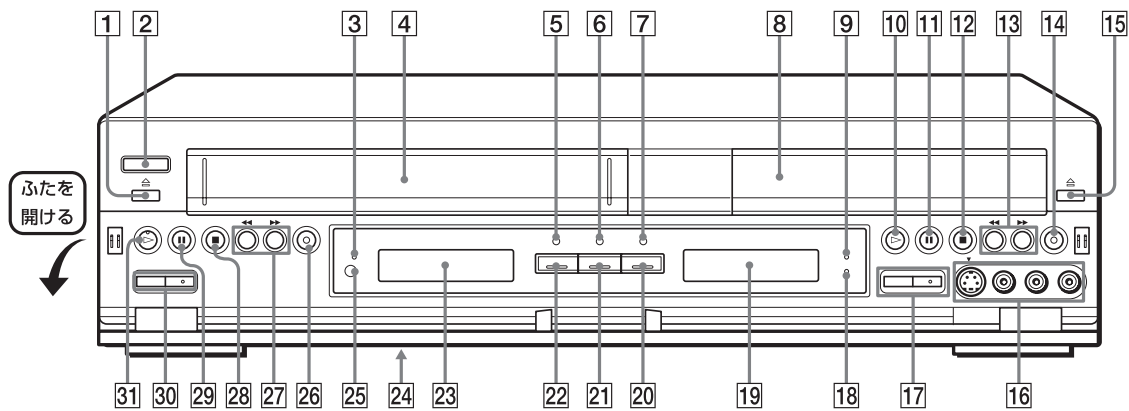
電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	**40W**
待機消費電力	**2.1W（時刻表示点灯時）** **0.7W（時刻表示消灯時）**
許容動作温度	5℃～ 35℃
許容動作湿度	10%～ 80%（結露のないこと）
最大外形寸法	幅 430 × 高さ 100 × 奥行き 374.5mm（最大突起含む）
本体質量	約 7.4kg
付属リモコン	RMT-D212J 電源：DC 3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	別冊「接続と準備」参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

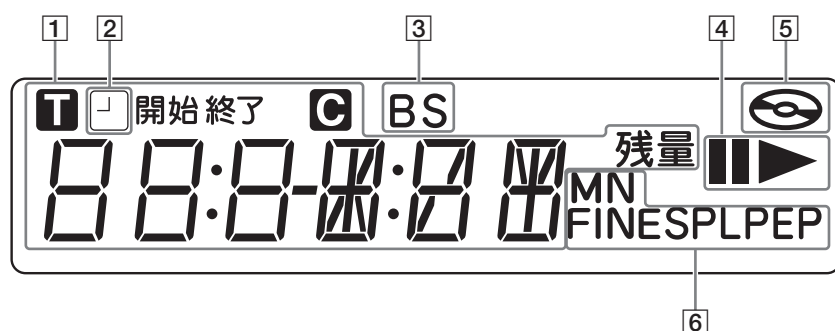
各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。
本体とリモコンで同じ名前のボタンは同じ働きをします。

本体前面

*のボタンには凸（突起）がついています（チャンネル+/−ボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

1 （VHS用）⏏（テープ取出し）ボタン（36）
2 電源ボタン（13）
3 VHS録画予約ランプ（38）
4 （VHS用）VHSテープ挿入口（35）
5 VHS録画ランプ（35）
6 HDD録画ランプ（20）
7 DVD録画ランプ（20）
8 （DVD用）ディスクトレイ（13）
9 HDD/DVD録画予約ランプ（26）
10 （HDD/DVD用）▷（再生）ボタン*（46）
11 （HDD/DVD用）❚❚（一時停止）ボタン（46）
12 （HDD/DVD用）■（停止）ボタン（46）
13 （HDD/DVD用）◀◀（早戻し）/▶▶（早送り）ボタン（51）
14 （HDD/DVD用）録画●ボタン（20）
15 （DVD用）⏏（トレイ開/閉）ボタン（13）
16 入力2（S映像/映像/音声左（モノ）右）端子（106）
17 （HDD/DVD用）チャンネル+/−ボタン*（20）
18 HDDシンクロ録画ランプ（34）
19 （HDD/DVD用）表示窓（59）
20 DVDボタン/ランプ（12）
21 HDDボタン/ランプ（12）
22 VHSボタン/ランプ（12）
23 （VHS用）表示窓（73）
24 本体底面リセットボタン（124）
25 ▣（リモコン受光部）（☛別冊「接続と準備」）
26 （VHS用）録画●ボタン（35）
27 （VHS用）◀◀（巻戻し）/▶▶（早送り）ボタン（70）
28 （VHS用）■（停止）ボタン（69）
29 （VHS用）❚❚（一時停止）ボタン（69）
30 （VHS用）チャンネル（トラッキング調整）+/−ボタン*（35、71）
31 （VHS用）▷（再生）ボタン*（69）

次のページにつづく

本体HDD/DVD表示窓

1 タイトル/トラック/経過時間表示
タイトル/トラック/チャプター番号表示
録画経過時間表示（59）
現在時刻表示（59）
チャンネル表示（59）
ディスク残量表示（59）

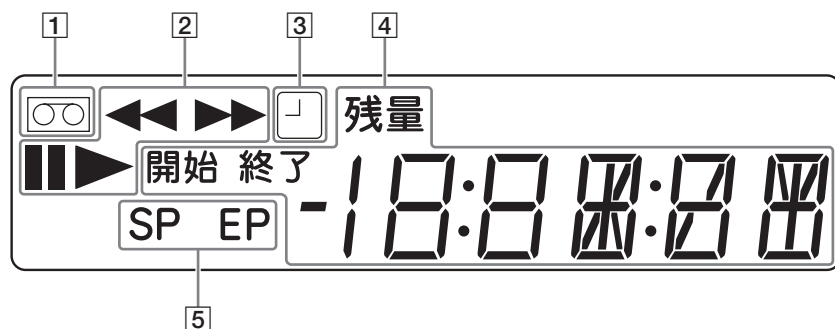
2 クイックタイマー表示（23）

3 BS表示

4 再生/一時停止表示

5 ディスク表示

6 録画モード表示（18、20）

本体VHS表示窓

1 VHSテープ表示

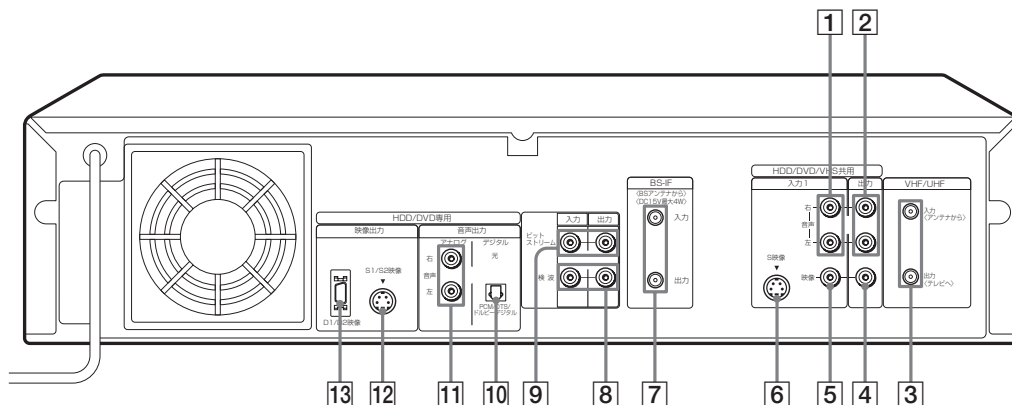
2 走行モード表示

3 クイックタイマー表示（23）

4 テープカウンター表示（73）
テープ残量表示（73）
予約録画日時表示（37、40）
チャンネル表示（37、40）

5 録画モード表示（35、73）

後面

各部の説明は、☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

1 HDD/DVD/VHS共用音声入力1左右端子
2 HDD/DVD/VHS共用音声出力左右端子
3 VHF/UHF入力/出力端子
4 HDD/DVD/VHS共用映像出力端子
5 HDD/DVD/VHS共用映像入力1端子
6 HDD/DVD/VHS共用入力1S映像端子
7 BS-IF 入力/出力端子
8 検波 入力/出力端子
9 ビットストリーム 入力/出力端子
10 HDD/DVD専用音声出力デジタル光端子
11 HDD/DVD専用音声出力アナログ左右端子
12 HDD/DVD専用映像出力S1/S2端子
13 HDD/DVD専用映像出力D1/D2端子

HDD/DVD/VHS共用出力とHDD/DVD専用出力について

- 本機には、HDDとDVDとVHSの映像・音声を出力する共用出力端子と、HDDとDVDの映像・音声のみを出力するHDD/DVD専用出力端子があります。
  共用出力： HDDやDVD、VHSの映像・音声出力を切り換えてお楽しみいただけます。
  専用出力： HDDやDVDの出力のみをお楽しみいただけます。
- HDD/DVD側、またはVHS側に出力が切り換わったときなどに、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられるためです。DVD再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わった後、必ず下げておいてください。

ご注意

- 本機に内蔵しているVHSビデオは、S-VHSタイプではありません。VHS使用時、S映像入力端子に入力された外部機器のS映像信号は、S-VHSの解像度で録画できません。
- 接続は、必ず本機および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

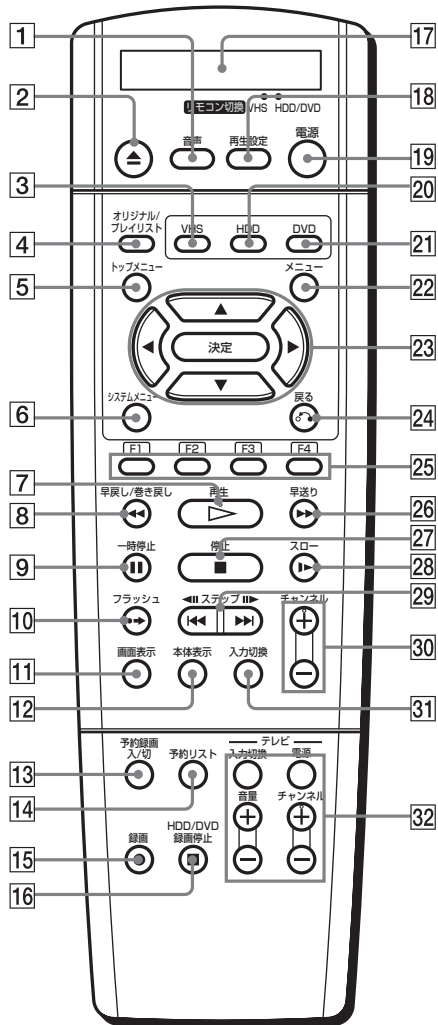
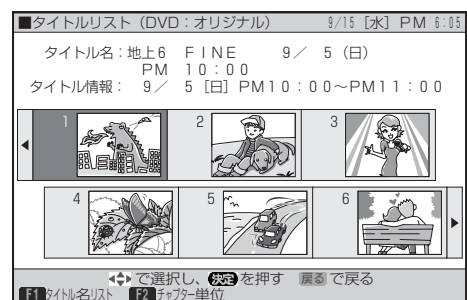
次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

リモコン（ふたを閉じたとき）

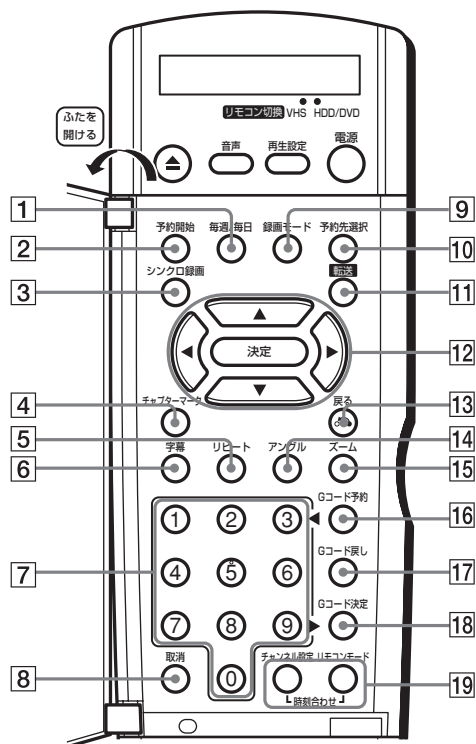
*のボタンには凸（突起）がついています（チャンネル+/−ボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 下記の記載は次の意味です。
  （VHS）：　VHSに働くボタン
  （HDD/DVD）：　HDDまたはDVDに働くボタン
  （共用）：　リモコンの操作モード切換でHDD、DVD、VHSそれぞれに働くボタン
  上記記載のないボタンは、リモコンの操作モード切換に関係なく働くボタンです。
- トップメニューボタン、メニューボタンを押すと、自動的にDVD操作モードに切り換ります。

1 音声ボタン（共用）（60、73）
2 ⏏（トレイ開/閉、VHSテープ取出し）ボタン（共用）（13、21、36）
3 VHSボタン（12）
4 オリジナル/プレイリストボタン（HDD/DVD）（48）
5 トップメニューボタン（DVD）（48）
6 システムメニューボタン（11）
7 再生▷ボタン*（共用）（46、69）
8 早戻し/巻き戻し◀◀ボタン（共用）（51、70）
9 一時停止❚❚ボタン（共用）（46、69）
10 フラッシュ●➡ボタン（共用）（51、70）
11 画面表示ボタン（共用）（57、72）
12 本体表示ボタン（共用）（59、73）
13 予約録画入/切ボタン（共用）（38）
14 予約リストボタン（共用）（42）
15 録画●ボタン（共用）（20、35）
16 HDD/DVD録画停止■ボタン（HDD/DVD）（21）
17 リモコン表示窓（29、31、36、37）
18 再生設定ボタン（HDD/DVD）（52）
19 電源ボタン（13）
20 HDDボタン（12）
21 DVDボタン（12）
22 メニューボタン（DVD）（46）
23 ←/↑/↓/→/決定ボタン（11）
24 戻る↶ボタン（11）
25 F1/F2/F3/F4ボタン（25、81）
各操作画面でできる操作を表示します。
例：DVDタイトルリストを表示したとき

ここでF1ボタンを押すと、タイトル名リストに切り換わる

26 早送り▶▶ボタン（共用）（51、70）
27 停止■ボタン（共用）（46、69）
28 スロー❚▶（共用）ボタン（51、70）
29 ❚◀◀/▶▶❚（前/次）、ステップ◀❚❚/❚❚▶ボタン（共用）（51、71）
30 チャンネル+/−ボタン*（20、35）
31 入力切換ボタン（21）
32 テレビ（☞別冊「接続と準備」）
電源ボタン　　入力切換ボタン
音量+/−ボタン　　チャンネル+/−ボタン*

リモコン（ふたを開けたとき）

*のボタンには凸（突起）がついています（数字ボタンの「5」のみ）。操作の目印としてお使いください。

1 毎週/毎日ボタン（29、37）
2 予約開始ボタン（29、37）
3 シンクロ録画ボタン（HDD）（34）
4 チャプターマークボタン（HDD/DVD）（21、50）
5 リピートボタン（HDD/DVD）（54）
6 字幕ボタン（DVD）（62）
7 数字ボタン（32、39）*
8 取消ボタン（共用）（23、72）
9 録画モードボタン（共用）（20、29、35、37）
10 予約先選択ボタン（29、37）
11 転送ボタン（29、37）
12 ←/↑/↓/→/決定ボタン（11）
13 戻るボタン（11）
14 アングルボタン（DVD）（62）
15 ズームボタン（HDD/DVD）（52、63）
16 Gコード予約ボタン（31、39）
17 Gコード戻しボタン（32、39）
18 Gコード決定ボタン（32、40）
19 時刻合わせボタン（☞別冊「接続と準備」）
チャンネル設定ボタン（☞別冊「接続と準備」）
リモコンモードボタン（☞別冊「接続と準備」）

リモコン表示窓

1 予約表示（29、37）
2 Gコード表示（31、39）
3 CATV/BS表示
4 チャンネルスキップ表示
（☞別冊「接続と準備」）
5 曜日表示
6 毎週表示（29、37）
7 録画モード表示（29、37）
8 転送表示（29、37）
9 年月日/時間/Gコード番号入力/予約設定表示
現在時刻表示
日付表示（29、37）
予約開始/終了時刻表示（29、37）
チャンネル表示（29、37）
予約先表示（29、37）
10 リモコン操作モード表示
リモコンの操作モードを切り換えると、VHSまたはHDD/DVD表示の●上にuまたはdマークが表示されます。

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

カ行

コピー制御信号
複製防止機能のこと。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができない。

サ行

視聴年齢制限
国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生のできない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

受信チャンネル
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タ行

タイトル
HDDやDVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差。デシベル（dB）単位で測定される。圧縮すると最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がる。

地域番号（リージョンコード）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。本体とディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL 表示のあるディスクは、どの機器でも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

デジタルCS放送
通信衛星を使ったCS放送の一種。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができる。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができる。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要。
CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略。

トラッキング
VHSテープに記録された信号をなぞって読みとるようにすること。ずれると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりする。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ハ行

バーチャルサラウンド
テレビやオーディオ機器などの2つのフロントスピーカーだけでも、迫力のある立体音声を楽しむことができるサラウンド機能。

ハードディスク（HDD）
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記録する。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性に優れている。

ビットレート
DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps（kilo bit per second）。この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオ素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVDに記録したもの。

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

フィルム素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちフィルム素材は映画フィルム（1秒24コマ）をDVDに記録したもの。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できる。

ヘッド
テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングが必要となる。

アルファベット順

CATV
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のこと。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができる。
CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
記録媒体用著作権保護機能のことで、DVD-RWなどの記憶媒体に著作権を保護する形で番組を録画するための仕組み。CPRMに対応していないDVDレコーダーやDVDディスクでは、「1回だけ録画可能」の番組も録画できない。
本機はCPRM対応なので、「1回だけ録画可能」の番組を録画できる。

D映像信号
D映像端子付きデジタルビデオと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子に対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。
- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD
CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限など、さまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

Gコード
一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている番組を予約するための番号。

DVDの録画や再生時の時間表示について
DVDの録画や再生時間は、実際の録画・再生時間より0.1%程度短く表示されます。
放送などの映像では、１秒あたり29.9フレームの映像が送られてきます。本機では便宜上30フレームを1秒として計算しているため、約0.1%時間が短く表示されます。
例えば、1時間録画を行うと、実際に1時間分録画が行われますが、本機の時間表示は「60分×0.999＝59.94分＝59分56秒」となります。

言語コード一覧表

詳しくは、☛114ページをご覧ください。

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィージー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語

コード	言語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語

コード	言語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	システィ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

索引（つづき）

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット/数字順

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Malaysia